

第3章 公共施設等の利用実態

市の主な公共施設について、地域（地区）と用途に分類して整理しています。

1. 地域実態マップ(平成28年4月1日現在)

施設種別	夷隅地域 面積:44.2km ²			大原地域	
	中川小学校区	国吉小学校区	千町小学校区	東小学校区	東海小学校区
いすみ市 人口:38,594人 (平成27年国勢調査) 面積:157.4km ² 人口密度:245.2人/km ² 延床面積:134,478m ²					
市役所(3)	夷隅庁舎 (S44) 1,747 m ²				
保健センター(3)	夷隅保健センター (S62) 640 m ²				
文化施設(3)	夷隅文化会館 (H4) 2,728 m ²				
展示施設(1)	郷土資料館 (H1) 384 m ²				
農林業施設(5)	夷隅農林業センター (S49) 708 m ² 夷隅農産物加工施設			いすみ市集出荷場 (H2) 140 m ²	大原農産物加工センター (S58) 317 m ²
スポーツ施設(5)	スポーツの森				
市営住宅(9)	行川 (S46) 680 m ²	小苅谷 (S59) 659 m ²	柿沢 (S50) 1,108 m ²	松丸 (H6) 1,428 m ²	
図書室(3)					
公民館(3)	夷隅地区多目的研修センター 夷隅公民館				
集会施設(5)	ふるさと (S59) 1,461 m ²	ふれあいセンター (S61) 283 m ²	つどいの家 (S60) 235 m ²		
給食センター(1)	いすみ市学校給食センター (H26) 2,054 m ²			← 集約	
武道館(2)	夷隅武道館 (S56) 544 m ²				
中学校(3)	国吉 (S38) 5,359 m ²				
小学校(11)	中川 (S52) 2,676 m ²	国吉 (S42) 3,148 m ²	千町 (S46) 2,559 m ²	東 (S42) 3,661 m ²	東海 (S53) 4,196 m ²
放課後児童クラブ(10)	中川	夷隅	国吉	東	東海
保育所(10)	中川	夷隅 (H23) 2,100 m ²	国吉	東 (S59) 823 m ²	東海 (S63) 987 m ²
子育て支援センター(3)	子育て支援センター				
児童館(2)					
その他(4)	いすみクリーンセンター (S52) 2,217 m ²			大原クリーンセンター (S55) 838 m ²	

赤枠は
築30年
以上経過

15

S59

建築年度

学級数等

ホール
和室
音楽室・スタジオ等

会議室
調理室等
工芸室等

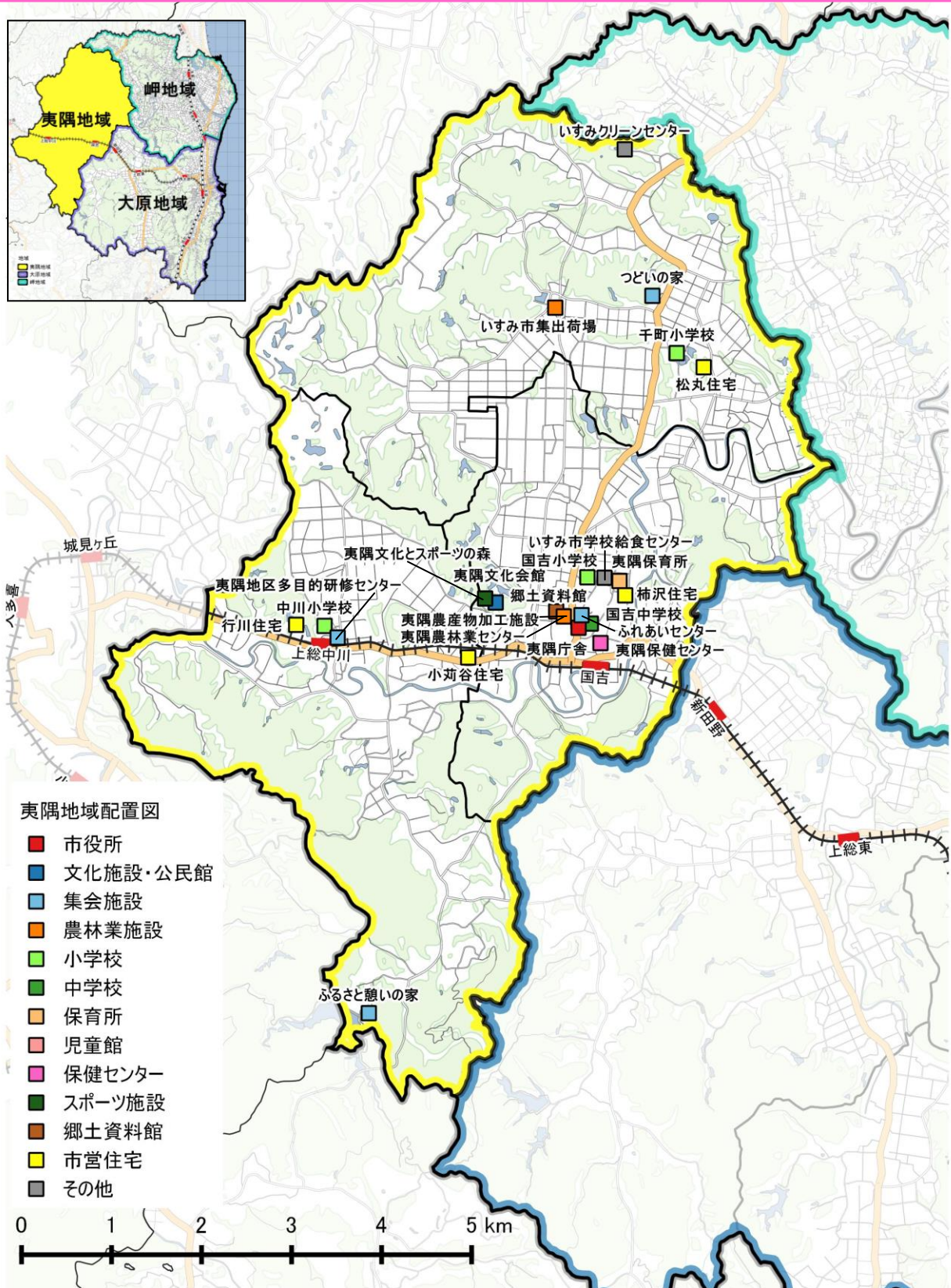
面積:66.6km ²			岬地域 面積:46.6km ²			
大原中学校区			岬中学校区			
大原小学校区	浪花小学校区	(布施小学校区)	古沢小学校区	太東小学校区	中根小学校区	長者小学校区
<p>S58 4,735 m² 大原庁舎</p> <p>S58 578 m² 大原保健センター</p> <p>H3 4,066 m² 大原文化センター</p> <p>S53 486 m² 市民ギャラリー (H28 閉館)</p> <p>大原グランド 大原野球場</p> <p>S44 654 m² 王子久保</p> <p>大原公民館</p> <p>S57 1,493 m² 農村環境改善センター</p> <p>大原学校給食センター</p> <p>大原武道館</p> <p>S49 13,164 m² 12 大原</p> <p>S38 6,454 m² 15 大原</p> <p>S55 973 m² S61 790 m² 第一 第二</p> <p>H12 304 m² 花本こども館</p> <p>第三保育所 S63 642 m² 大原聖苑</p>	<p>合併前の旧町（地域）で保有していた庁舎、文化会館等の施設が現在でもそのまま利用されています。</p>	<p>御宿町</p> <p>S44 2,384 m² 6 浪花</p> <p>S48 6 組合立布施</p>	<p>H15 216 m² みさき味工房</p> <p>S42 2,477 m² 日明</p> <p>S44 654 m² 王子久保</p> <p>S49 13,164 m² 12 大原</p> <p>S38 6,454 m² 15 大原</p> <p>S55 973 m² S61 790 m² 第一 第二</p> <p>H12 304 m² 花本こども館</p>	<p>H2 41 m² 岬農作物加工所</p> <p>S54 2,078 m² B&G 海洋センター</p> <p>S42 2,477 m² 日明</p> <p>S47 680 m² 山王</p> <p>S44 158 m² 西中村</p> <p>S49 13,164 m² 12 大原</p> <p>S38 6,454 m² 15 大原</p> <p>S55 973 m² S61 790 m² 第一 第二</p> <p>H12 304 m² 花本こども館</p>	<p>H8 571 m² 岬保健センター</p> <p>H8 5,254 m² 岬ふれあい会館</p> <p>H2 41 m² 岬農作物加工所</p> <p>S54 2,078 m² B&G 海洋センター</p> <p>S50 2,432 m² 原</p> <p>S47 680 m² 山王</p> <p>S44 158 m² 西中村</p> <p>S53 2,025 m² 岬公民館</p> <p>岬学校給食センター</p> <p>S50 458 m² 岬武道館</p> <p>H21 6,230 m² 9 岬</p> <p>S47 3,654 m² 8 太東</p> <p>S63 937 m² 太東</p> <p>S56 373 m² みさき児童館</p>	<p>S45 1,687 m² 岬庁舎</p> <p>H8 571 m² 岬保健センター</p> <p>H8 5,254 m² 岬ふれあい会館</p> <p>H2 41 m² 岬農作物加工所</p> <p>S54 2,078 m² B&G 海洋センター</p> <p>S50 2,432 m² 原</p> <p>S47 680 m² 山王</p> <p>S44 158 m² 西中村</p> <p>S53 2,025 m² 岬公民館</p> <p>S50 2,800 m² 6 中根</p> <p>S60 780 m² 中根</p> <p>S56 902 m² 長者</p>

小学校と保育所が各地区に配置されています。
(夷隅地域の保育所は平成23年に統合されました。)

2. 地域別施設配置図

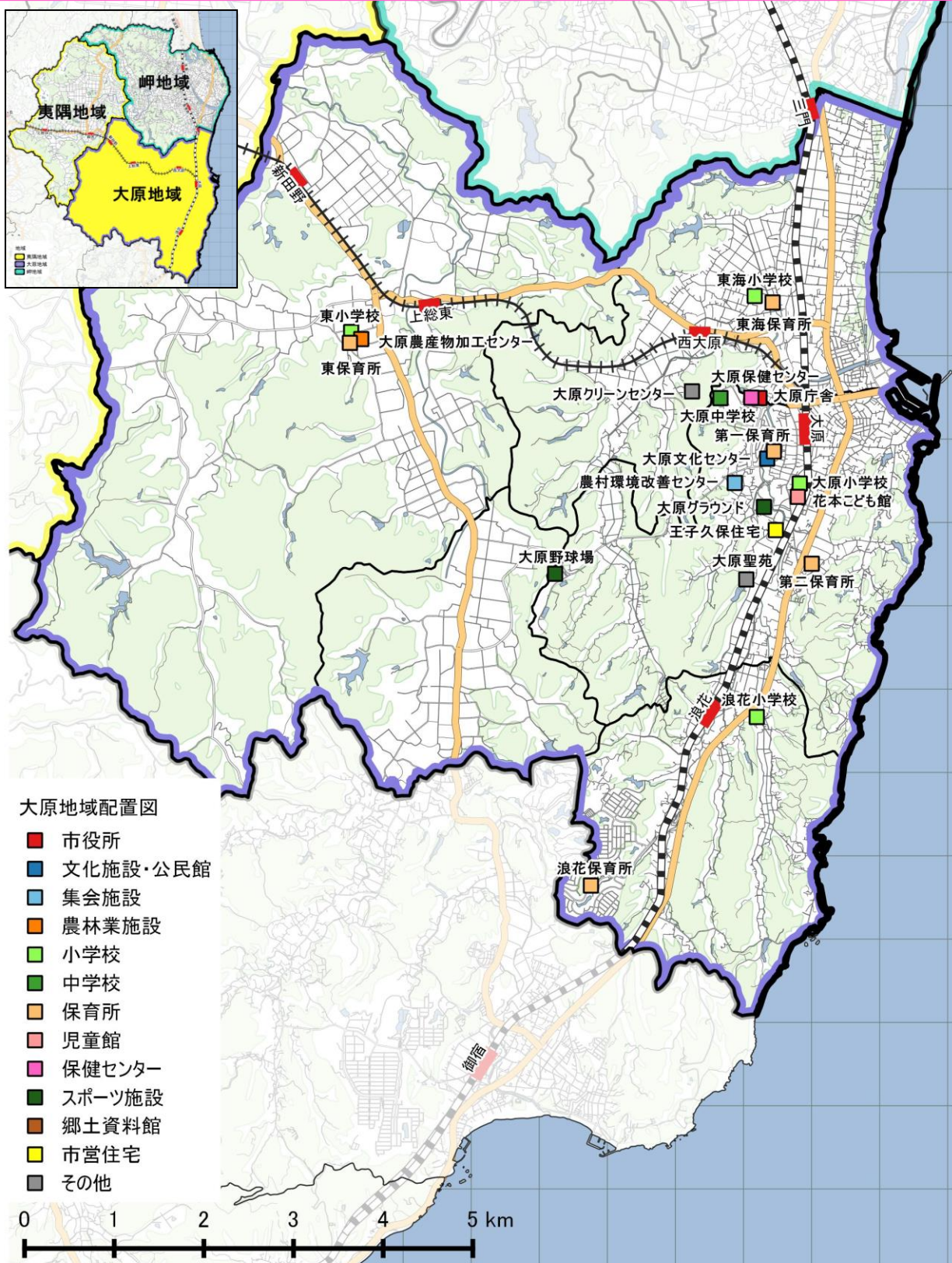
(1) 夷隅地域

国吉駅を中心に庁舎、文化会館、郷土資料館等の公共施設が集中しています。また、上総中川駅には夷隅地区多目的研修センターが、千町小学校区にはつどいの家が配置されています。



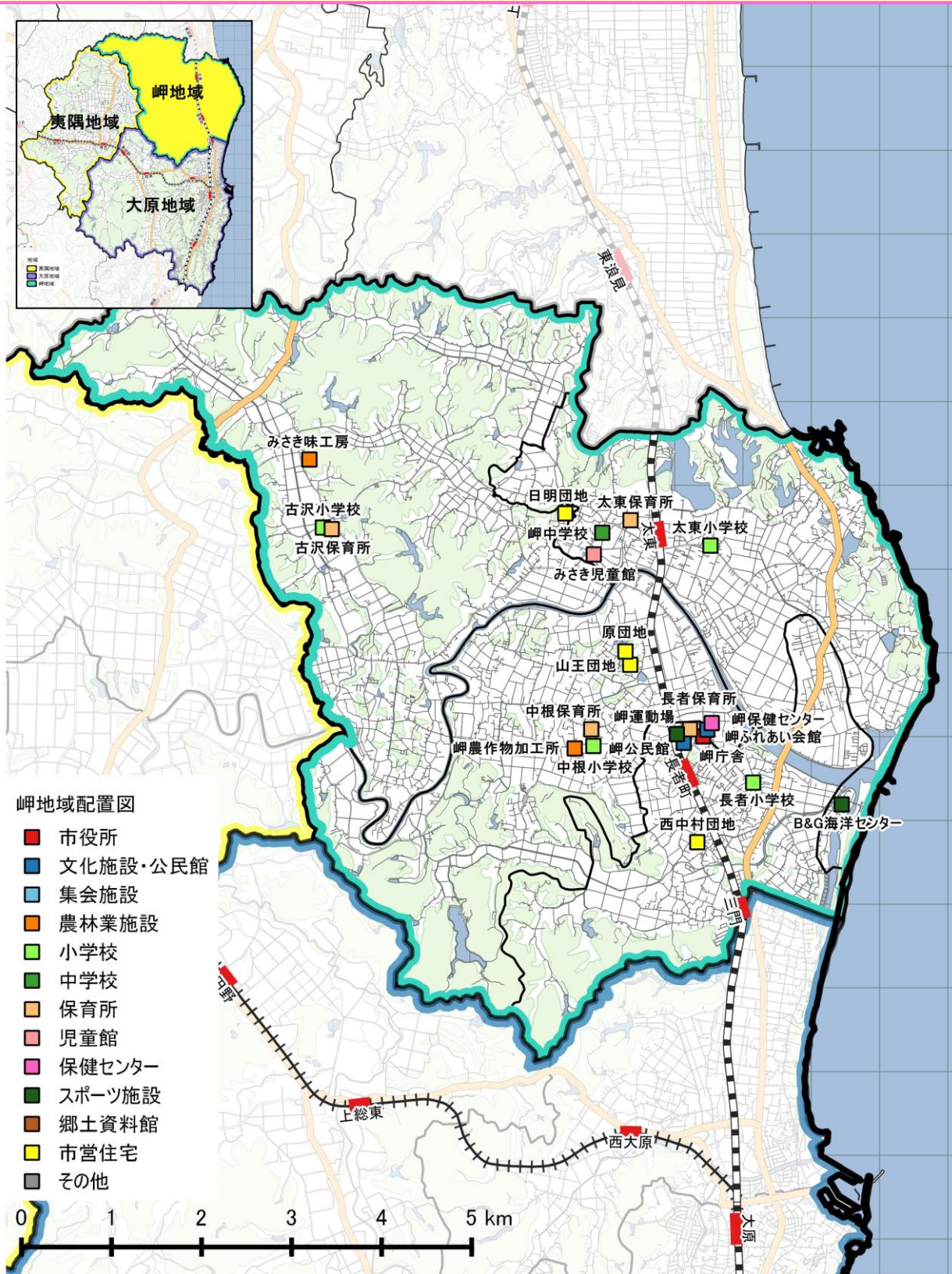
(2) 大原地域

大原駅周辺に庁舎（市役所）や文化センター等の公共施設が集中しています。浪花地区を除く各小学校と保育所は近接して設置されているほか、大原小学校区には2つの保育所があります。そのほか、東小学校に隣接して大原農産物加工センターが設置されています。



(3) 岬地域

長者駅周辺に庁舎や文化センター、公民館等が近接して配置されています。また、海浜側にB&G 海洋センターが配置されています。そのほか、太東駅周辺には中学校や児童館等が配置されています。



3. 用途別の実態把握と課題（公共施設）

（1）市役所

市役所では市の事務を行っているほか、諸手続き及び各種証明書の交付等を行っています。
3施設は合併前からの旧町の庁舎で、総合支所方式で設置している施設です。

ア 施設一覧（平成28年4月1日現在）

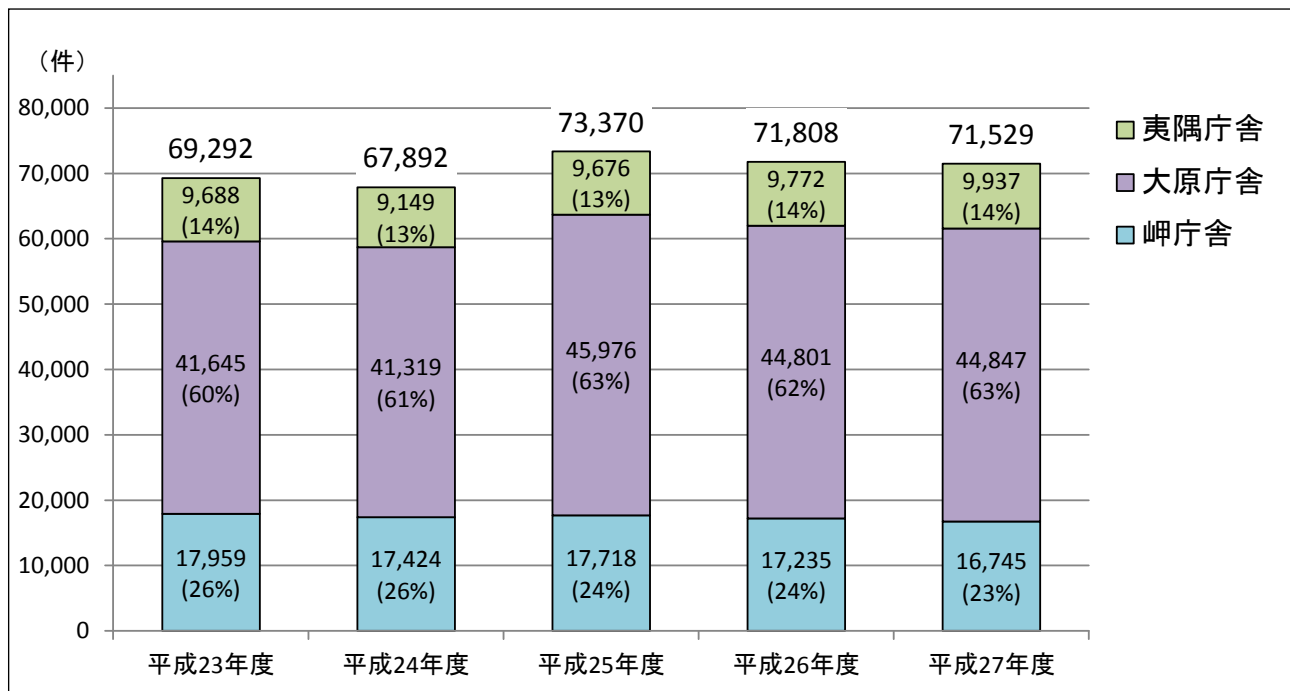
地域	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築 年 数	防災情報			バリアフリー対応			耐 震 診 断	耐 震 補 強
						避 難 所 指 定	防 災 備 蓄 用 品	自 家 発 電 設 備	エ レ ベ ー タ ー	段 差 な し	障 が い 者 用 ト イ レ		
夷隅	夷隅庁舎	国府台1524番地1	1,747	昭和44	47	—	—	—	—	○	○	×	×
大原	大原庁舎	大原7400番地1	4,735	昭和58	33	○	○	○	○	○	○	—	—
岬	岬庁舎	岬町長者549番地	1,687	昭和45	46	—	—	—	—	○	○	×	×
総計			8,169										

出典：公共施設現況調査票

- ※1 建築年度は代表棟について記載
- ※2 建築年度の赤文字は築30年以上
- ※3 延床面積は付属棟含む

イ 証明書年間発行件数の推移（平成23～27年度）

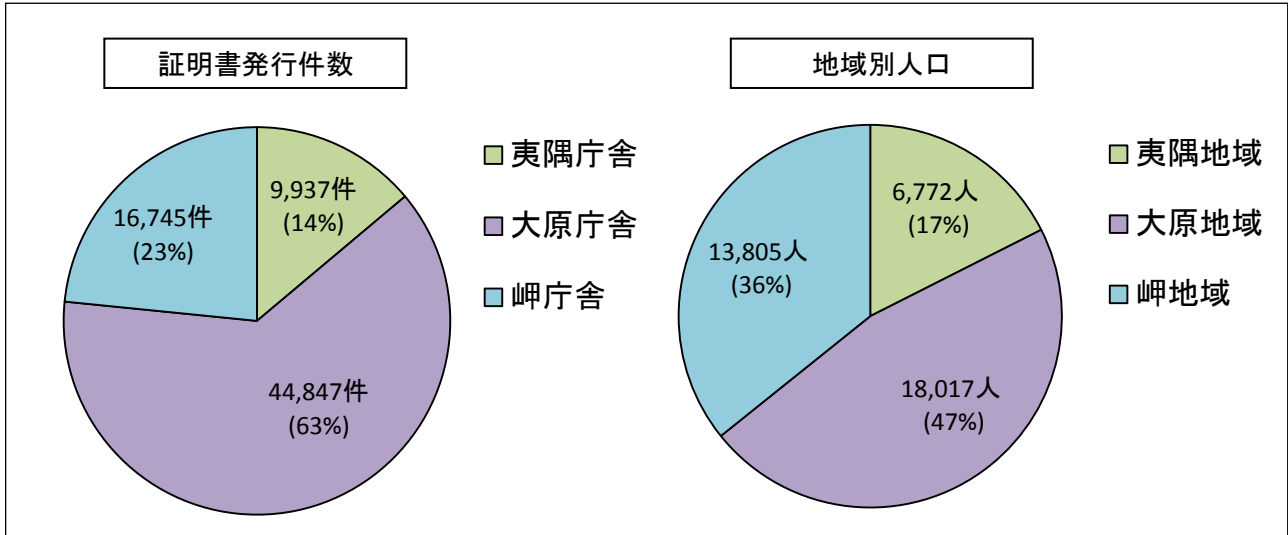
年間の証明書発行件数は7万件前後で推移しています。そのうち、大原庁舎が4万件台で推移しており、6割以上を占めています。岬庁舎は1.7万件前後、夷隅庁舎は9千件台で推移しています。



出典：市民課資料

ウ 証明書発行件数の施設別割合と地域人口の比較（平成27年度）

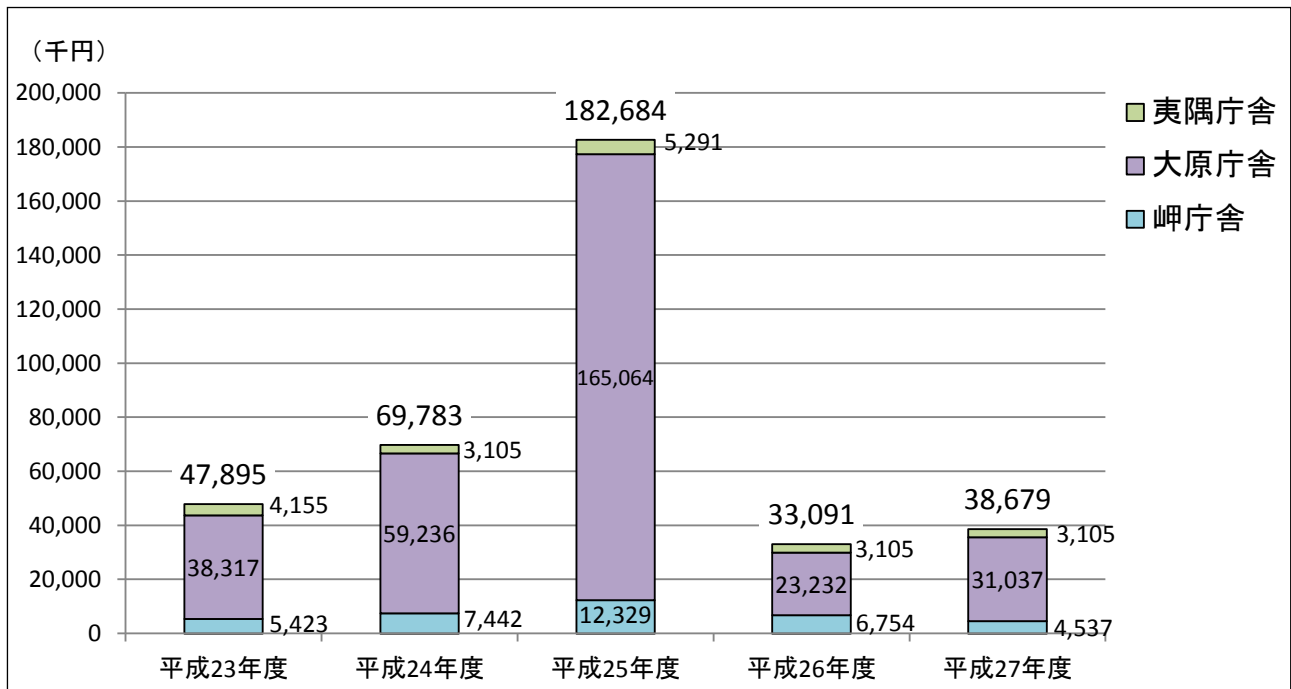
3施設の証明書の発行件数7.2万件のうち、大原庁舎の発行件数が63%を占めています。地域別人口と比較すると、平成27年国勢調査に基づく大原地域の人口割合は47%であり、利用者のうち大原庁舎を利用する人がやや多い傾向にあります。

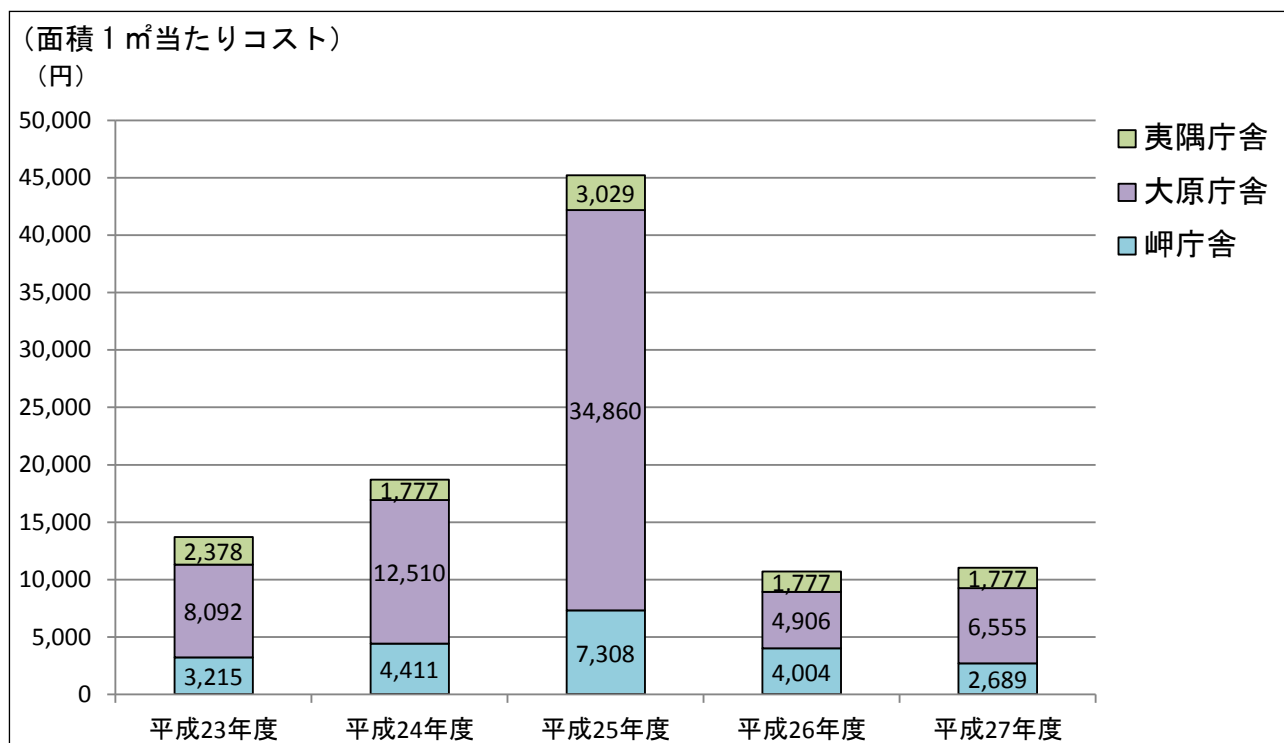


参考：平成27年国勢調査

エ コストの状況（平成23～27年度）

大原庁舎は平成25年度に空調機改修工事を行ったため、コストが増加しています。また、夷隅庁舎、岬庁舎には年間数百万円のコストがかかっています。





利用状況等からの実態と課題

- 3施設とも築30年を経過しており、特に夷隅庁舎、岬庁舎は築40年を超えています。耐震工事を行っておらず、老朽化が進行しています。
- 3施設は総合支所方式で設置していますが、現在は大原庁舎に業務のほとんどを集約しています。また、地域人口と比較しても大原庁舎を利用する人がやや多い傾向にあります。

(2) 文化施設・公民館

いすみ市では、文化会館・文化センターを3施設保有しており、地域文化の振興及び芸術文化・創作活動の発表や趣味教養の研究の場として開設しています。

また、夷隅文化会館、大原文化センターは公民館との複合施設であり、岬公民館と合わせて3施設の公民館があります。公民館は住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として設置されています。

ア 施設一覧（平成28年4月1日現在）

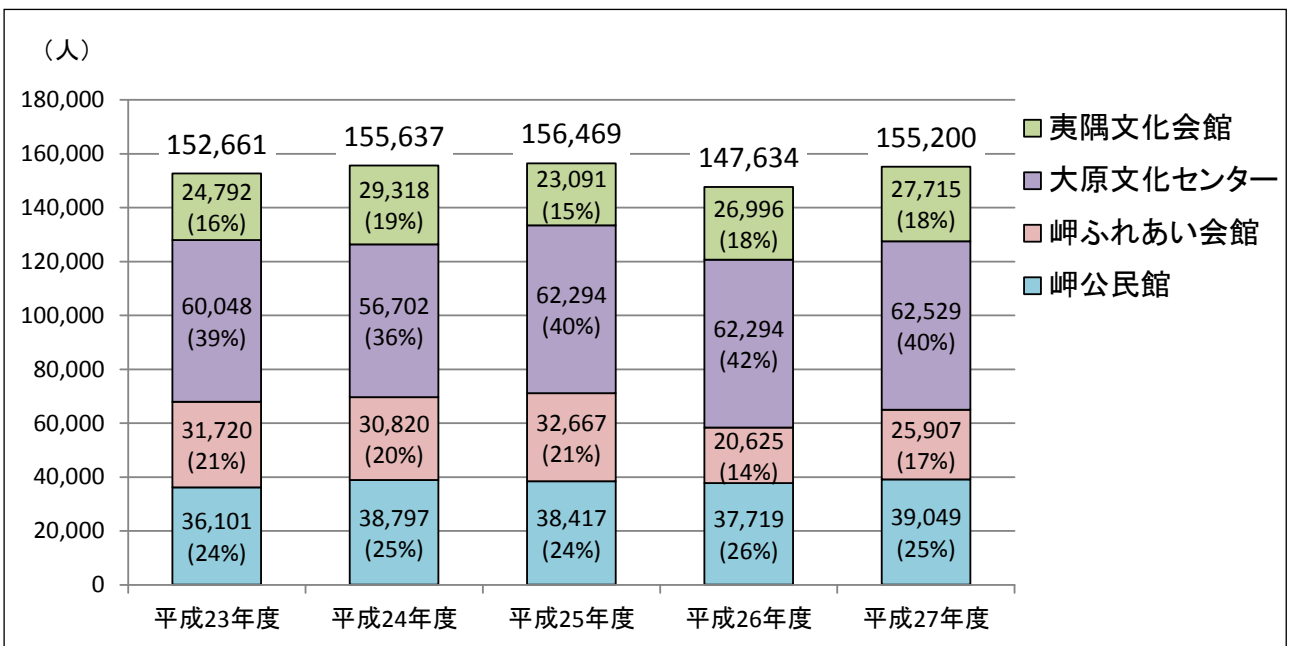
地域	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	防災情報			バリアフリー対応			耐震診断	耐震補強
						避難 所 指定	防災 備 蓄 用 品	自家 発 電 設 備	エレ ベ ー タ ー	段 差 な し	障 が い 者 用 ト イ レ		
夷隅	夷隅文化会館	深谷1968番地1	2,728	平成4	24	○	○	○	○	○	○	—	—
大原	大原文化センター	大原7838番地	4,066	平成3	25	○	○	○	○	—	○	—	—
岬	岬ふれあい会館	岬町東中滝720番地1	5,254	平成8	20	—	—	○	○	○	○	—	—
岬	岬公民館	岬町長者22番地	2,025	昭和53	38	○	○	—	—	○	—	○	×
総計			14,073										

出典：公共施設現況調査票

- ※1 建築年度は代表棟について記載
- ※2 建築年度の赤字は築30年以上
- ※3 延床面積は付属棟含む

イ 年間利用者数の推移（平成23～27年度）

文化施設・公民館の利用者数は15万人前後で推移しています。夷隅文化会館、大原文化センター、岬公民館の3施設の利用者数は横ばいで推移していますが、岬ふれあい会館は浴場を廃止したため、平成26年度にかけて利用者数が減少しています。



出典：生涯学習課資料

ウ 保有機能の状況

3施設が数百名規模のホール機能を保有しています。また、多目的ホールを有する施設も他にあり、機能の重複が見られます。岬公民館にホール機能はありませんが、定員300名の大会議室のほか、会議室・研修室を多く保有しています。

地域	施設名	建築年度	延床面積 (㎡)	主な保有機能									
				ホール	大会議室	会議室 研修室	和室 茶室	調理室	視聴覚室	美術室 工芸室	図書室	その他	
夷隅	夷隅文化会館	平成4	2,728	●600名		●	●●				●	●	控室
大原	大原文化センター	平成3	4,066	●800名	●110名	●●●	●	●	●	●	●	●	
岬	岬ふれあい会館	平成8	5,254	●849名			●100名 福祉センター						(複合施設) 保健センター
岬	岬公民館	昭和53	2,025		●300名	●●●●	●●●	●	●			●	
(類似機能を保有する施設)													
夷隅	夷隅地区多目的研修センター	昭和59	1,461	●600名 多目的		●	●●						児童クラブ
大原	農村環境改善センター	昭和57	1,493	●360名 多目的		●●●	●	●					

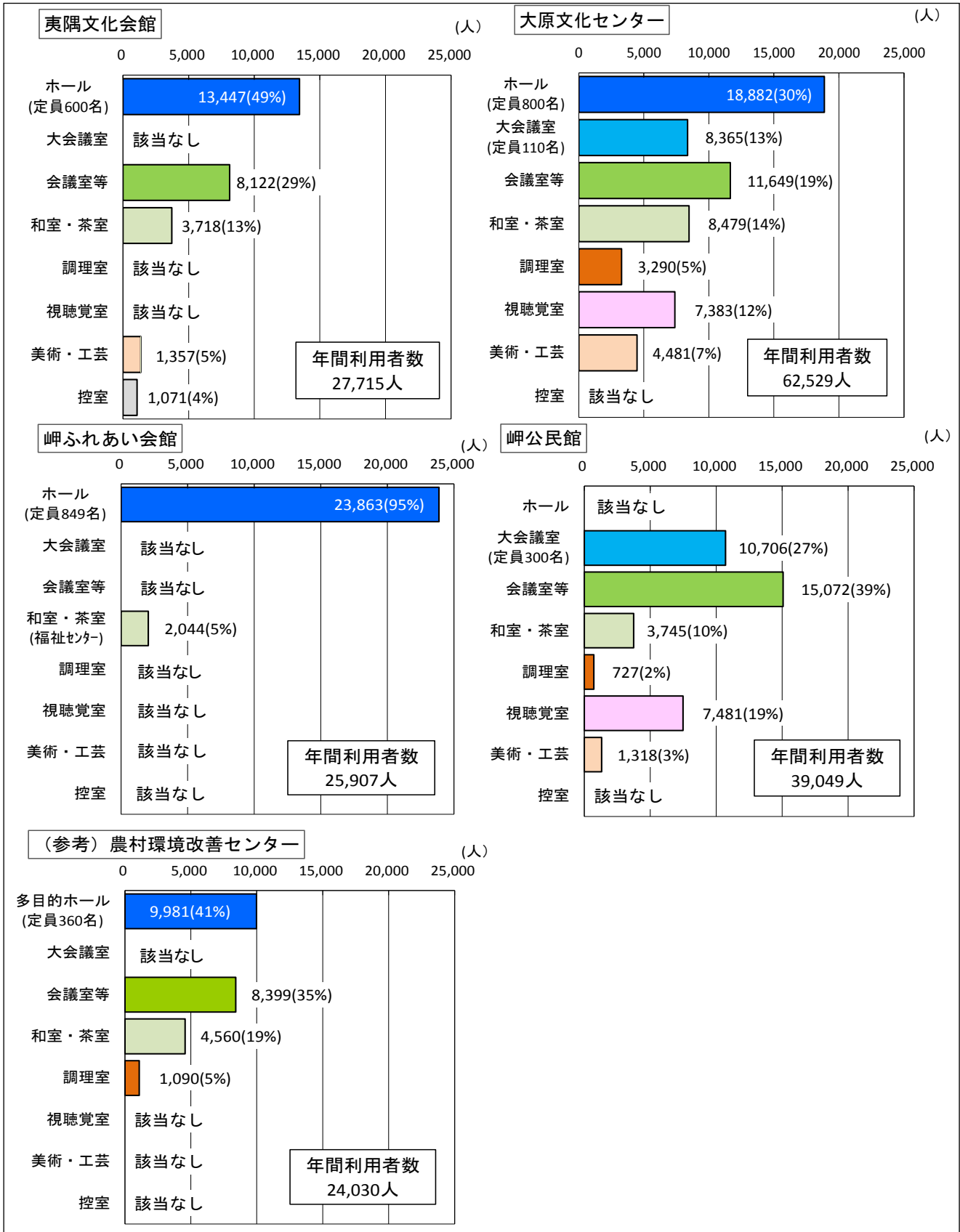
※ ●の数は部屋数を表す。

(参考) 文化施設・公民館・集会施設の保有機能と収容人員

施設名	保有機能	収容人員	施設名	保有機能	収容人員
夷隅文化会館	ホール	600名	夷隅地区 多目的研修センター	体育館	600名
	研修室	84名		運営委員会室	25名
	和室	40名		和室A	40名
	茶室	16名		和室B	40名
	美術工芸室	20名		ホワイエ	40名
	控室	8名		野外運動場	50名
	ラウンジ	20名		ふるさと憩いの家	憩の家
大原文化センター	ホール	800名	つどいの家	会議室	40名
	大会議室	110名		和室	12名
	会議室	20名		調理室	15名
	研修室	35名	ふれあいセンター	会議室	15名
	相談室1	12名		研修室	30名
	相談室2	12名	農村環境 改善センター	多目的ホール	360名
	和室	42名		会議室	12名
	調理実習室	37名		研修室1	18名
岬ふれあい会館	ホール	849名	研修室2	36名	
	和室(福祉センター)	100名	和室	60名	
岬公民館	大会議室	300名	調理実習室	24名	
	第一会議室	12名			
	第一研修室	30名			
	第二研修室	20名			
	第三・四研修室	60名			
	第五研修室	20名			
	憩の部屋(和室)	50名			
	青年会議室(和室)	10名			
	茶室(和室)	10名			
	調理室	40名			
	視聴覚室	100名			

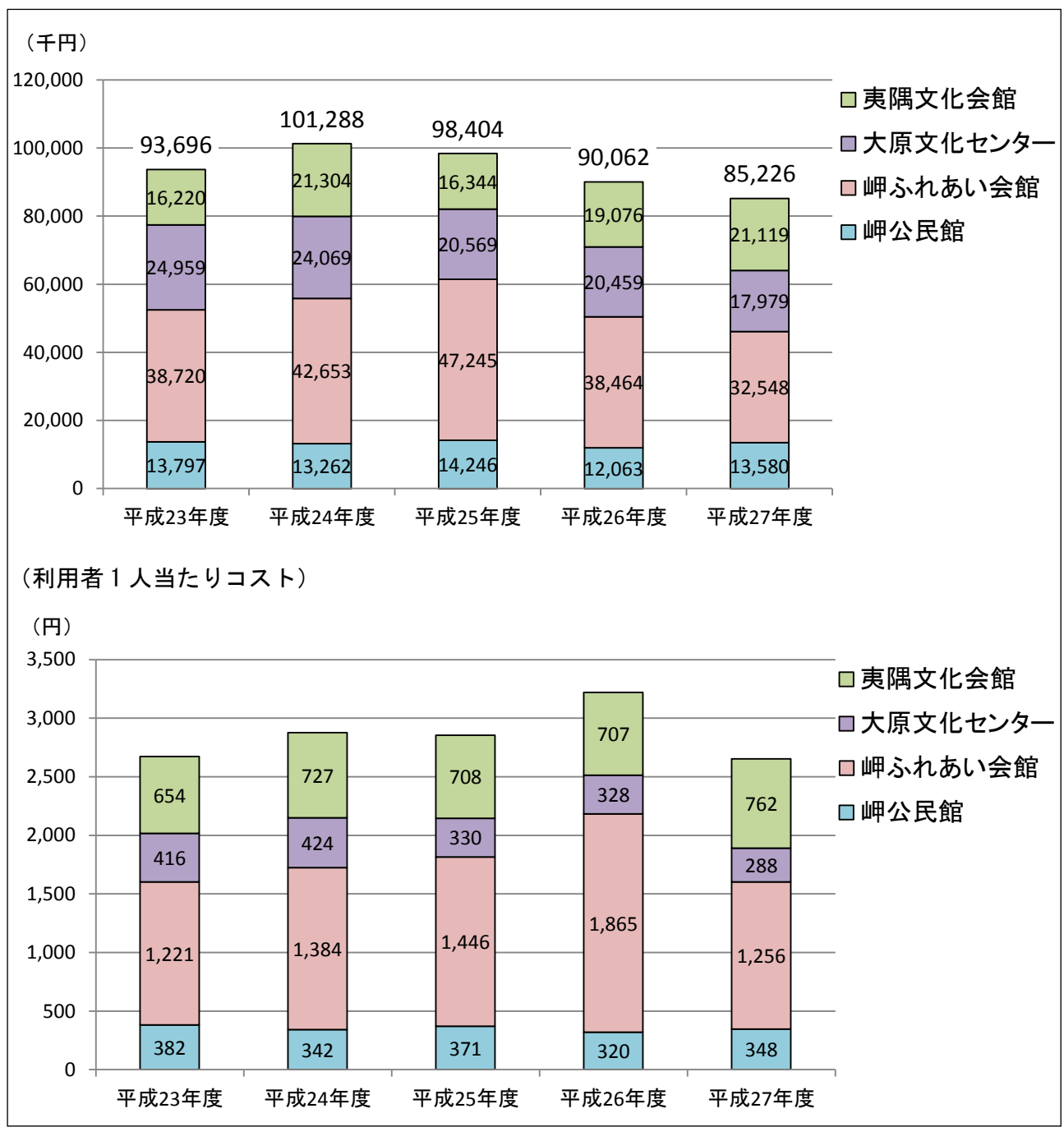
エ 機能別の利用者数（平成27年度）

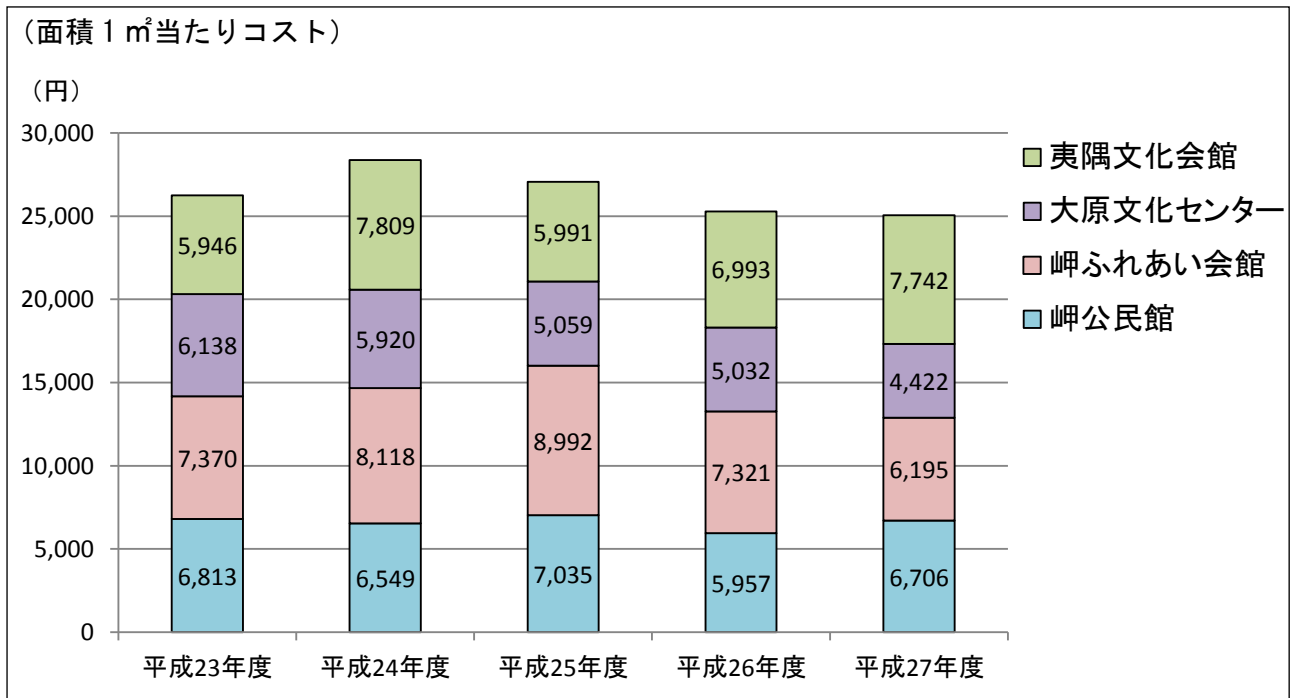
ホールの利用者は、岬ふれあい会館が2.4万人と最も多くなっており、次いで大原文化センター1.9万人、夷隅文化会館1.3万人となっています。大原文化センター、岬公民館では視聴覚室の利用者数が7千人と、調理室や工芸室と比較して多くなっています。



オ コストの状況（平成23～27年度）

文化施設・公民館にかかるコストは、近年減少傾向にあります。年間9千万円前後で推移しています。利用者1人当たりのコストは岬ふれあい会館が千円台と最も高く、一方で利用者が多い大原文化センターやホールを保有していない岬公民館は300円台前後と低くなっています。また、1㎡当たりのコストはいずれの施設も1万円を下回っています。





利用状況等からの実態と課題

- 数百名規模のホール施設を3施設保有しており、その他にも保有する機能が重複しています。
- 岬公民館と岬ふれあい会館は近接しており、配置が重複しています。
- 4施設で年間1億円近くのコストがかかっています。

(3) 集会施設

いすみ市では集会施設を5施設保有しています。

夷隅地区多目的研修センター

農業経営農家生活の改善合理化・研修、農村在住者の各行事、健康増進、地域連帯感の醸成を図ることを目的として開設しています。

ふるさと憩いの家

地域住民の連帯感の醸成と地域の活性化を図ることを目的として開設しています。

つどいの家

地域住民の相互の交流及び連帯感の醸成と社会活動の推進を図ることを目的として開設しています。

ふれあいセンター

地域産業の育成、農業後継者及び各種団体の研修、都市との交流を図ることを目的として開設しています。

農村環境改善センター

農業経営農家生活の改善合理化、農業者等農村在住者の健康増進、地域連帯感の高揚等を図ることを目的として開設しています。

ア 施設一覧（平成28年4月1日現在）

地域	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築 年 数	防災情報			バリアフリー対応			耐 震 診 断	耐 震 補 強
						避 難 所 指 定	防 災 備 蓄 用 品	自 家 発 電 設 備	エ レ ベ ー タ ー	段 差 な し	障 が い 者 用 ト イ レ		
夷隅	夷隅地区 多目的研修センター	行川721番地1	1,461	昭和59	32	○	—	—	—	△	—	—	—
夷隅	ふるさと憩いの家	大野3990番地7	283	昭和61	30	—	—	—	—	○	—	—	—
夷隅	つどいの家	松丸2863番地	235	昭和60	31	—	—	—	—	—	—	—	—
夷隅	ふれあいセンター	国府台1524番地4	284	平成11	17	—	—	—	—	○	○	—	—
大原	農村環境改善センター	大原6763番地	1,493	昭和57	34	○	—	—	—	○	○	—	—
総計			3,756										

出典：公共施設現況調査票

※1 建築年度は代表棟について記載

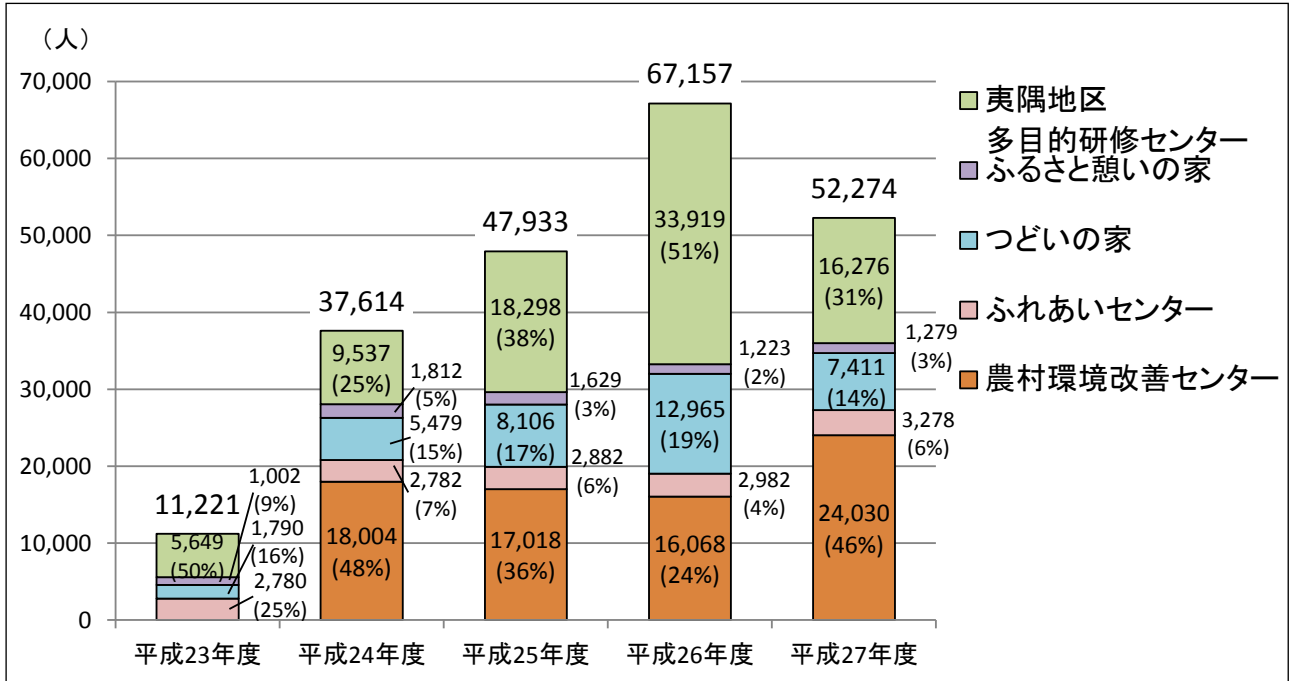
※2 建築年度の赤字は築30年以上

※3 延床面積は付属棟含む

※4 夷隅地区多目的研修センターは段差解消のため、一部スロープを設置

イ 年間利用者数の推移（平成23～27年度）

夷隅地区多目的研修センターは学童開設により利用者が急増していましたが、平成27年度にかけて利用者数が減少しています。また、夷隅地区多目的研修センターの平成27年度利用者数のうち、学童利用が11,928人であり73%を占めています。農村環境改善センターの利用者数は2万人前後で推移しています。

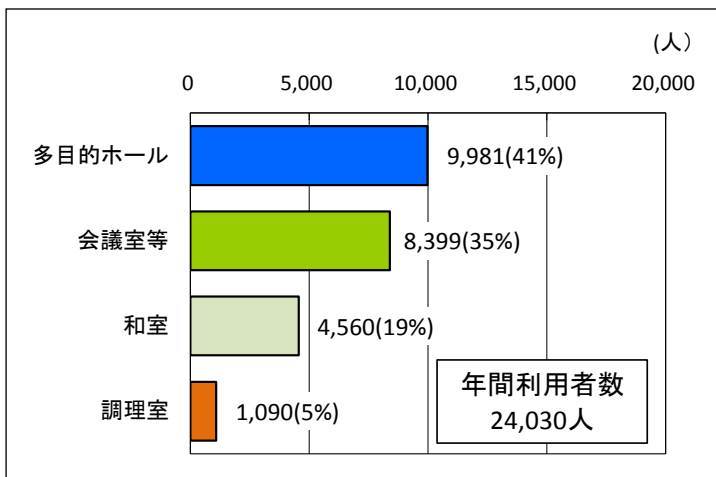


出典：生涯学習課資料、農林課資料

※農村環境改善センターは平成24年度より集計

ウ 機能別の利用者数（農村環境改善センター）（平成27年度）

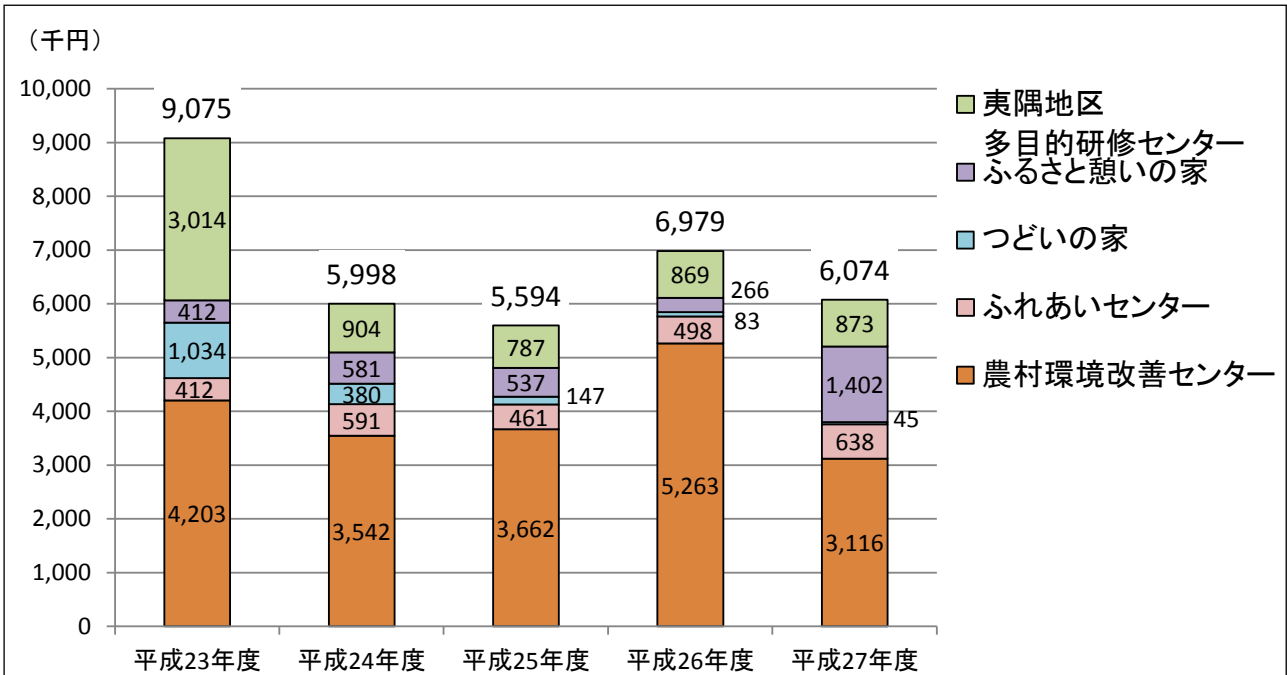
農村環境改善センターは多目的ホールや会議室の利用が主となっています。そのほか、和室や調理室を保有しています。



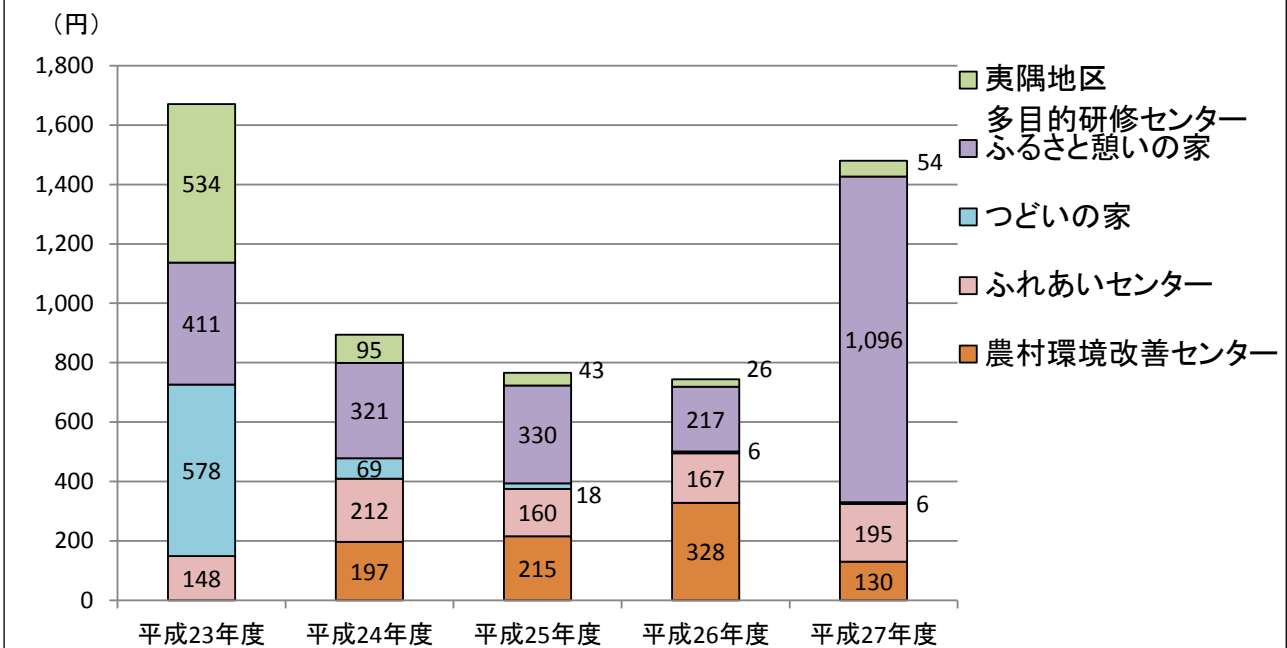
出典：農林課資料

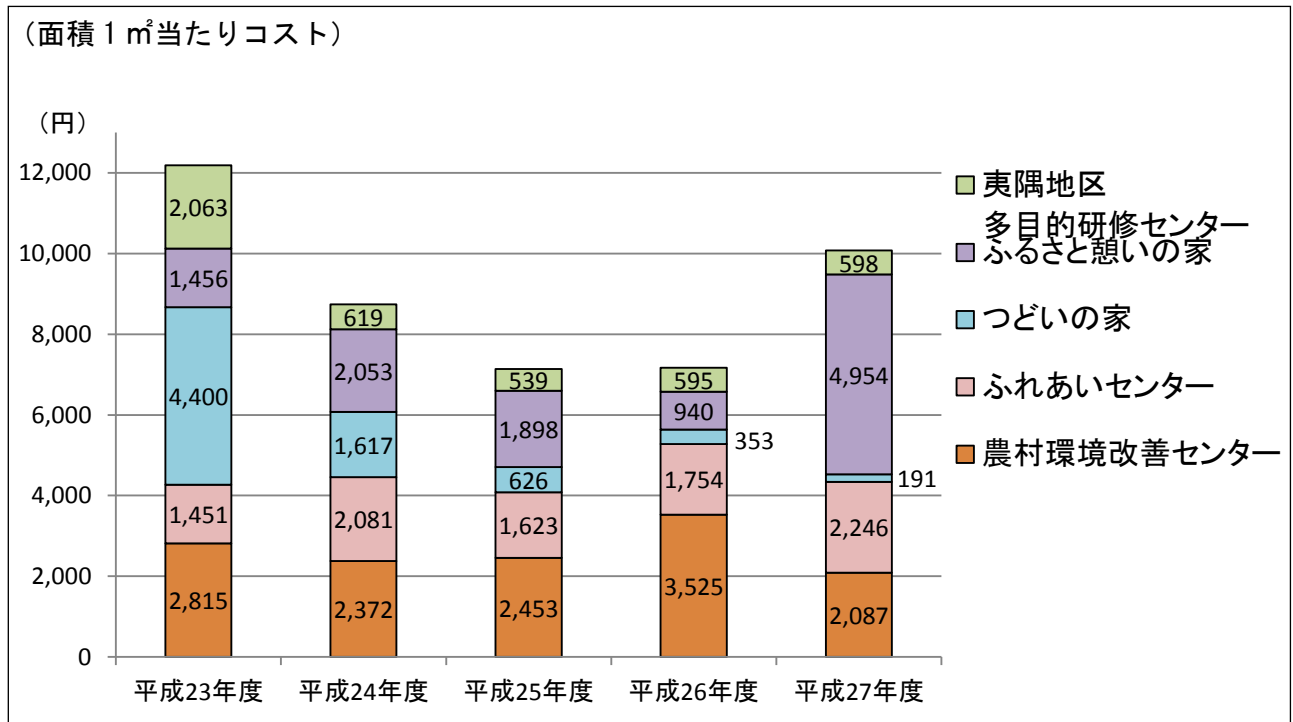
エ コストの状況（平成23～27年度）

集会施設5施設のコストの合計は平成24年度以降6百万円前後で推移しており、そのうち農村環境改善センターのコストが最も多くなっています。夷隅地区多目的研修センターやつどいの家は利用者が増加しており、利用者1人当たりコストが100円以下と低くなっています。



（利用者1人当たりコスト）





利用状況等からの実態と課題

- 夷隅地区多目的研修センターは学童保育(放課後児童クラブ)を開設したことにより利用者が増加しています。
- ふるさと憩いの家は利用者数が減少しているため、利用者1人当たりコストが高くなっています。
- 農村環境改善センターは利用者数が多いものの、築30年以上であり改修の時期を迎えています。
- 5施設中4施設は夷隅地域に配置されています。

(4) 農林業施設

いすみ市では、農業経営及び農家生活の改善合理化、農業者等農村在住者の健康増進、地域連帯感の高揚等を図り、また地域で生産される農産物を活用し、加工技術の習得を図り、もって農産物の付加価値を高め、地域活性化に資することを目的として農林業施設を設置しています。

ア 施設一覧（平成28年4月1日現在）

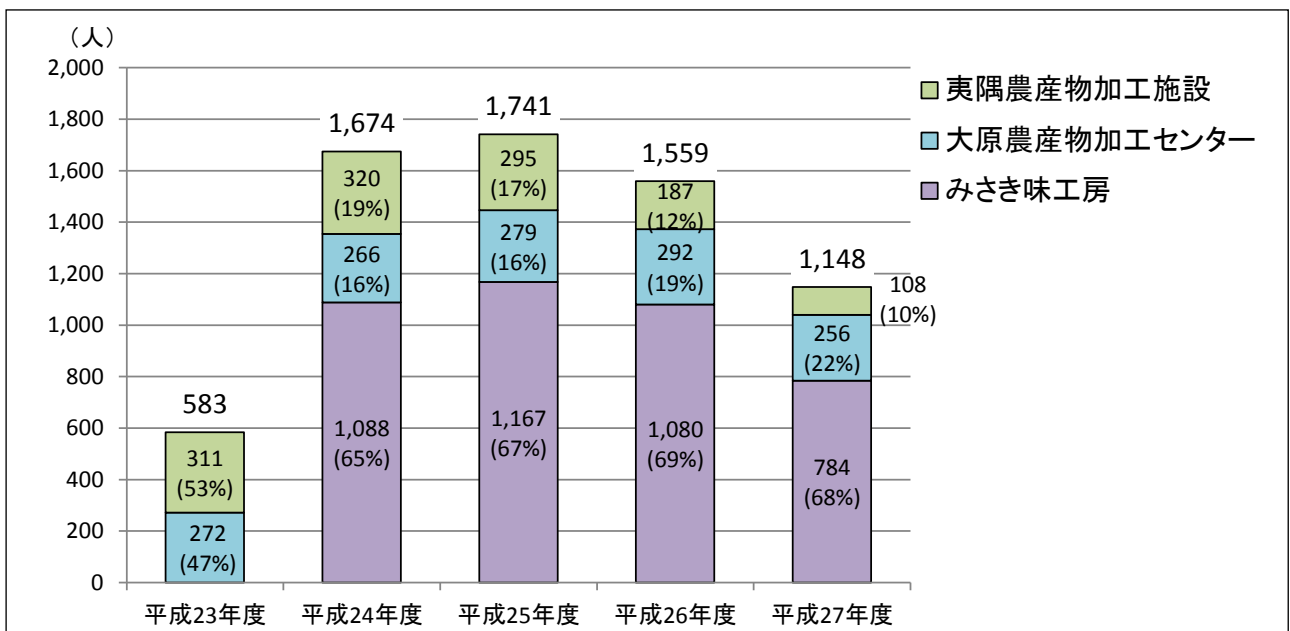
地域	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築 年 数	防災情報			バリアフリー対応			耐 震 診 断	耐 震 補 強
						避 難 所 指 定	防 災 備 蓄 用 品	自 家 発 電 設 備	エ レ ベ ー タ ー	段 差 な し	障 が い 者 用 ト イ レ		
夷隅	夷隅農産物加工施設	弥正88番地1	72	昭和49	42	—	—	—	—	—	—	—	—
夷隅	いすみ市集出荷場	能実39番地1	140	平成2	26	—	—	—	—	—	—	—	—
大原	大原農産物加工センター	山田1346番地1	317	昭和58	33	—	—	—	—	—	—	—	—
岬	みさき味工房	岬町岩熊1054番地	216	平成15	13	—	—	—	—	○	—	—	—
岬	岬農作物加工所	岬町中滝943番地13	41	平成2	26	—	—	—	—	○	—	—	—
総計			786										

出典：公共施設現況調査票

- ※1 建築年度は代表棟について記載
- ※2 建築年度の赤字は築30年以上
- ※3 延床面積は付属棟含む

イ 年間利用者数の推移（平成23～27年度）

夷隅農産物加工施設を含めた農産物加工施設3施設の利用者のうち、みさき味工房の利用者数は千人前後で推移しており、60%台後半を占めています。その他2つの施設は200人前後の利用者数となっています。



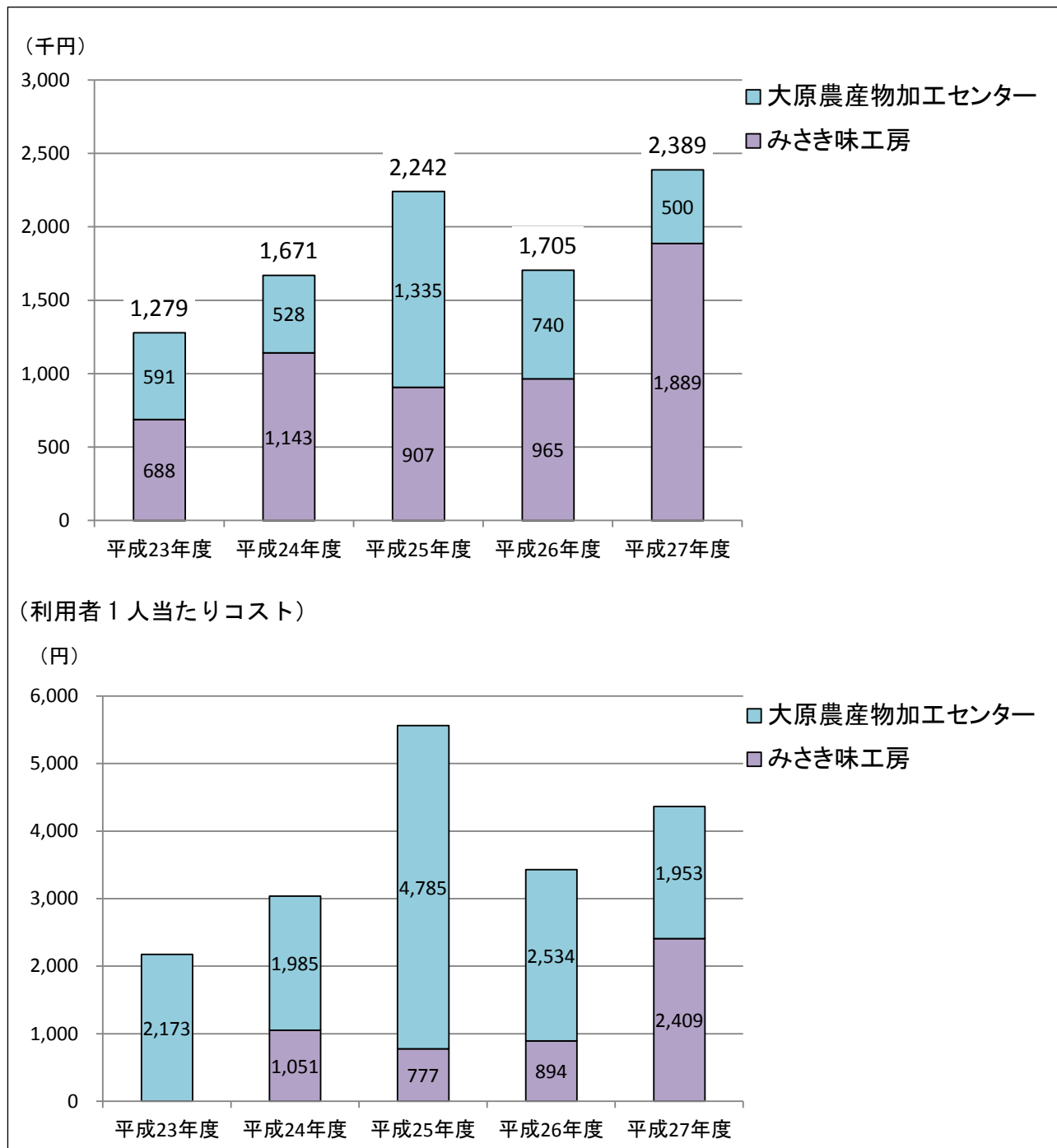
出典：農林課資料

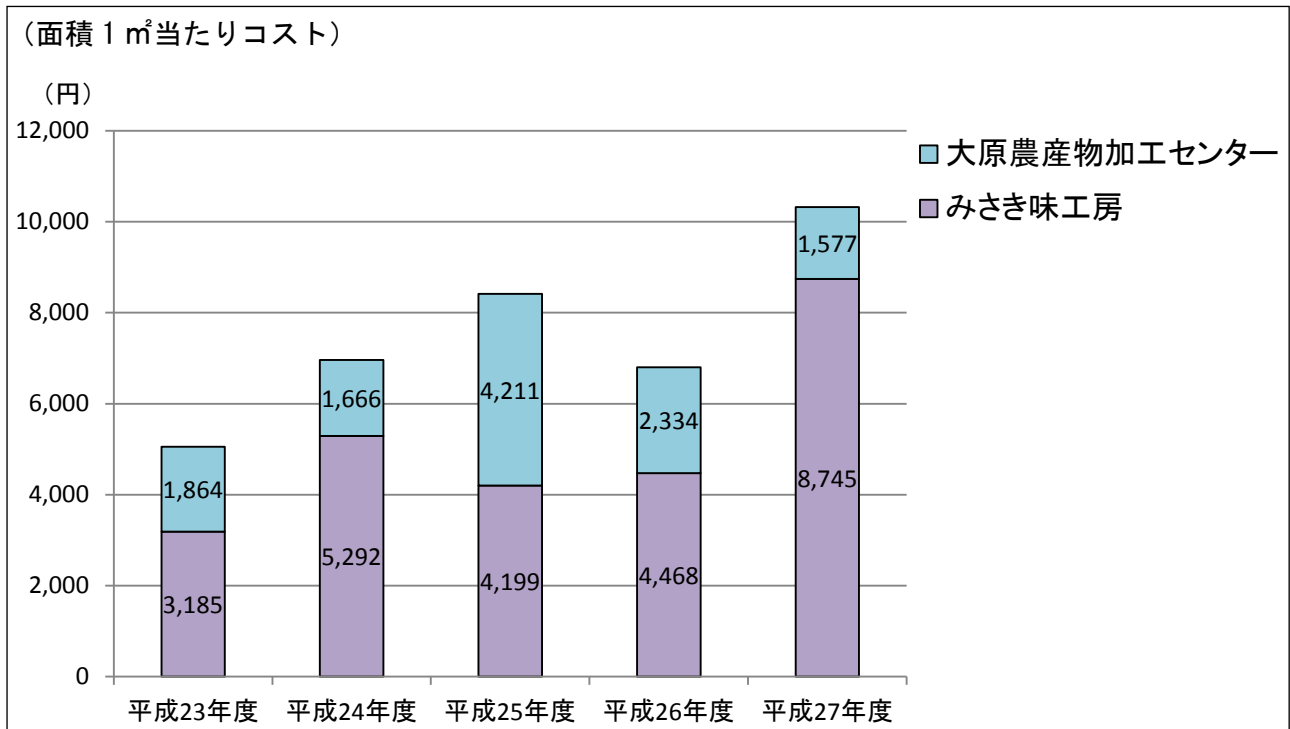
※1 夷隅農産物加工施設は夷隅地域農林業センター内の施設

※2 みさき味工房は平成24年度より利用人数を計上、いすみ市集出荷場・岬農作物加工所は利用人数の計上なし

ウ コストの状況（平成23～27年度）

2施設にかかるコストは年間200万円前後で推移しています。利用者数が少ないこともあり、利用者1人当たりのコストは概ね千円を超えて推移しています。また、面積1㎡当たりのコストも千円を超えて推移しています。





利用状況等からの実態と課題

- 農林業施設は稼働期間が限定されており、利用者が少ない施設が生じています。
- 利用者 1 人当たりのコストが概ね千円を超えて推移しています。

(5) 小学校・中学校・給食センター

いすみ市では小学校を11校、中学校を3校保有しています。
 その他に、学校関連施設としていすみ市学校給食センターを保有しています。

ア 施設一覧（平成28年4月1日現在）

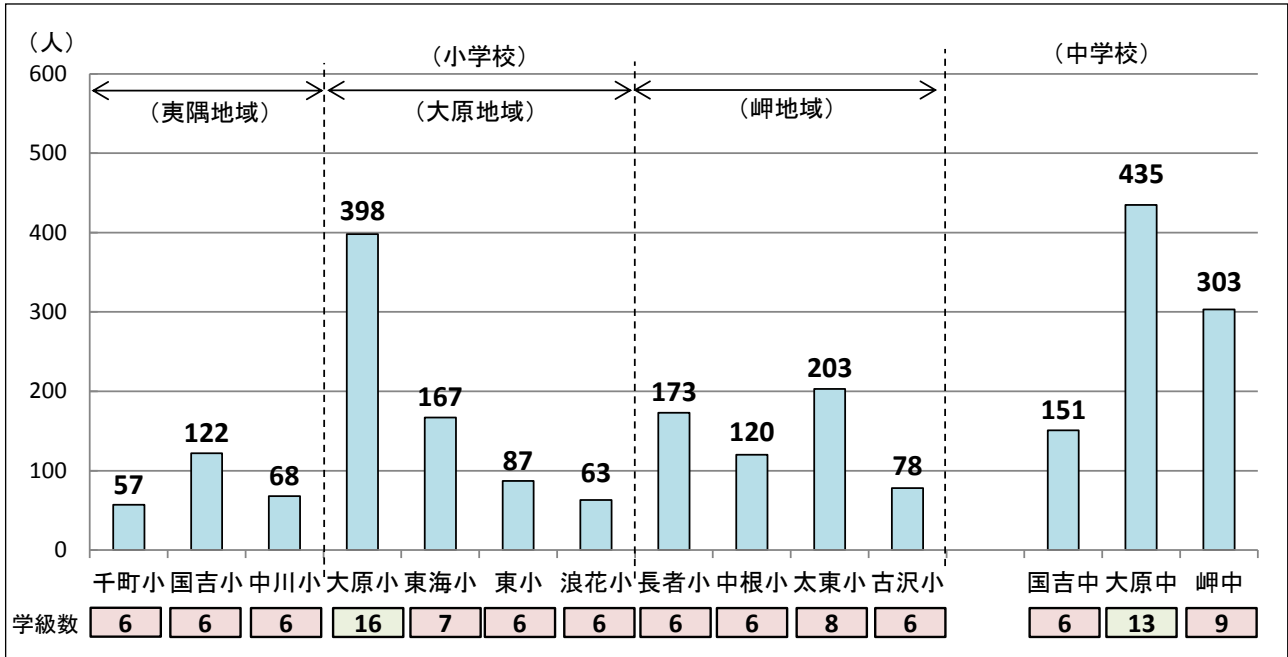
地域	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築 年 数	防災情報			バリアフリー対応			耐 震 診 断	耐 震 補 強
						避 難 所 指 定	防 災 備 蓄 用 品	自 家 発 電 設 備	エ レ ベ ー タ ー	段 差 な し	障 が い 者 用 ト イ レ		
夷隅	千町小学校	松丸3226番地	2,559	昭和46	45	○	○	—	—	—	—	○	×
夷隅	国吉小学校	深谷127番地	3,148	昭和42	49	○	—	—	—	—	—	○	×
夷隅	中川小学校	行川506番地5	2,676	昭和52	39	○	—	—	—	—	—	○	—
大原	大原小学校	大原8530番地3	6,454	昭和38	53	○	○	○	—	○	○	○	○
大原	東海小学校	若山1042番地	4,196	昭和53	38	○	—	—	—	○	—	○	—
大原	東小学校	山田460番地	3,661	昭和42	49	○	○	—	—	—	—	○	○
大原	浪花小学校	小沢1157番地	2,384	昭和44	47	○	○	—	—	○	◎	○	—
岬	長者小学校	岬町長者330番地	4,347	昭和56	35	○	—	—	—	○	—	—	—
岬	中根小学校	岬町中滝954番地	2,800	昭和50	41	○	—	—	—	○	—	○	—
岬	太東小学校	岬町椎木408番地	3,654	昭和47	44	○	—	—	—	○	◎	○	○
岬	古沢小学校	岬町岩熊563番地2	2,737	昭和54	37	○	—	—	—	○	—	○	○
計(小学校)			38,616										
夷隅	国吉中学校	国府台1552番地	5,359	昭和38	53	○	—	—	—	—	—	○	○
大原	大原中学校	大原7400番地12	13,164	昭和49	42	○	○	○	—	○	◎	○	○
岬	岬中学校	岬町椎木1370番地	6,230	平成21	7	○	○	○	—	○	◎	—	—
計(中学校)			24,753										
夷隅	いすみ市学校 給食センター	今関1033番地	2,054	平成26	2	—	—	—	—	○	○	—	—
計(給食センター)			2,054										
総計			65,423										

出典：学校施設台帳、公共施設現況調査票

- ※1 建築年度は代表棟について記載
- ※2 建築年度の赤文字は築30年以上
- ※3 延床面積は付属棟含む
- ※4 障がい者用トイレの「◎」はオストメイト対応

イ 児童生徒数と学級数（平成 27 年度）

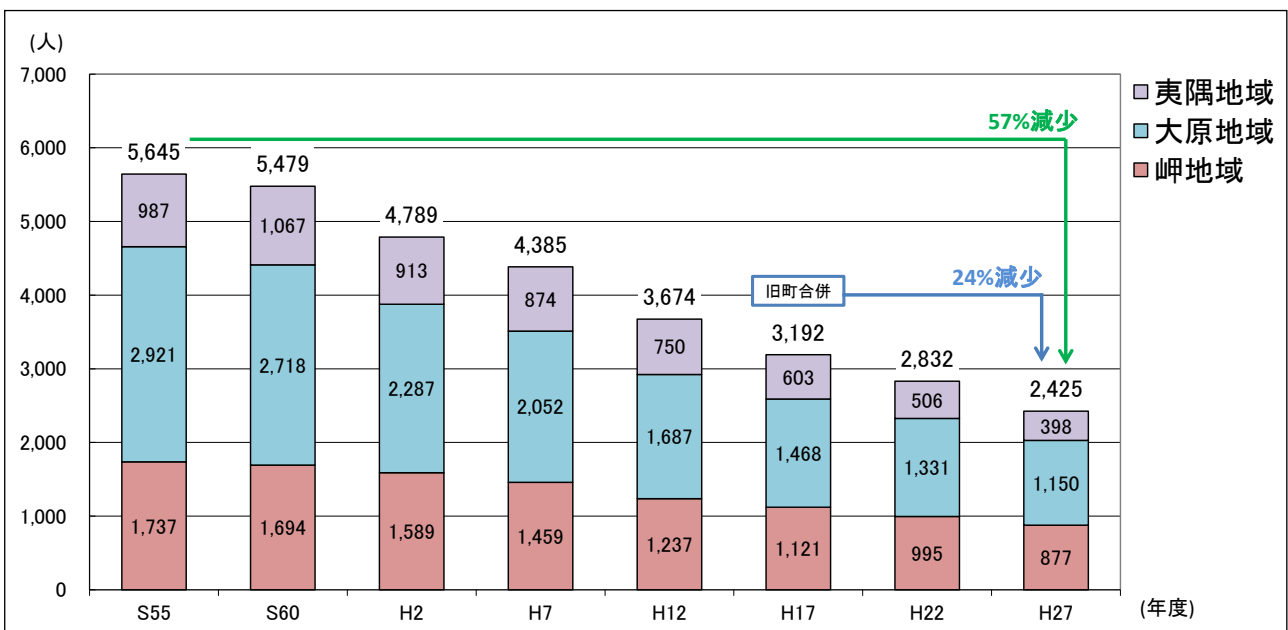
小学校は大原小学校の 398 人（16 学級）が最大規模となっています。小規模校（12 学級未満）が 11 校中 10 校で、小学校 5 校が 100 人を下回っています。中学校は大原中学校の 435 人（13 学級）が最大規模となっています。



出典：学校教育課資料

ウ 児童生徒数の推移（昭和 55～平成 27 年度）

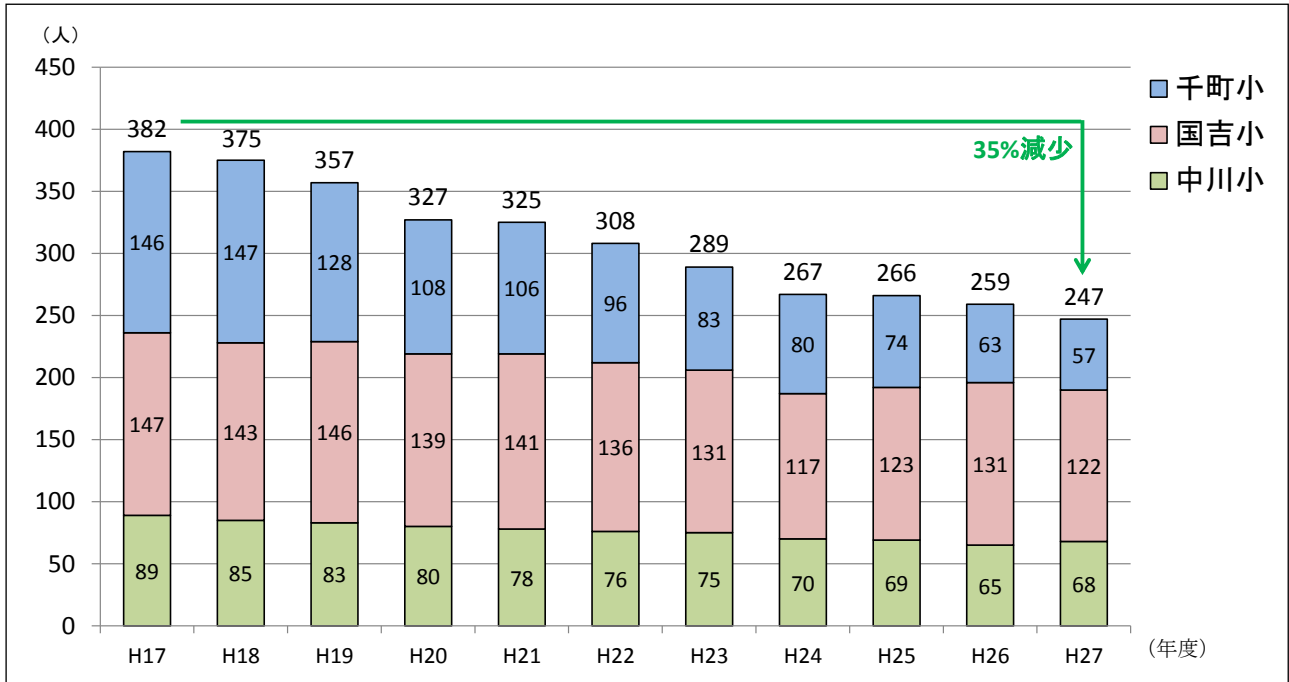
児童生徒数は昭和 55 年度から平成 27 年度にかけて 57%減少しており、2,425 人となっています。また、合併時（平成 17 年度）の 3,192 人と比較しても現在までに 24%減少しています。



出典：学校教育課資料

エ 夷隅地域の児童数の推移（平成17～平成27年度）

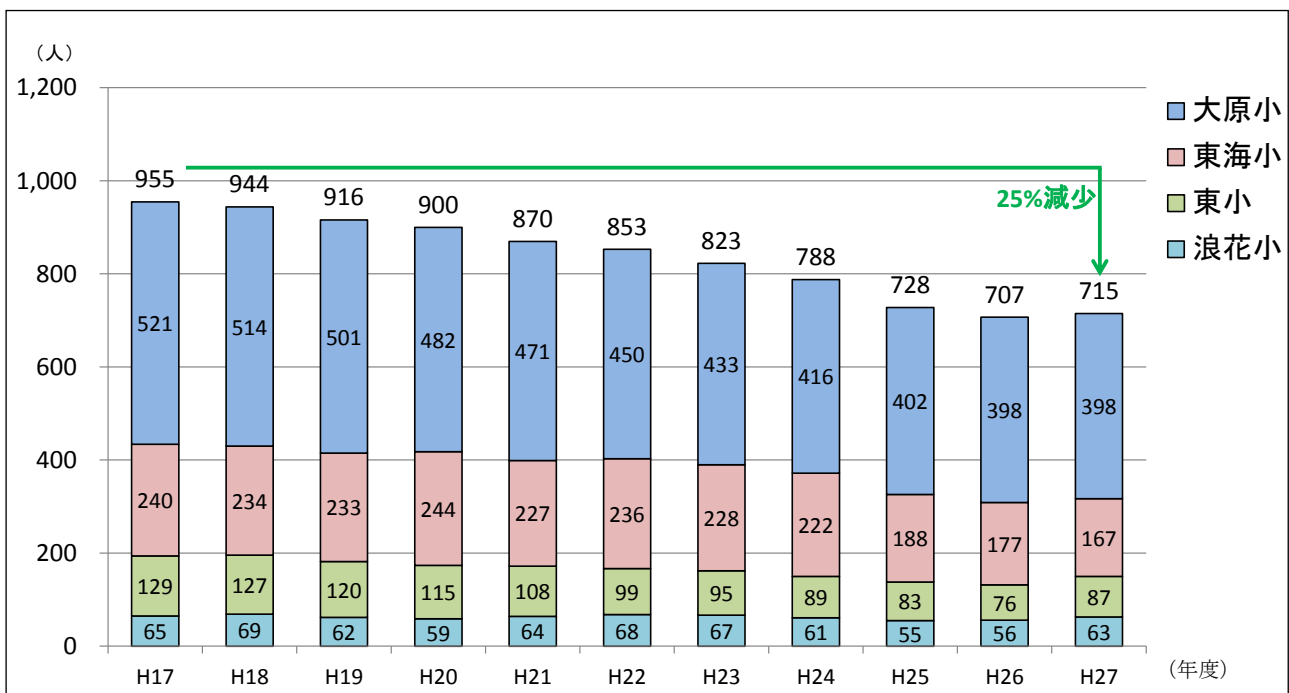
平成27年度の夷隅地域の児童数は247人で、平成17年度から35%減少しています。各小学校とも児童数が減少傾向にあります。特に千町小学校は平成17年と比較して児童数が約3分の1と急減しています。



出典：学校教育課資料

オ 大原地域の児童数の推移（布施小学校を除く）（平成17～平成27年度）

平成27年度の大原地域の児童数は715人で、平成17年度から25%減少しています。近年では浪花小学校の児童数は横ばい、他3校の児童数は減少しています。



出典：学校教育課資料

カ 岬地域の児童数の推移（平成17～平成27年度）

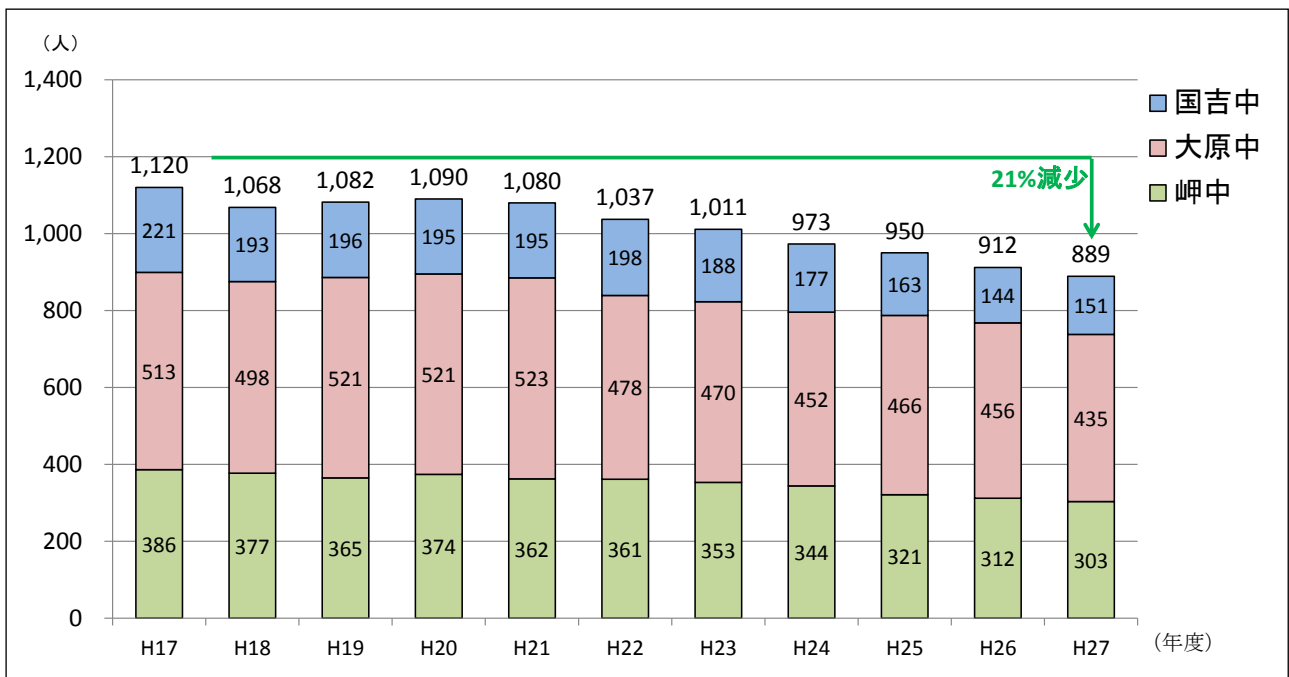
平成27年度の岬地域の児童数は574人で、平成17年度から22%減少しています。いずれの小学校の児童数も徐々に減少していますが、特に太東小学校の児童数は平成17年と比較して約3分の2となっています。



出典：学校教育課資料

キ 中学校の生徒数の推移（平成17～平成27年度）

平成27年度の中学校の生徒数は889人で、平成17年度から21%減少しています。平成17年と比較すると、国吉中学校は32%の減少、大原中学校は15%の減少、岬中学校は24%の減少となっています。

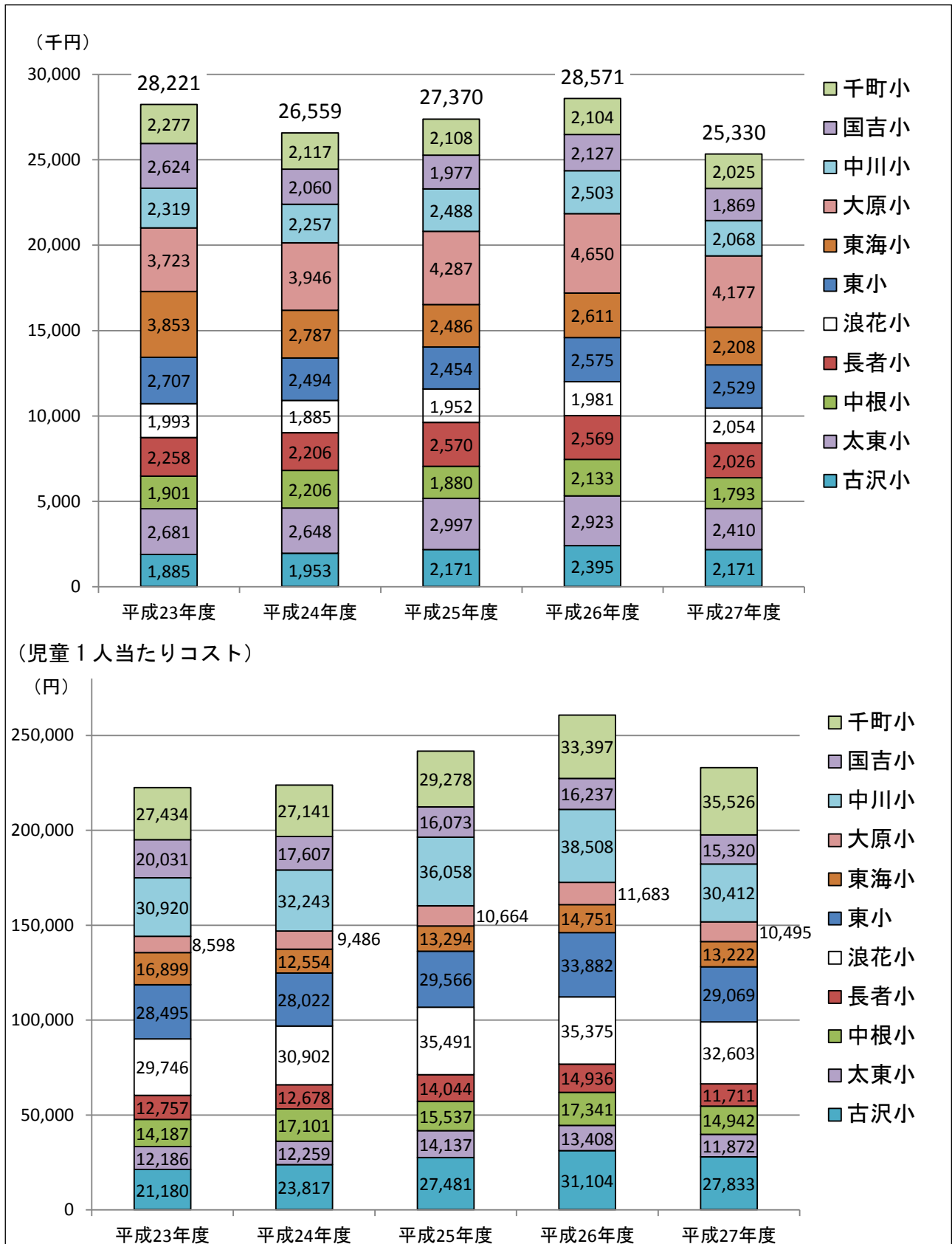


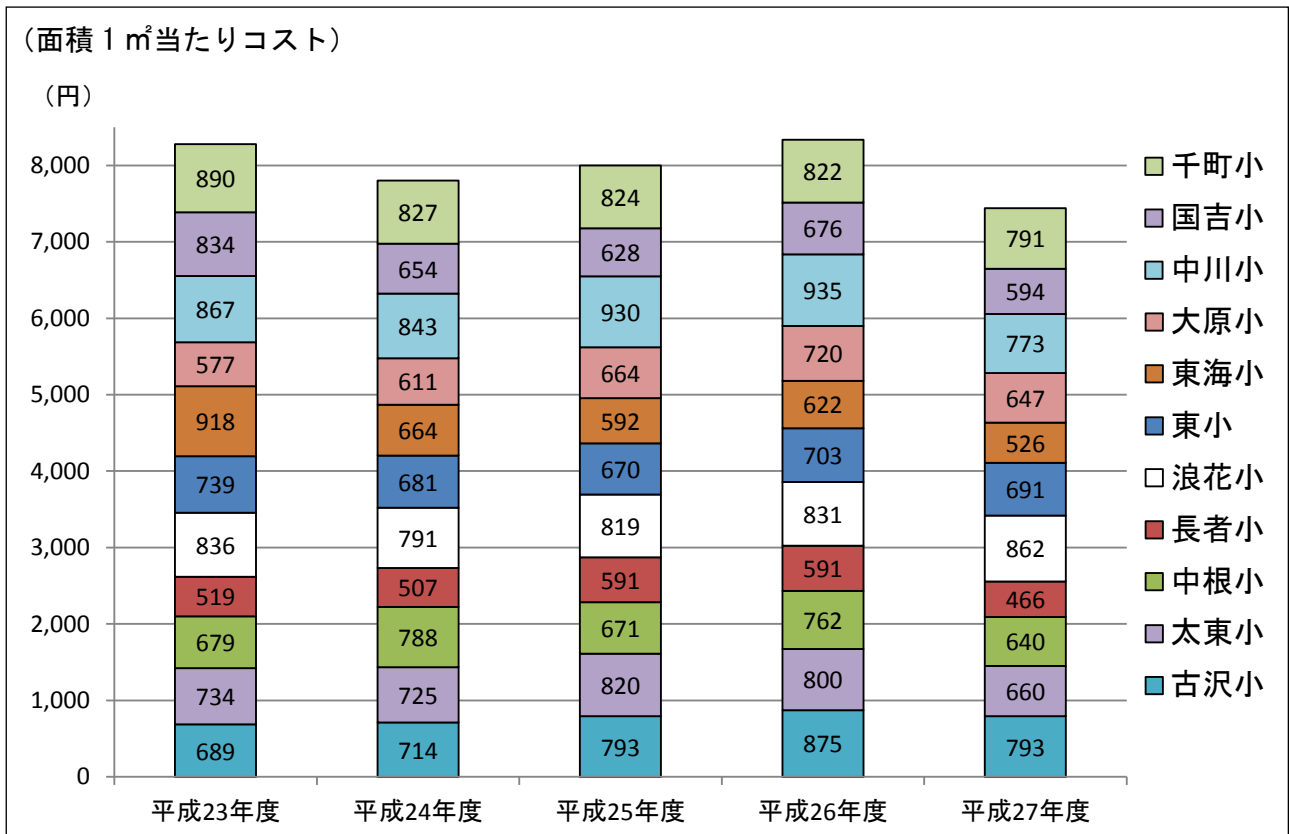
出典：学校教育課資料

ク コストの状況（平成23～27年度）

<小学校>

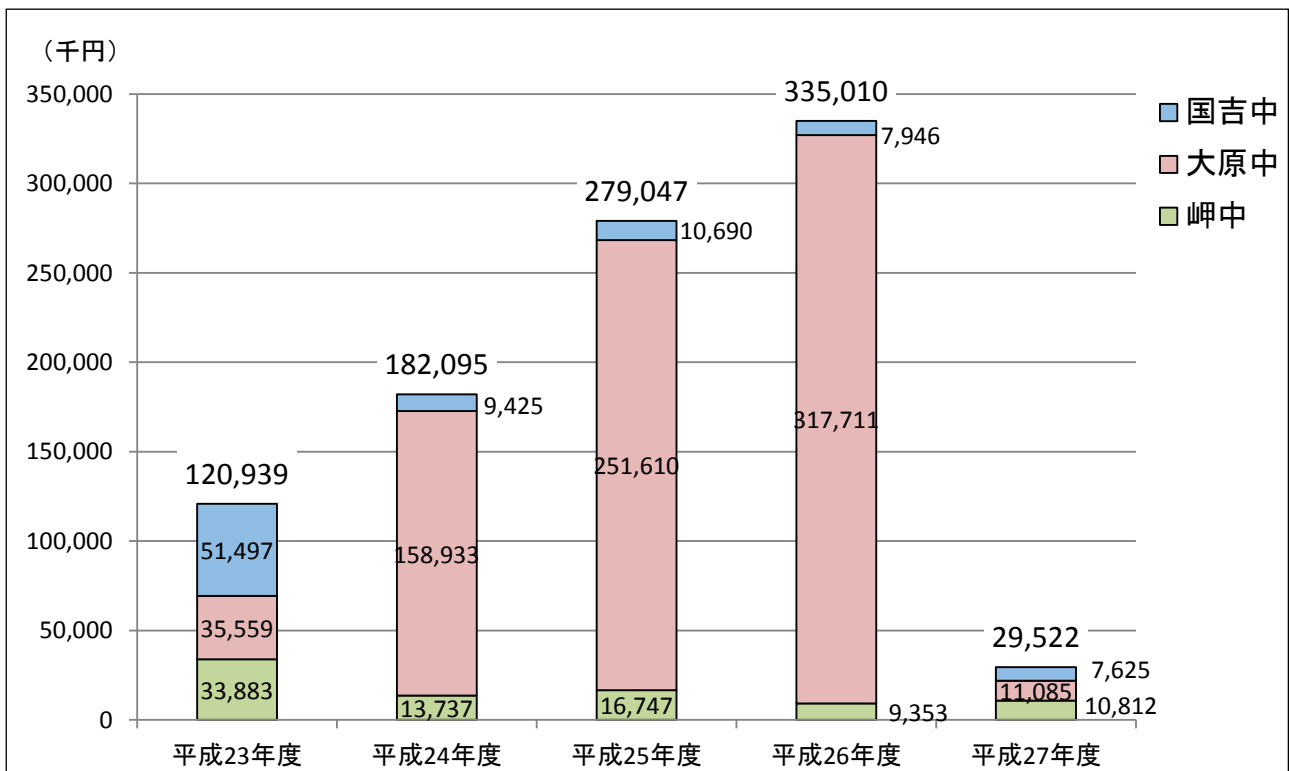
小学校11校にかかる年間費用は2千万円台となっています。そのうち、規模の大きい大原小学校の費用が400万円前後と高くなっています。児童1人当たりのコストは、児童数の少ない浪花小学校や東小学校がやや高くなっています。面積1㎡当たりのコストは千円以下で推移しています。

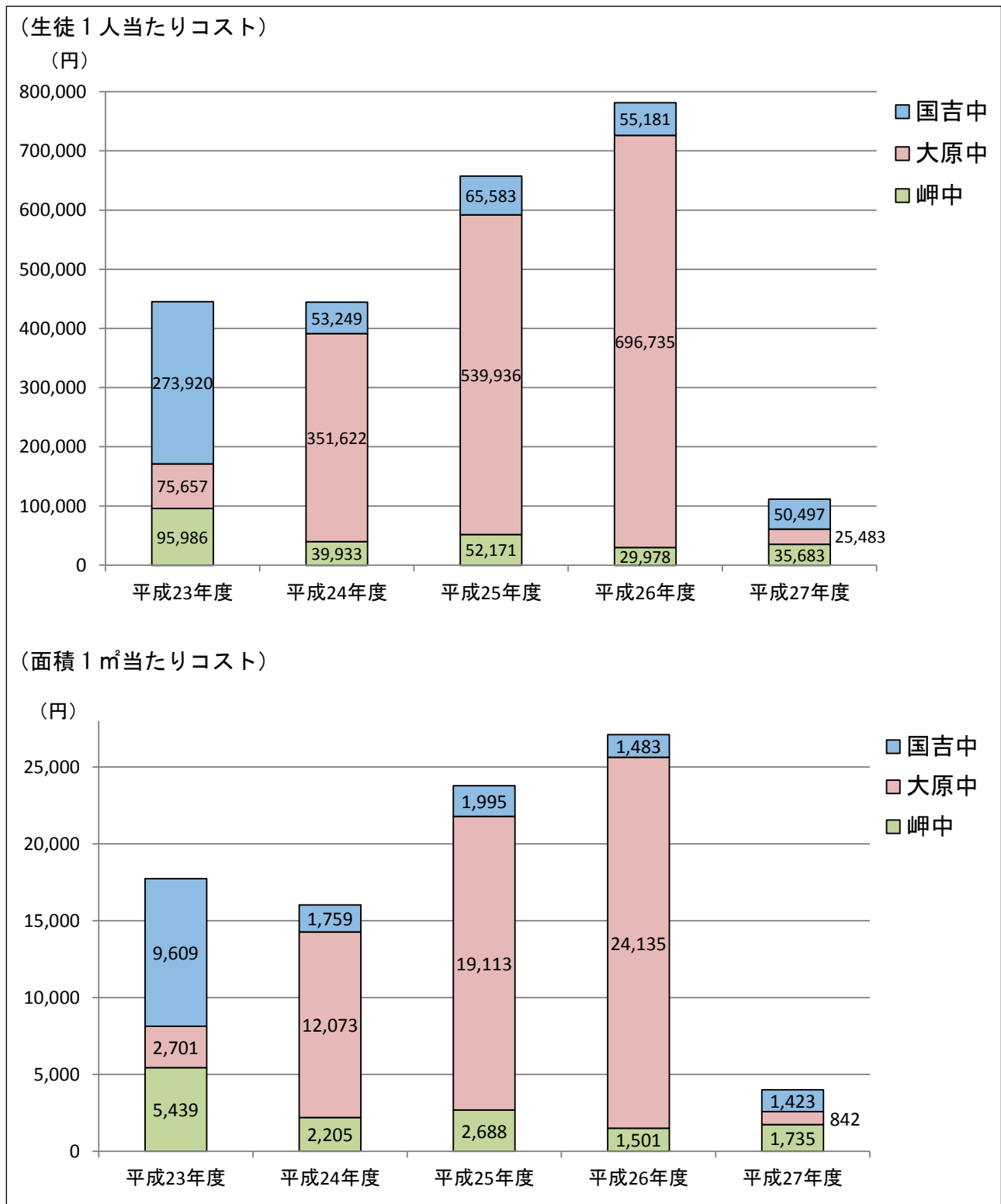




<中学校>

大原中学校は改修工事を行ったため、平成26年度にかけてコストが急増しました。平成27年度の3施設にかかるコストは約3千万円です。小学校と比較すると、生徒1人当たりコストと面積1㎡当たりコストがやや高くなっています。

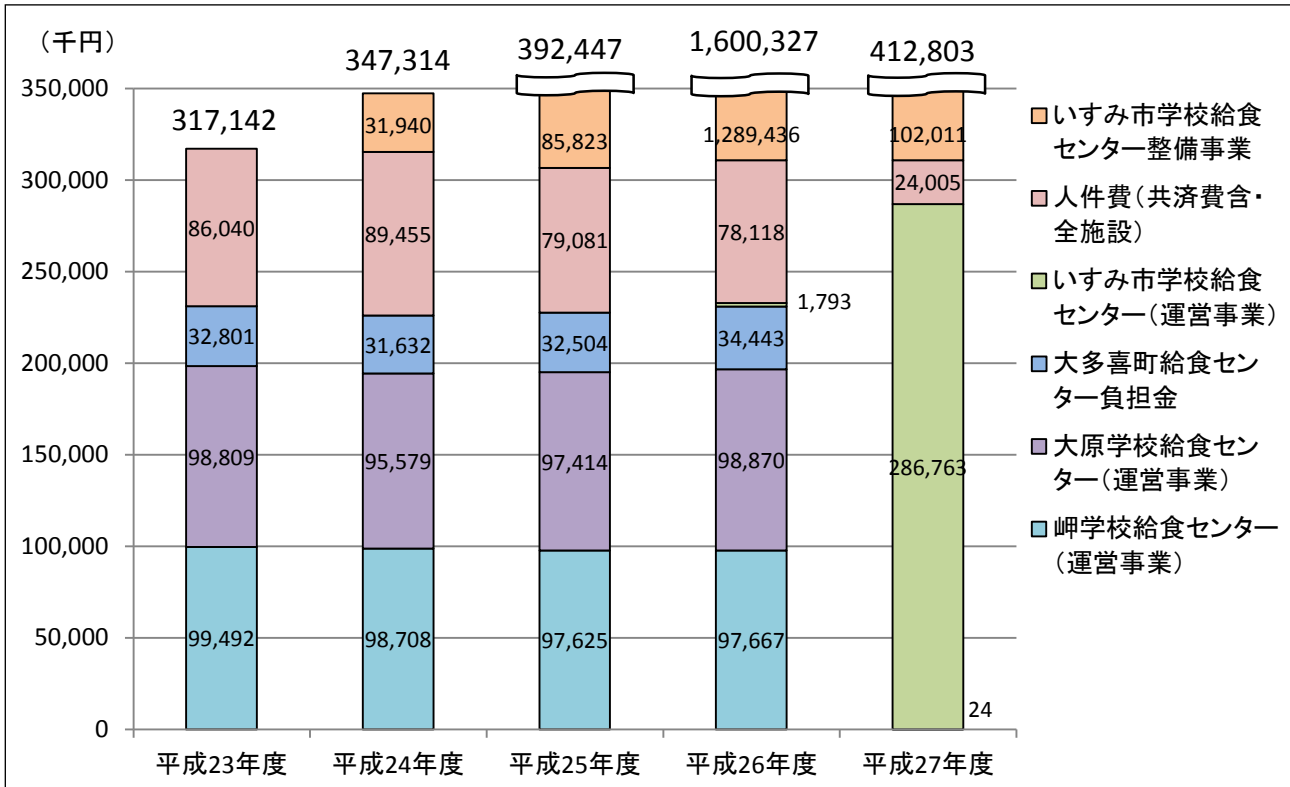




ケ 学校給食センターのコスト状況（平成23～27年度）

平成27年度よりいすみ市学校給食センターが稼働しており、それまで大原地域は大原学校給食センター、岬地域は岬学校給食センター、夷隅地域については大多喜町給食センターに委託して行っていた給食業務を集約して調理・配給しています。

いすみ市学校給食センターの整備事業にかかった費用を除くと、給食業務にかかる費用は年間3億円台で推移しています。



※大原学校給食センター、岬学校給食センターは平成27年度供用廃止

利用状況等からの実態と課題

- 13の小中学校で築30年を経過しています。
- 市全体の児童生徒数は昭和55年と比較して約6割減少しており、いずれの学校も児童生徒数が減少傾向にあります。
- 小学校11校中10校が小規模校（12学級未満）で、そのうち5校が児童数100人以下となっています。
- 夷隅地域では統合小学校を平成31年度に開校する予定です。
- いすみ市学校給食センターによりそれまで旧町で分かれていた給食業務を集約化しています。

(6) 保育所

いすみ市では保育所を10施設保有しています。
そのうち、夷隅保育所内には子育て支援センターが設置されています。

ア 施設一覧（平成28年4月1日現在）

地域	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築 年数	児童数/定員 (平成27年度)	防災情報			耐 震 診 断	耐 震 補 強
							避難所指定	防災備蓄用品	自家発電設備		
夷隅	夷隅保育所	今関1070番地1	2,100	平成23	5	160/220	—	○	—	—	—
大原	第一保育所	大原7817番地	973	昭和55	36	113/120	—	○	—	—	—
大原	第二保育所	大原1595番地	790	昭和61	30	72/90	—	○	—	—	—
大原	第三保育所（※4）	大原9942番地	670	昭和46	45	—	—	—	—	—	—
大原	東海保育所	若山238番地1	987	昭和63	28	68/120	—	○	—	—	—
大原	東保育所	山田478番地1	823	昭和59	32	51/90	—	○	—	—	—
大原	浪花保育所	大原台323	696	平成5	23	46/60	—	○	—	—	—
岬	長者保育所	岬町長者556番地2	902	昭和56	35	81/120	—	○	—	—	—
岬	中根保育所	岬町中滝980番地2	780	昭和60	31	56/90	—	○	—	—	—
岬	太東保育所	岬町椎木1446番地2	937	昭和63	28	118/140	—	○	—	—	—
岬	古沢保育所	岬町岩熊573番地1	729	昭和61	30	50/60	—	○	—	—	—
総計			10,387			815/1110					

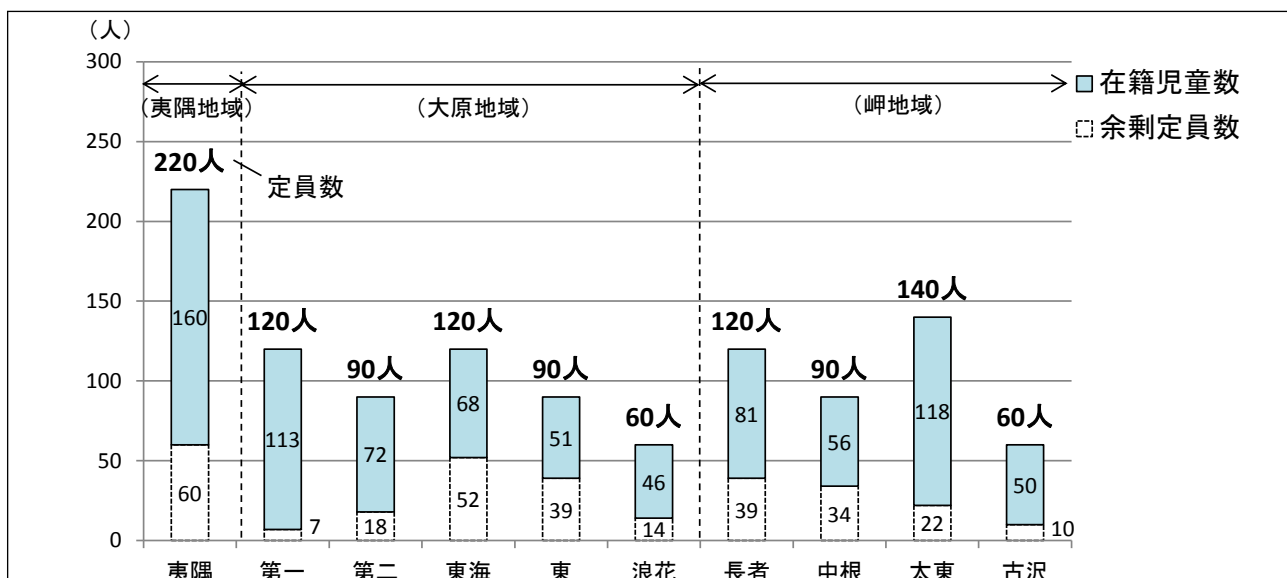
出典：公共施設現況調査票

- ※1 建築年度は代表棟について記載
- ※2 建築年度の赤字は築30年以上
- ※3 延床面積は附属棟含む
- ※4 第三保育所は平成28年4月1日用途廃止

イ 在籍児童数と定員数（平成27年度）

市内保育所の定員数1,110人に対し、在籍児童数は815人であり、73%の入園率です。

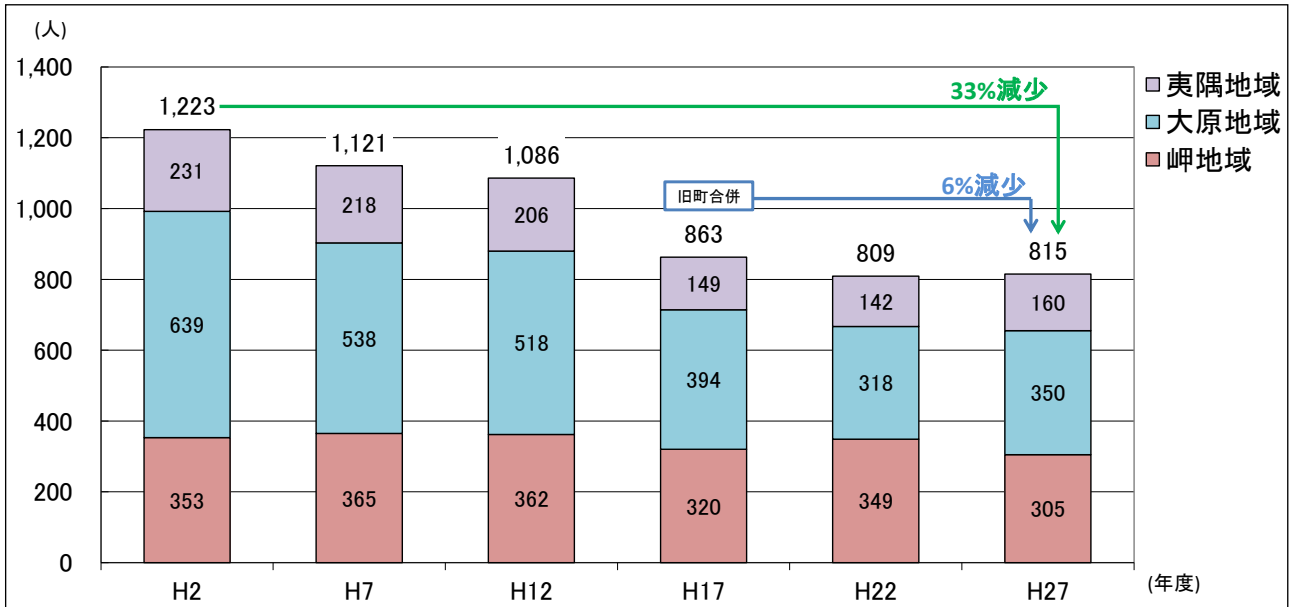
夷隅保育所の児童数が160人（14%）と最も多く、次いで太東保育所の118人（11%）となっています。



出典：福祉課資料

ウ 児童数の推移（平成2～27年度）

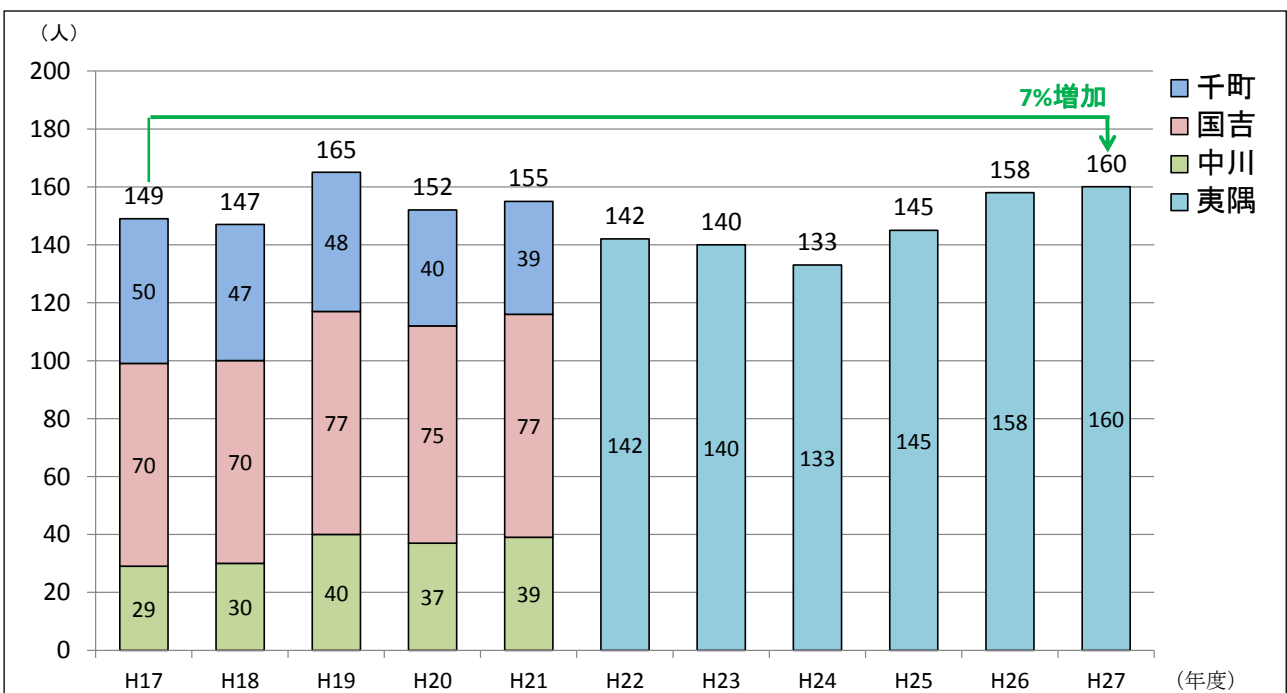
市内の児童数は平成2年度から比較して33%減少しています。特に大原地域の児童数の減少率が45%と最も大きく、夷隅地域31%、岬地域14%の減少率となっています。



出典：福祉課資料

エ 夷隅地域の保育所児童数の推移（平成17～27年度）

平成27年度の児童数は160人であり、平成17年度から7%増加しています。合併時には3つの保育所がありましたが、平成22年度に統合されています。

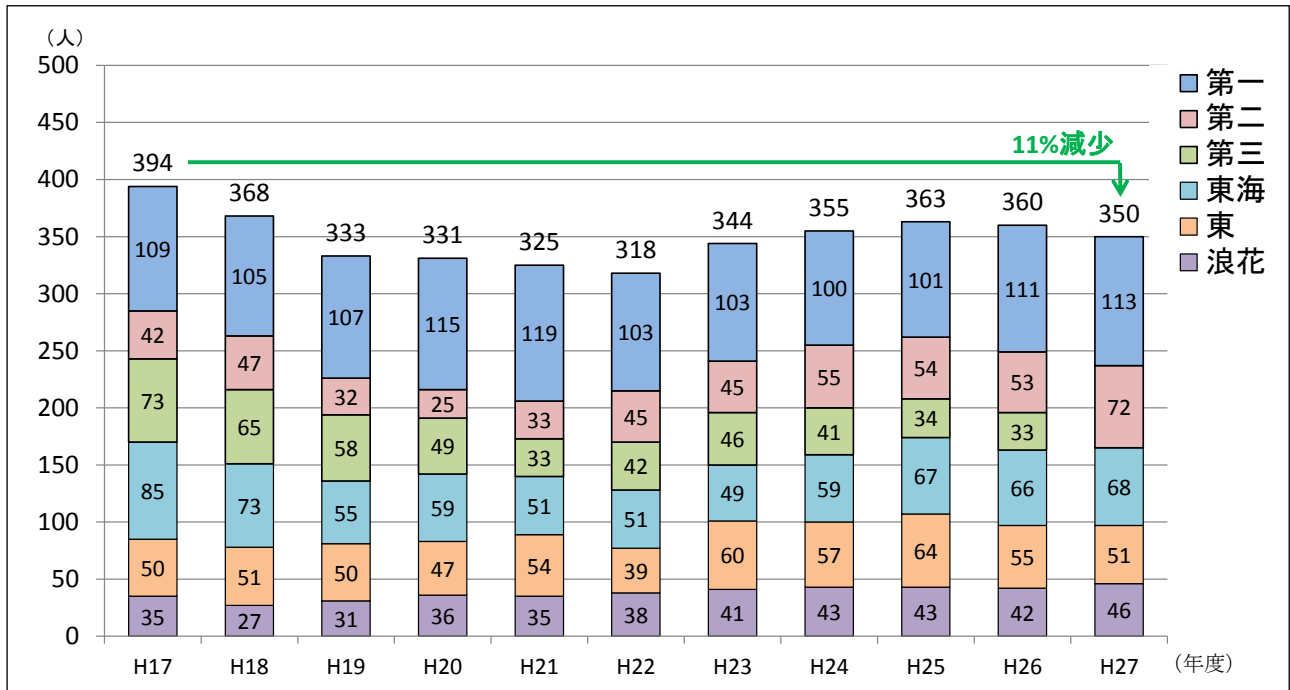


出典：福祉課資料

オ 大原地域の保育所児童数の推移（平成17～27年度）

平成27年度の児童数は350人であり、平成17年度から11%減少しています。

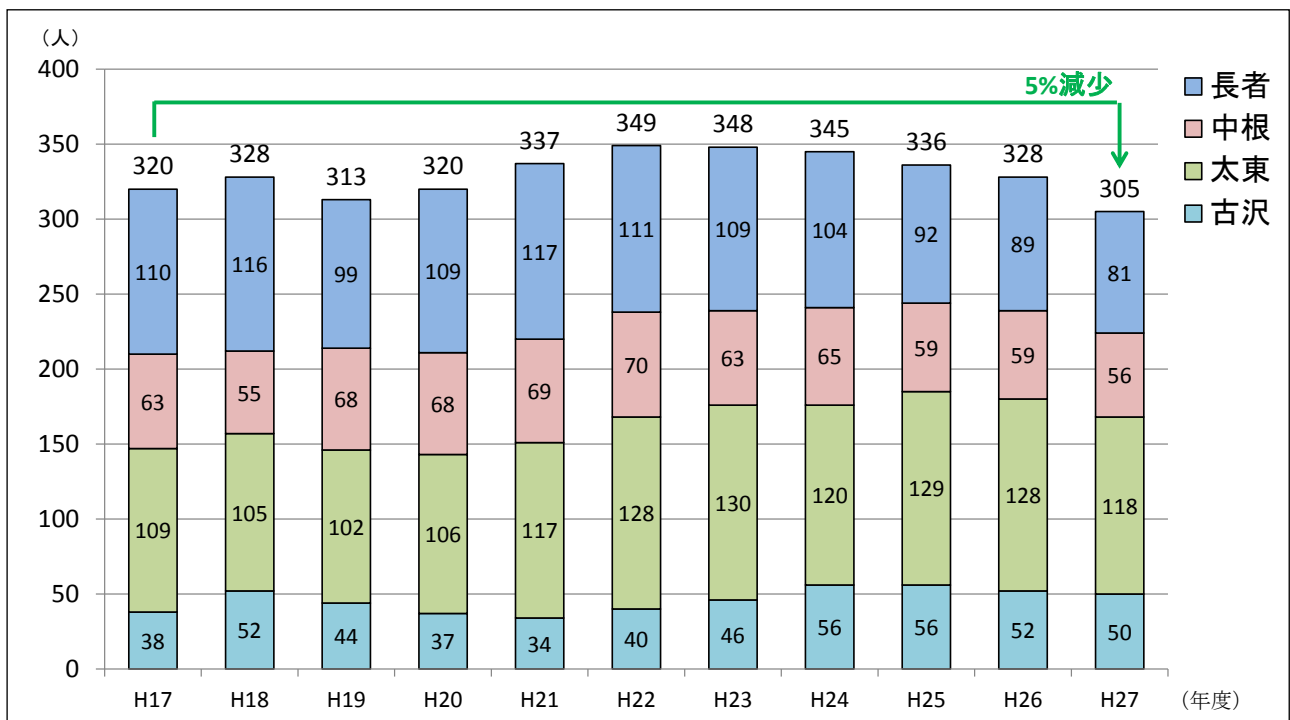
第三保育所の閉園に伴い、平成27年度の第二保育所の児童数が増加しました。



出典：福祉課資料

カ 岬地域の保育所児童数の推移（平成17～27年度）

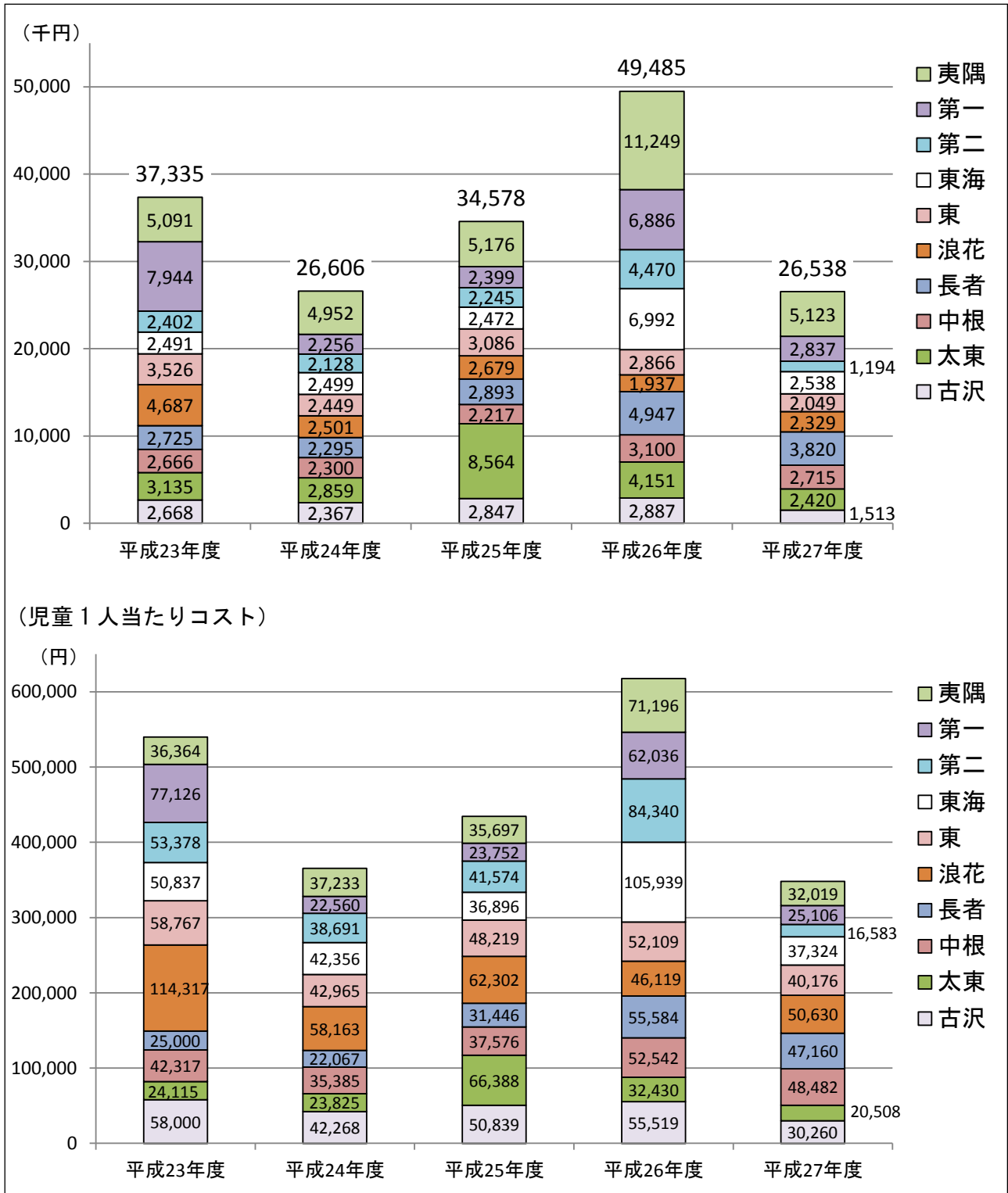
平成27年度の児童数は305人であり、平成17年度から5%減少しています。平成22年度まで増加傾向にありましたが、現在は減少傾向です。長者保育所の児童数は平成17年度と比較して26%減少しています。

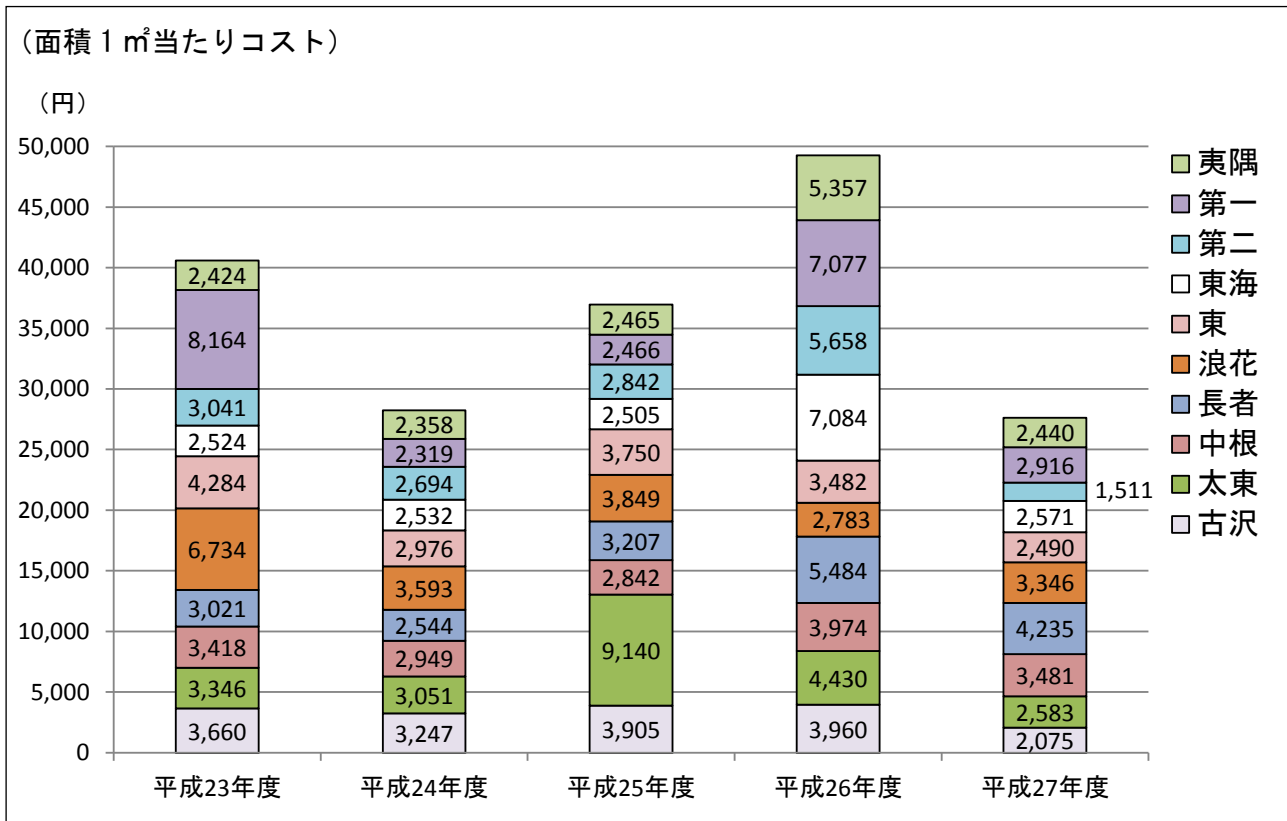


出典：福祉課資料

キ コストの状況（平成23～27年度）

保育所にかかるコストはそれぞれ数百万円で推移していますが、施設により修繕を行った年度で高くなっています。夷隅保育所は施設規模が大きいため、他の施設と比較してコストが高くなっていますが、児童1人当たりのコストは概ね3万円台です。児童数の少ない浪花保育所や東海保育所の児童一人当たりのコストは5万円前後となっています。また、面積1㎡当たりのコストは概ね2千円から9千円となっています。





利用状況等からの実態と課題

- 築30年を経過している保育所が10施設中6施設あります。
- 市内の公立保育所の定員数に対して現在の在籍児童数は定員数の7割程となっています。
- 平成2年度と比較して児童数が33%減少しています。
- 児童数の少ない保育所の1人当たりコストがやや高くなっています。

(7) 児童館

いすみ市では児童福祉法にもとづき、児童館を2施設設置しています。花本こども館には平成27年度まで放課後児童クラブが設置されていましたが、現在は大原小学校内に移転しています。また、平成28年度よりそれぞれの施設内に子育て支援センターを設置しています。

ア 施設一覧（平成28年4月1日現在）

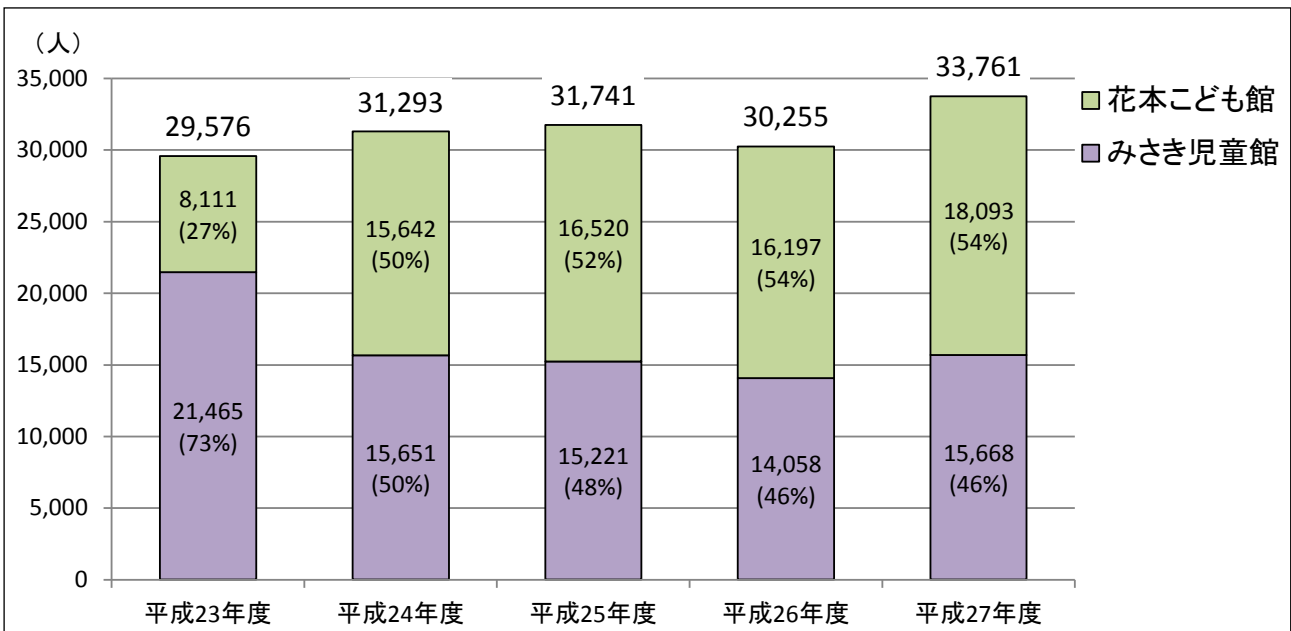
地域	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築 年 数	防災情報			バリアフリー対応			耐 震 診 断	耐 震 補 強
						避 難 所 指 定	防 災 備 蓄 用 品	自 家 発 電 設 備	エ レ ベ ー タ ー	段 差 な し	障 が い 者 用 ト イ レ		
大原	花本こども館	大原8532番地1	304	平成12	16	—	—	—	—	—	—	—	—
岬	みさき児童館	岬町椎木1278番地1	373	昭和56	35	—	—	—	—	—	—	—	—
総計			677										

出典：公共施設現況調査票

- ※1 建築年度は代表棟について記載
- ※2 建築年度の赤文字は築30年以上
- ※3 延床面積は付属棟含む

イ 年間利用者数の推移（平成23～27年度）

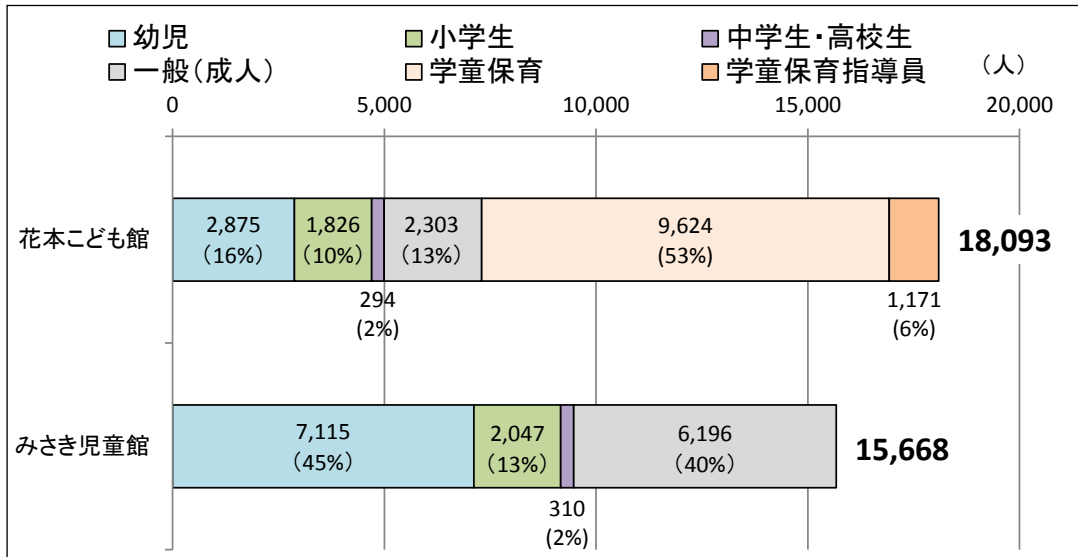
2施設の利用者は年間3万人前後で推移しています。



出典：福祉課資料

ウ 年間利用者の内訳（平成27年度）

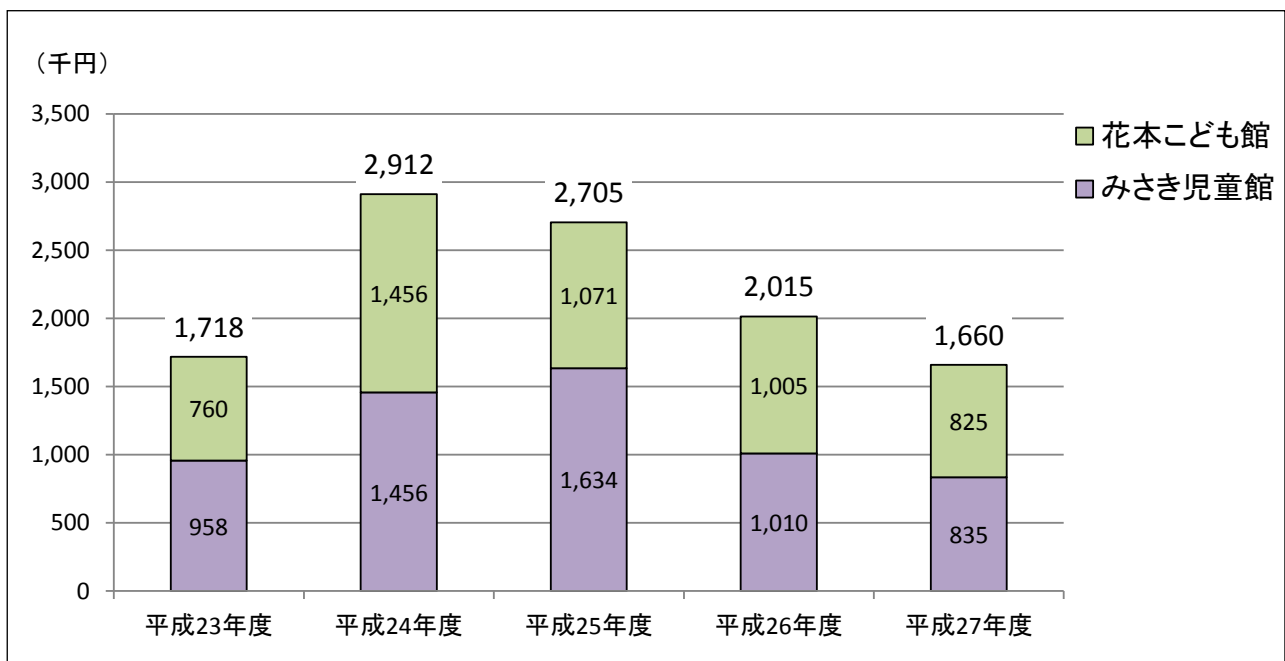
みさき児童館の利用者のうち、幼児が4割以上となっており、小学生の利用者と比較して多くなっています。花本こども館は学童保育の利用が半数以上を占めていました。

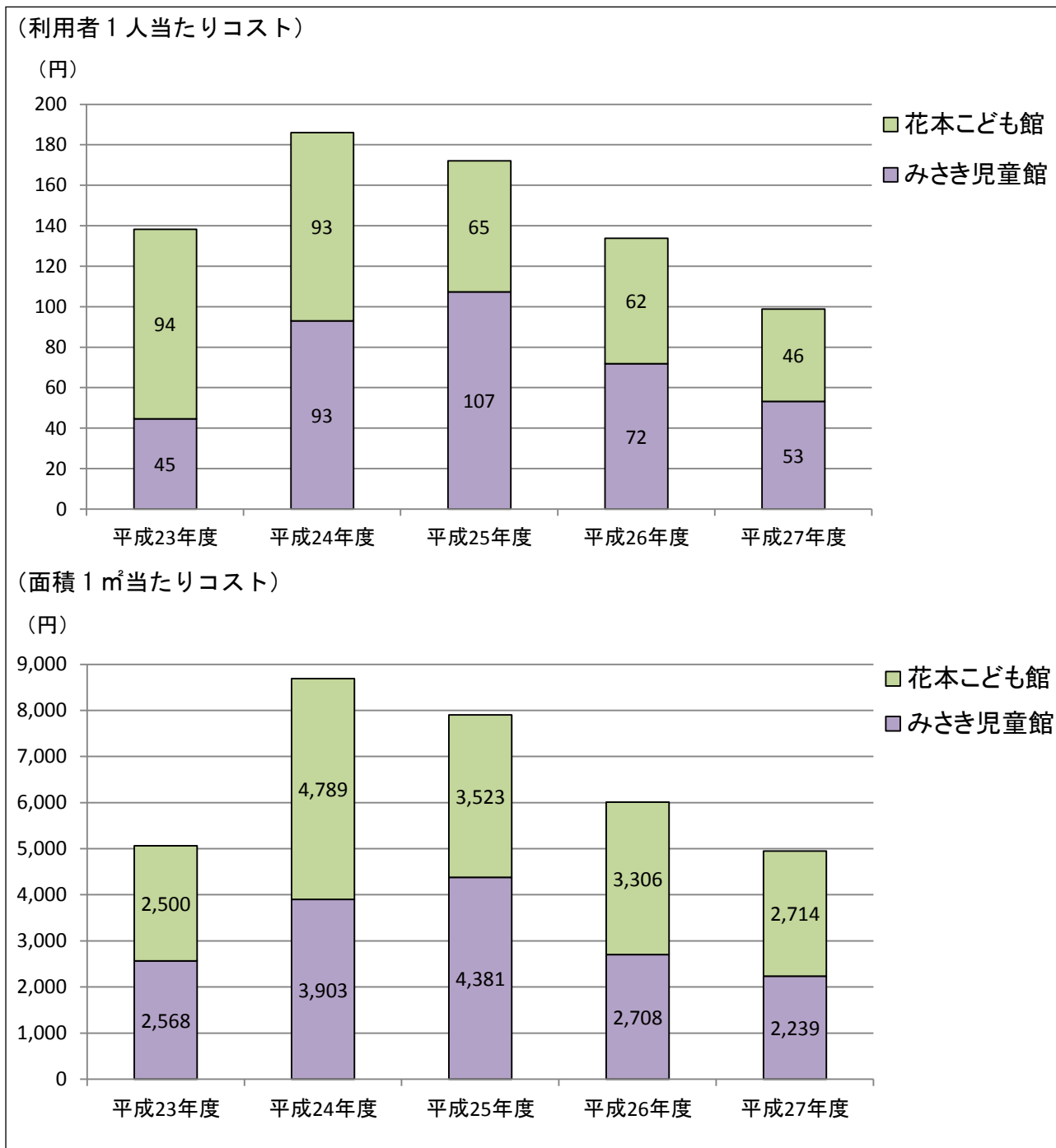


出典：福祉課資料

エ コストの状況（平成23～27年度）

平成24年度からの施設管理費用は2施設とも減少傾向にあります。利用者1人当たりのコストも減少しており、100円を下回っています。また、1㎡当たりのコストは3千円前後で推移しています。





利用状況等からの実態と課題

- 子育て支援センターを設置しており、幼児の利用者が多くなっています。
- 施設にかかるコストは減少傾向にあり、利用者1人当たりのコストは100円を下回っています。

(8) 保健センター

市民の保健衛生の向上のため、いすみ市では市内に3施設の保健センターを保有しています。

- ・大原保健センターは大原庁舎との複合施設
- ・岬保健センターは岬ふれあい会館との複合施設
- ・夷隅保健センターはいすみ医療センターに隣接した施設です。駐車場の確保のため、健診及び検診業務は平成27年度から夷隅文化会館を利用しています。

ア 施設一覧（平成28年4月1日現在）

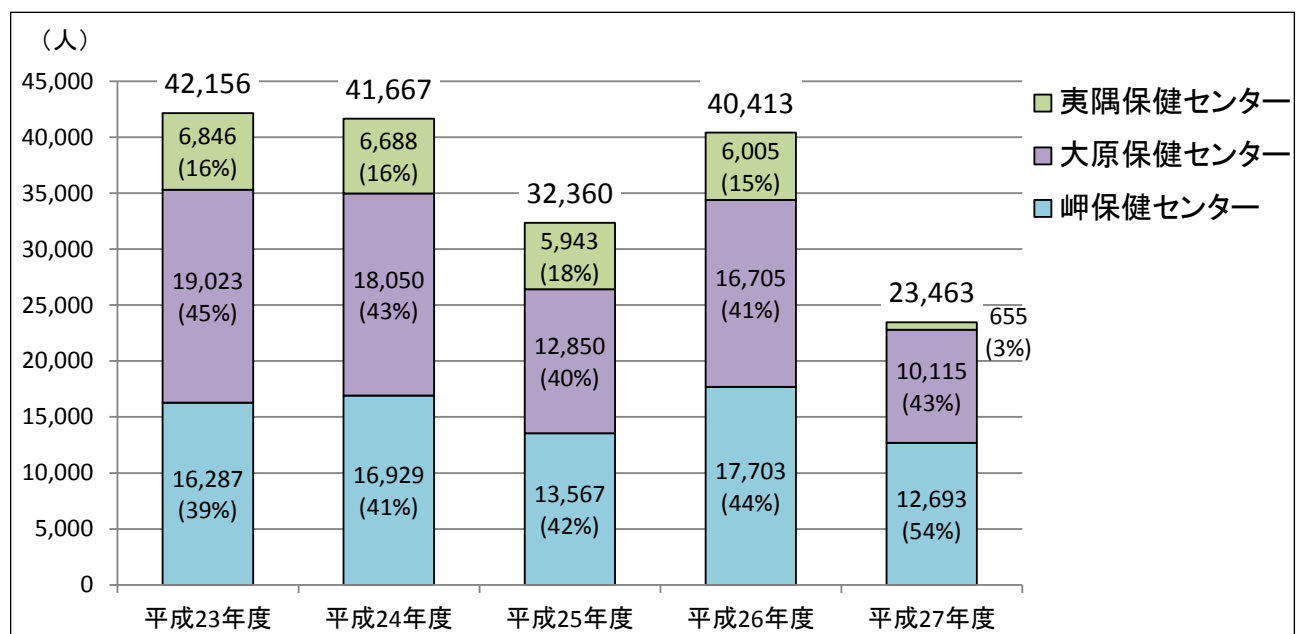
地域	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築 年 数	防災情報			バリアフリー対応			耐震診断	耐震補強
						避難 所 指 定	防災 備 蓄 用 品	自家 発 電 設 備	エレ ベ ー タ ー	段 差 な し	障 が い 者 用 ト イ レ		
夷隅	夷隅保健センター	苅谷1168番地	640	昭和62	29	—	○	—	—	○	○	—	—
大原	大原保健センター	大原7400番地1	578	昭和58	33	—	○	—	—	○	—	—	—
岬	岬保健センター	岬町東中滝720番地1	571	平成8	20	—	—	○	○	○	○	—	—
総計			1,789										

出典：公共施設現況調査票

- ※1 建築年度は代表棟について記載
- ※2 建築年度の赤文字は築30年以上
- ※3 延床面積は付属棟含む

イ 年間利用者数の推移（平成23～27年度）

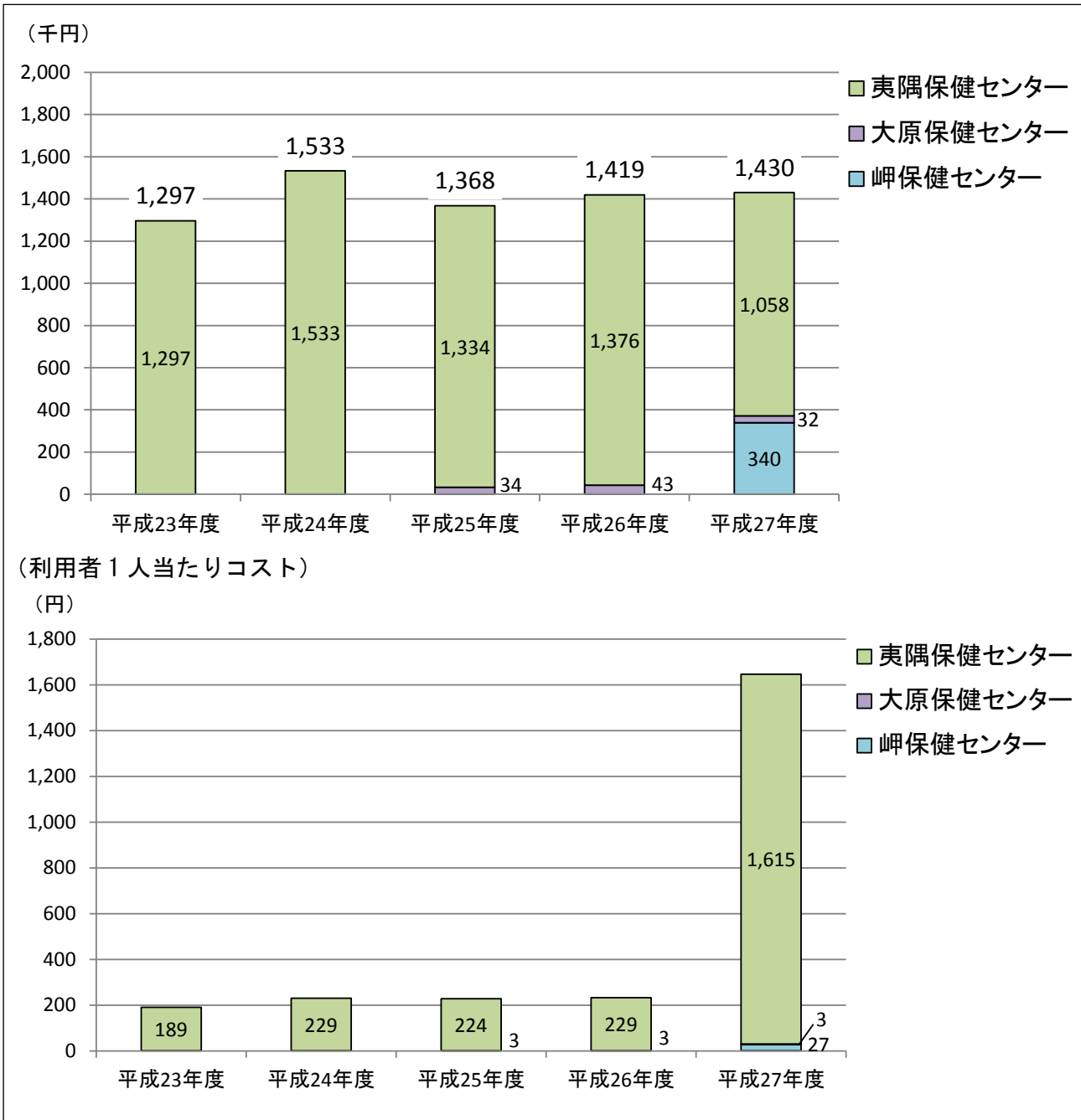
3施設の利用者の合計は4万人前後で推移していましたが、平成27年度より夷隅保健センターでの健診業務を夷隅文化会館で行っていることに伴い、利用者数が減少しています。大原保健センター、岬保健センターの利用者数はそれぞれ1万人以上で推移しています。

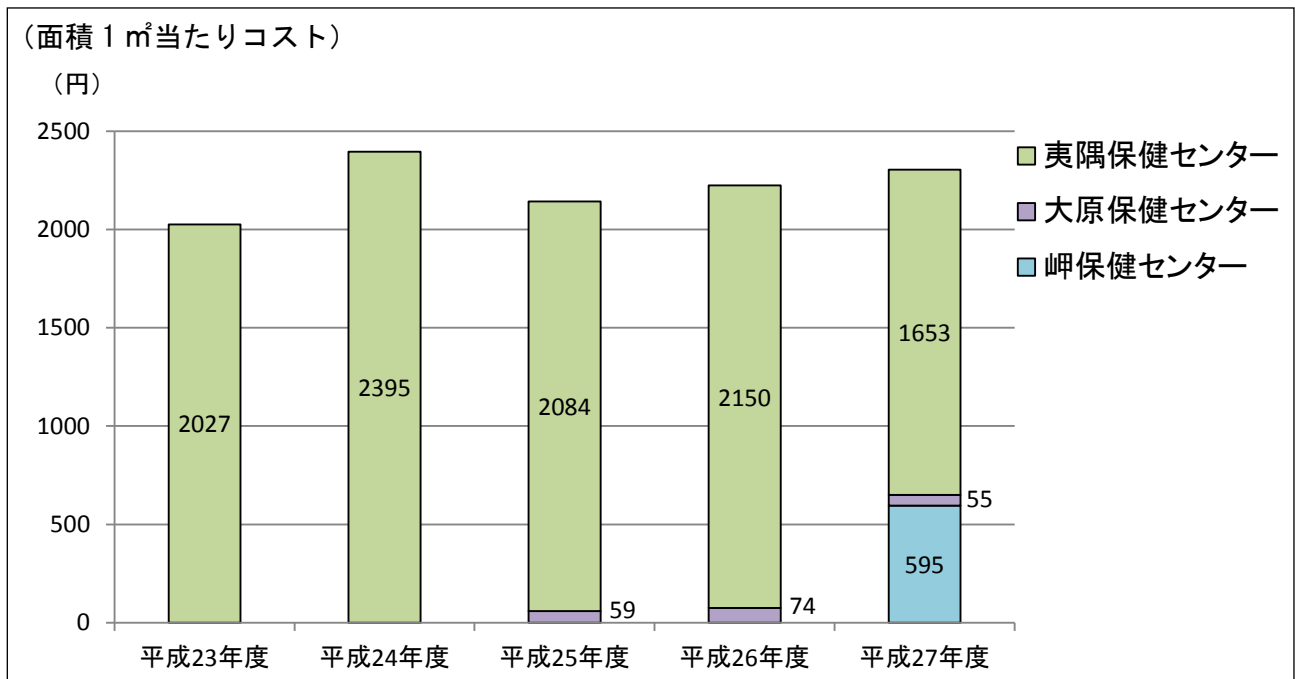


出典：健康高齢者支援課資料（主催事業のみ計上）

ウ コストの状況（平成23～27年度）

大原保健センター、岬保健センターは複合施設のため、修繕料のみの計上ですが、岬保健センターでは平成27年度に修繕を行っています。夷隅保健センターは利用者1人当たり200円前後の費用で推移していましたが、健診業務を夷隅文化会館で行ったことに伴い、平成27年度は1,600円台となっています。





※大原保健センター、岬保健センターは修繕料のみ計上

利用状況等からの実態と課題

- 平成 27 年度から夷隅保健センターの健診業務を夷隅文化会館で行っています。
- 岬保健センターも健診業務等があるときのみ利用しており、稼働期間が限定されています。

(9) 屋内スポーツ施設

市には、屋内スポーツ施設としてB&G 海洋センターが設置されています。
 そのほか、中学校の敷地内に武道館を3施設設置しています。

- ・夷隅武道館は国吉中学校の敷地内に配置されています。
- ・大原武道場は大原中学校内の学校開放施設で、学校教育施設です。
- ・岬武道館は岬中学校の敷地内に配置されています。

また、夷隅地区多目的研修センターと農村環境改善センターも運動目的の利用が可能です。

ア 施設一覧（平成28年4月1日現在）

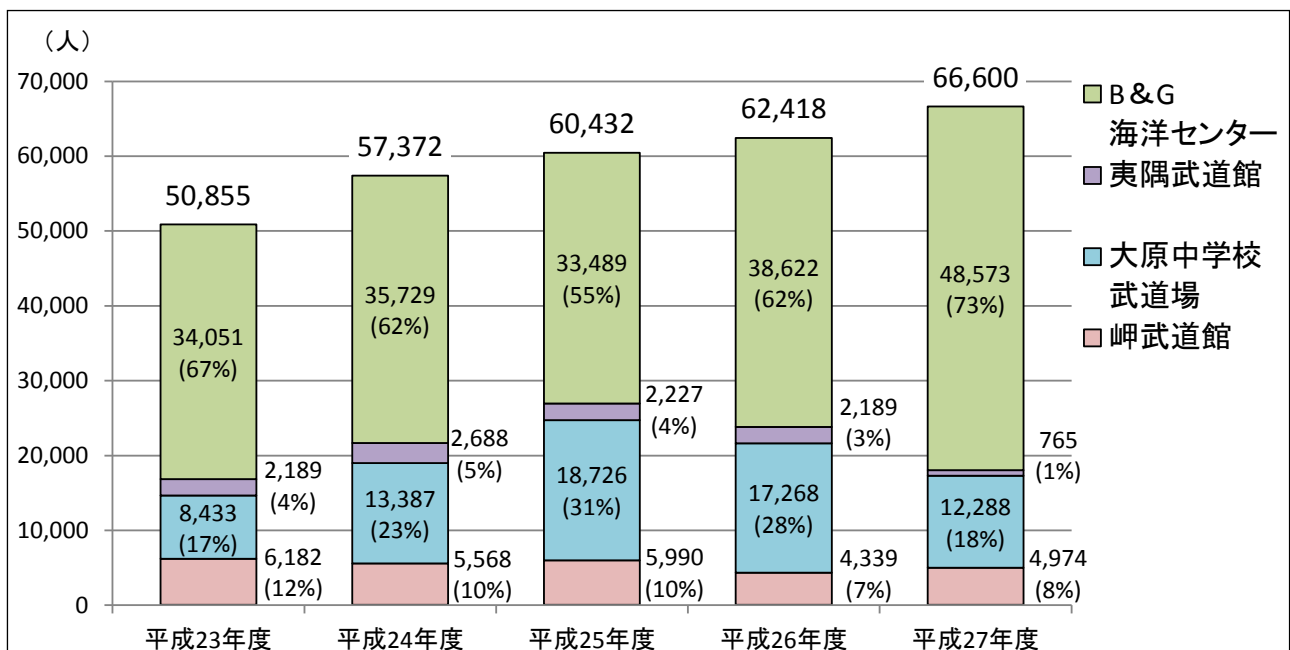
地域	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築 年数	防災情報			バリアフリー対応			耐震診断	耐震補強
						避難所指定	防災備蓄用品	自家発電設備	エレベーター	段差なし	障がい者用トイレ		
岬	B&G海洋センター	岬町和泉4448番地1	2,078	昭和54	37	—	—	—	—	—	—	×	×
夷隅	夷隅武道館	国府台1552番地	544	昭和56	35	—	—	—	—	—	—	—	—
大原	大原中学校武道場	大原7400番地12	718	昭和55	36	—	—	—	—	—	—	○	—
岬	岬武道館	岬町椎木1370番地	458	昭和50	41	—	—	—	—	—	—	—	—
総計			3,798										

出典：公共施設現況調査票

- ※1 建築年度は代表棟について記載
- ※2 建築年度の赤文字は築30年以上
- ※3 延床面積は付属棟含む

イ 年間利用者数の推移（平成23～27年度）

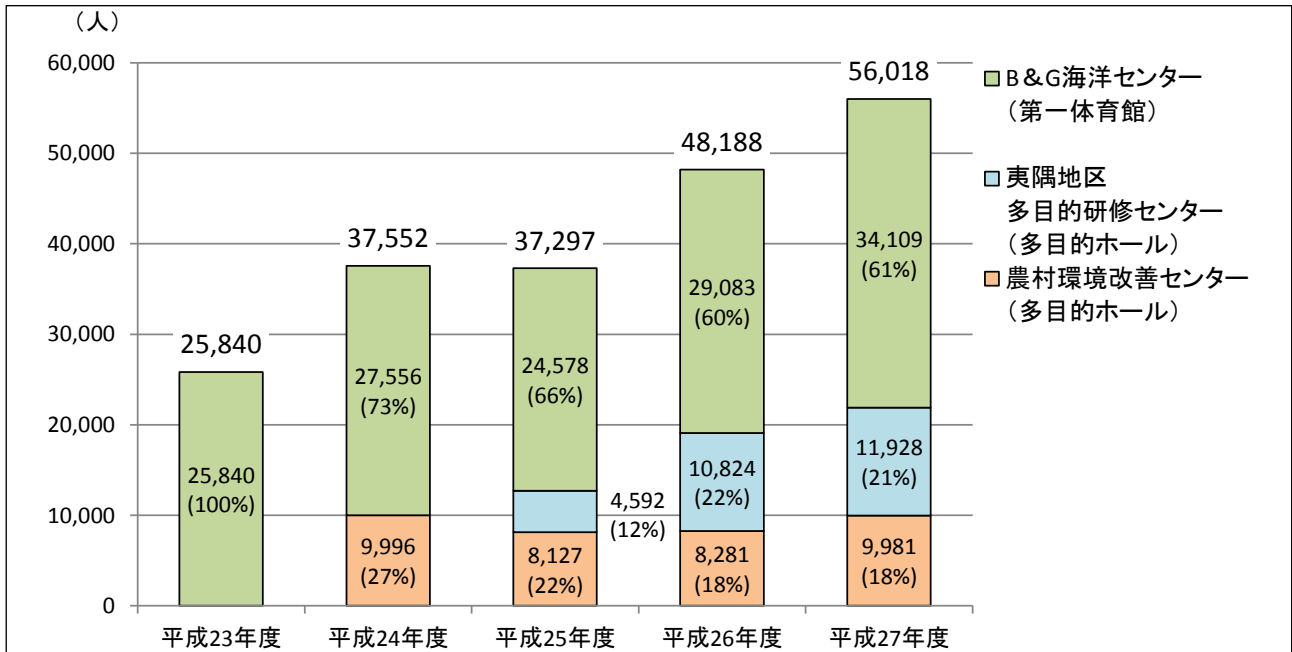
屋内スポーツ施設4施設の利用者数は増加傾向にあり、平成27年度は6.7万人です。そのうち、B&G 海洋センターの年間利用者数が半分以上を占めており、平成27年度は約4.9万人です。



出典：生涯学習課資料

ウ B&G 海洋センター第一体育館と類似機能を保有する施設の利用者数の推移
(平成 23～27 年度)

B&G 海洋センターの第一体育館の利用者は概ね 2 万人台後半で推移しており、平成 27 年度は 3 万人を超えています。類似機能を保有する施設として、夷隅地区多目的研修センターの多目的ホールは学童利用が主ですが、1 万人を超えて推移しています。また、農村環境改善センターの多目的ホールの利用者は 1 万人弱で推移しています。

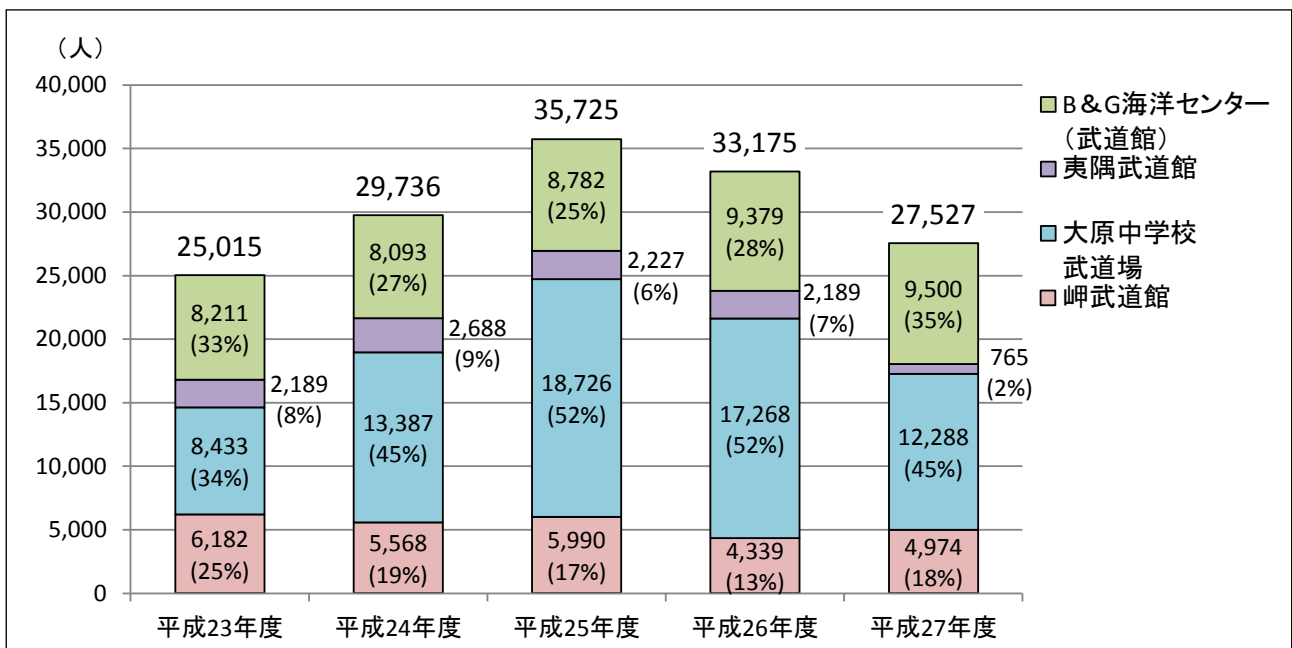


※1 夷隅地区多目的研修センターの多目的ホールは学童利用者を計上

※2 農村環境改善センターの利用者数は平成 24 年度より計上

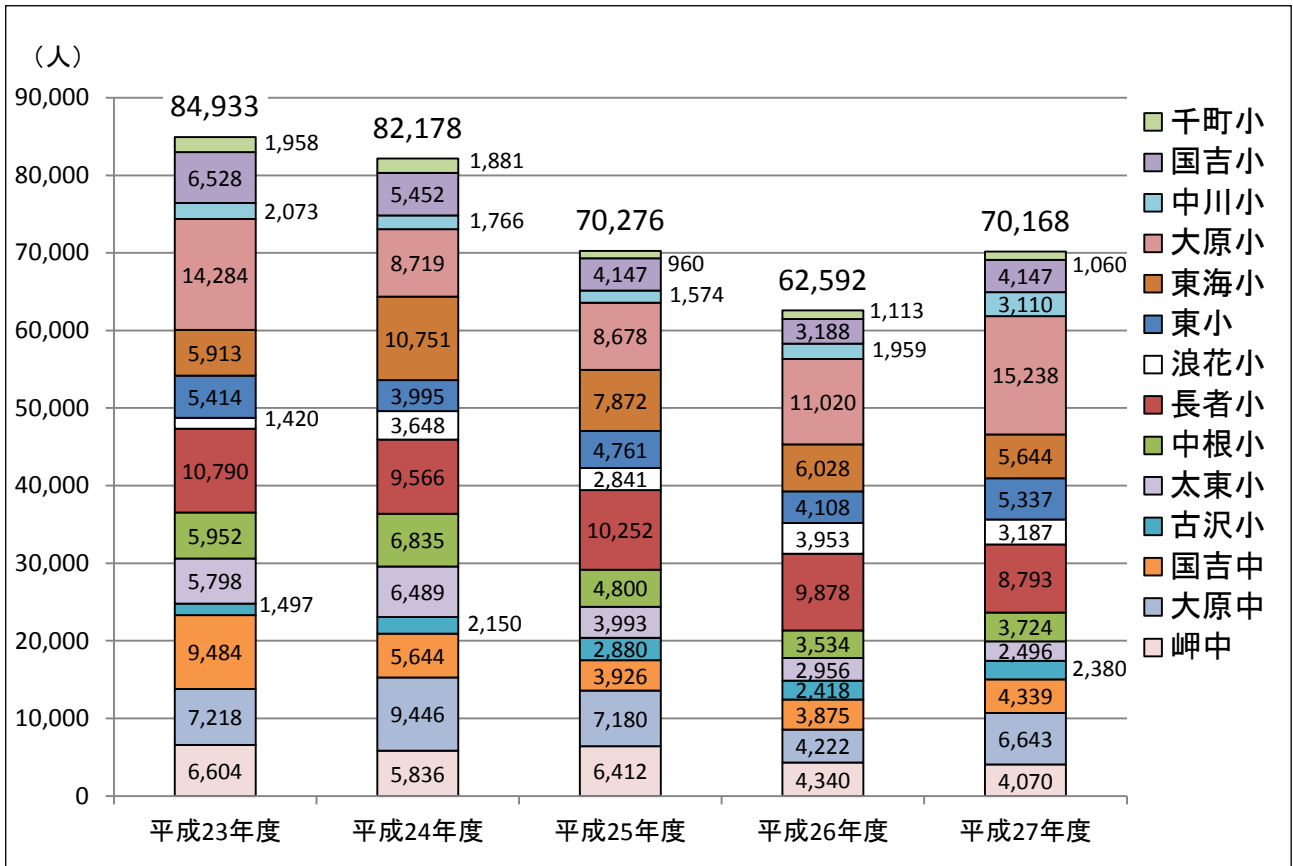
エ 武道館 (武道場) の利用者数の推移 (平成 23～27 年度)

B&G 海洋センターの武道館の利用者は 9 千人前後で推移しています。大原中学校武道場の利用者は平成 25 年度にかけて増加し、減少に転じています。



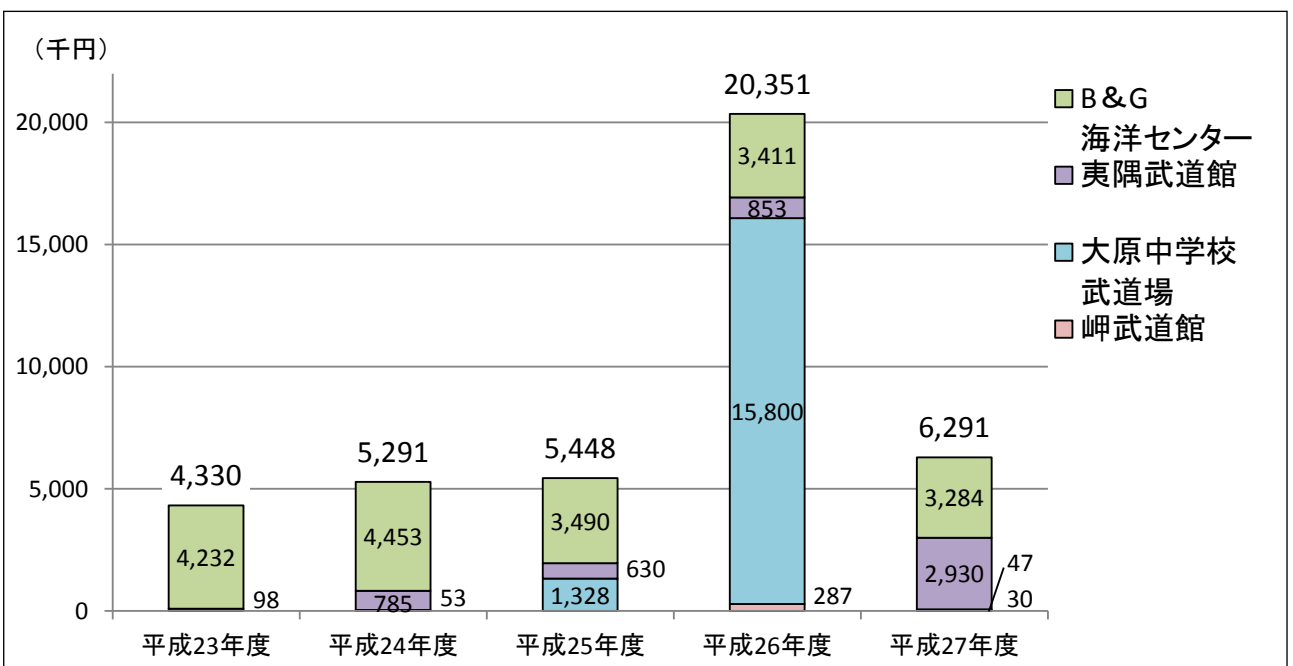
(参考) 学校開放施設（体育館）の利用者数の推移（平成23～27年度）

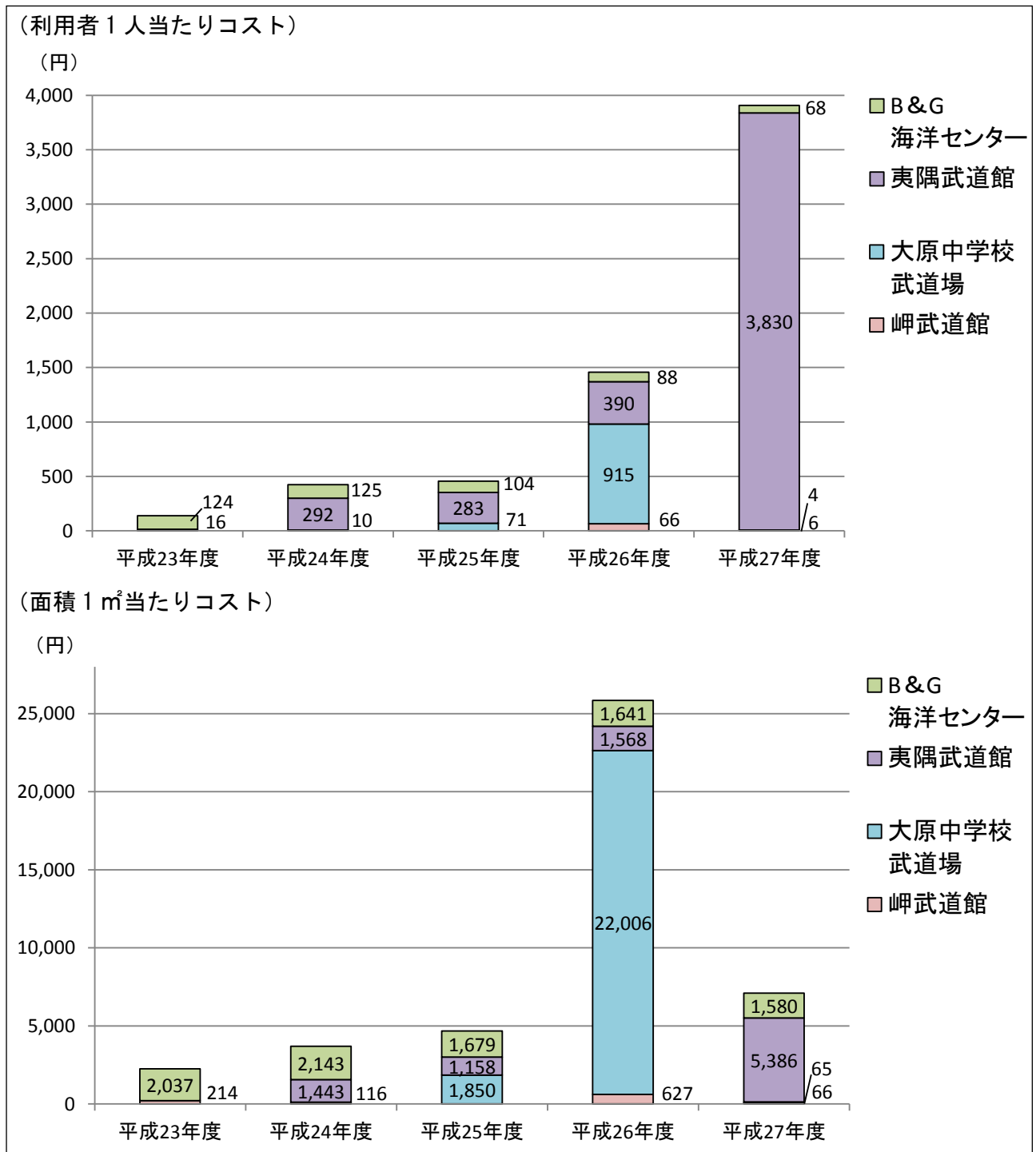
小学校・中学校では、体育館の市民利用を行っており、年間6万人から8万人の利用があります。



オ コストの状況（平成23～27年度）

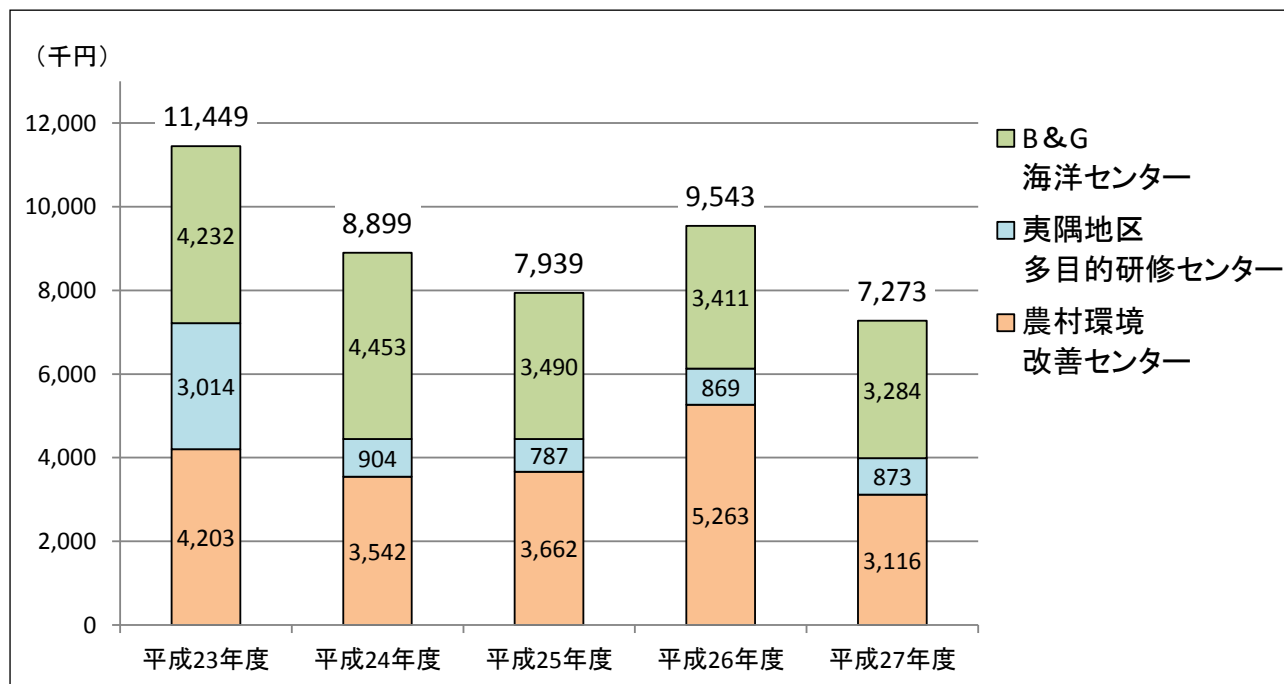
B&G 海洋センターの年間コストは300～400万円台で推移しており、利用者1人当たりコストは100円前後です。夷隅武道館は平成27年度に改修を行ったため、コストが増加しています。





※大原中学校武道場は平成25年度より個別コストを計上

(参考) B&G 海洋センターと類似機能を保有する施設のコスト比較 (平成 23~27 年度)



利用状況等からの実態と課題

- B&G 海洋センターは利用者が多いものの、耐震工事が未実施であり改修等が必要となっています。また、類似機能を保有する施設や学校開放施設でも屋内スポーツ利用がされています。
- いずれの施設も改修があった年度を除き、利用者 1 人当たりのコストが数百円で推移しています。

(10) 屋外スポーツ施設

屋外スポーツ施設は、野球場やテニスコートなどがあります。

- ・夷隅スポーツ広場、夷隅野球場、夷隅弓道場、夷隅テニスコートは夷隅文化とスポーツの森として設置されています。

ア 施設一覧（平成28年4月1日現在）

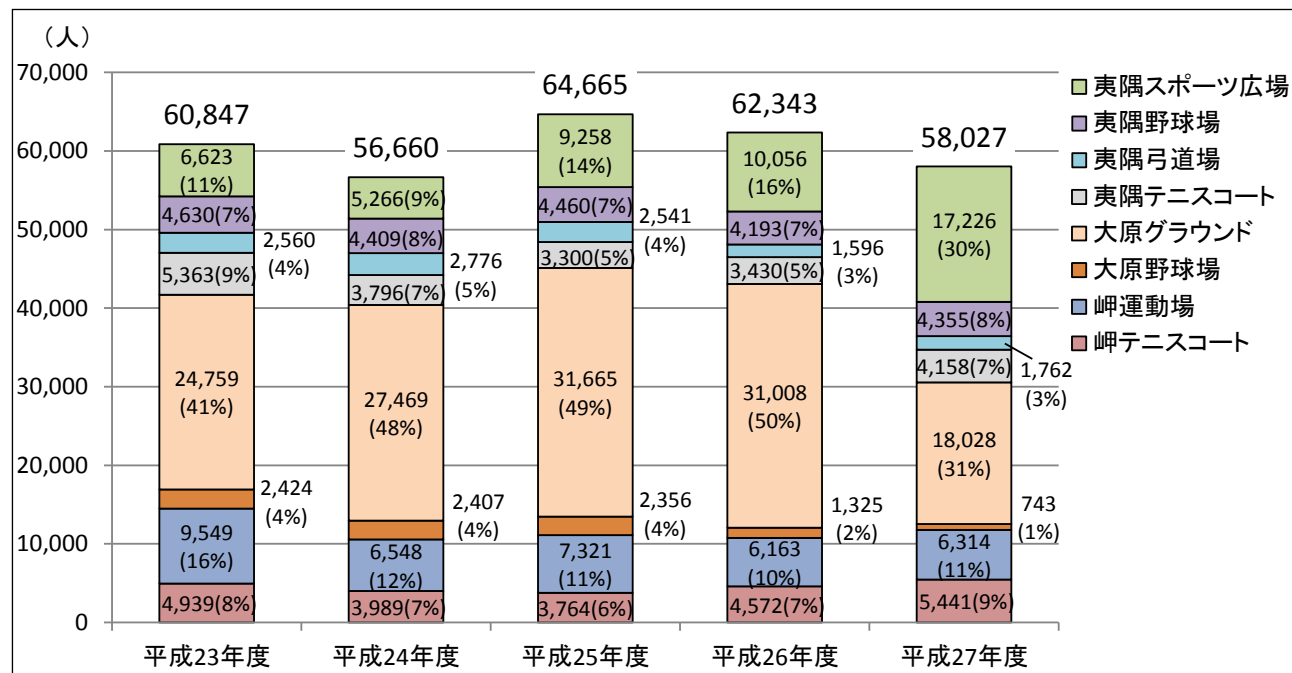
地域	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	築年数	施設概要
夷隅	夷隅スポーツ広場	深谷1968番地1	17	平成14	14	トラック、ソフトボール場、ゲートボール場
夷隅	夷隅野球場	深谷1968番地1	411	平成6	22	軟式野球場
夷隅	夷隅弓道場	深谷1968番地1	199	平成9	19	
夷隅	夷隅テニスコート	深谷1968番地1	4	平成8	20	
大原	大原グラウンド	大原6588番地	171	昭和43	48	フィールドホッケー場、トラック、テニスコート
大原	大原野球場	釈迦谷751番地2	52	-	-	
岬	岬運動場	岬町長者22番地	-	-	-	野球場
岬	岬テニスコート	岬町長者22番地	-	-	-	
総計			854			

出典：公共施設現況調査票

- ※1 建築年度は代表棟について記載
- ※2 建築年度の赤文字は築30年以上
- ※3 延床面積は付属棟含む

イ 年間利用者数の推移（平成23～27年度）

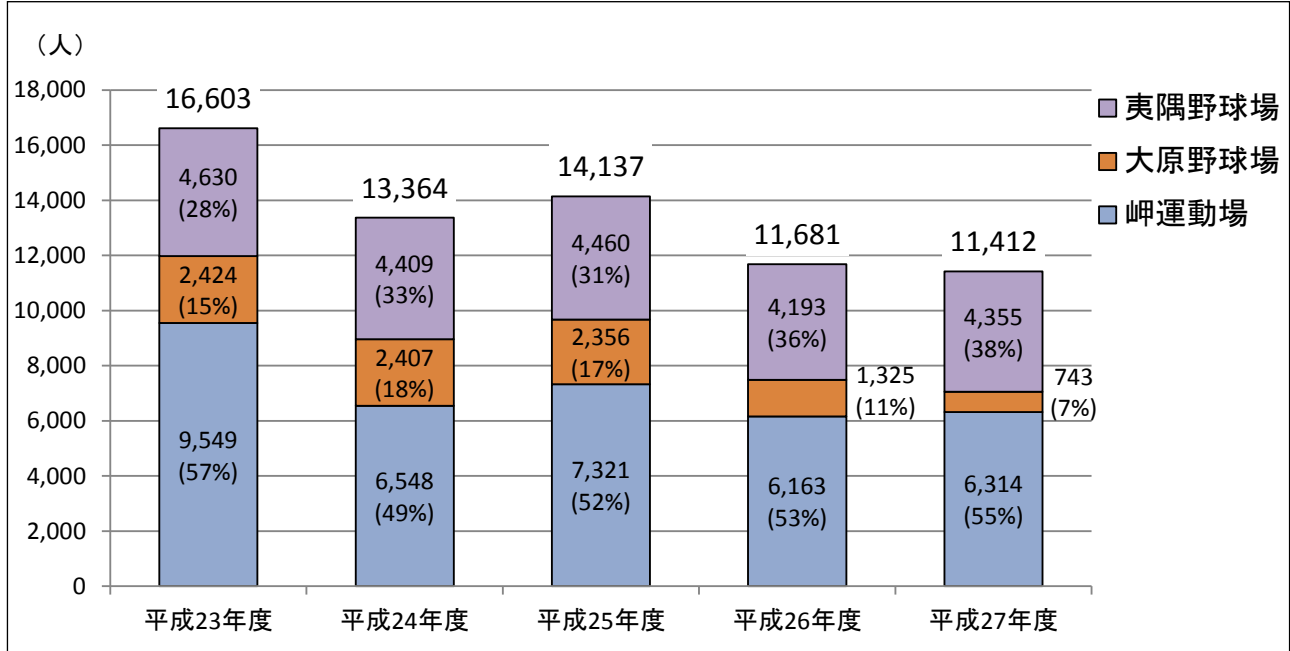
屋外スポーツ施設の利用者は6万人前後で推移しています。大原グラウンドの利用者が最も多く3万人前後で推移していますが、そのうち半数はホッケー場の利用者です。



出典：生涯学習課資料

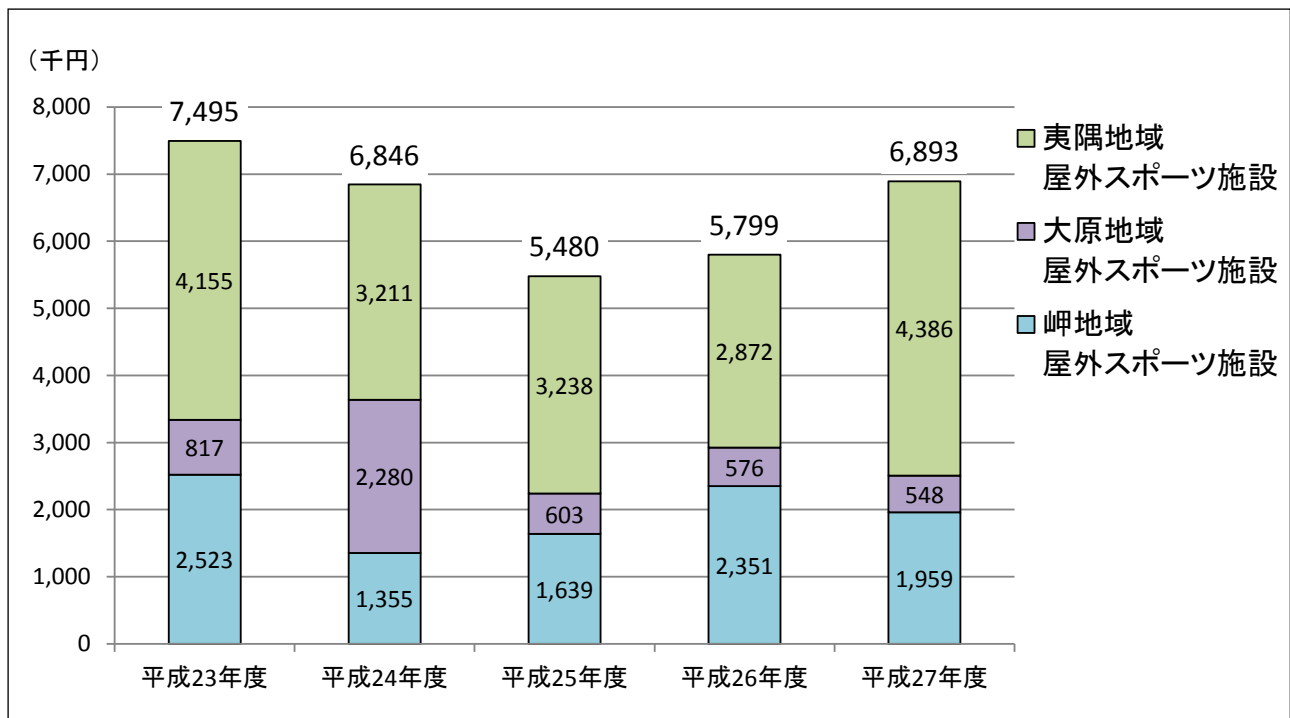
ウ 野球場利用者数の推移（平成23～27年度）

野球場3施設の利用者は平成23年度1.7万人でしたが、平成27年度には1.1万人まで減少しています。岬運動場と夷隅野球場の利用が多く、大原野球場の利用者は少なくなっています。

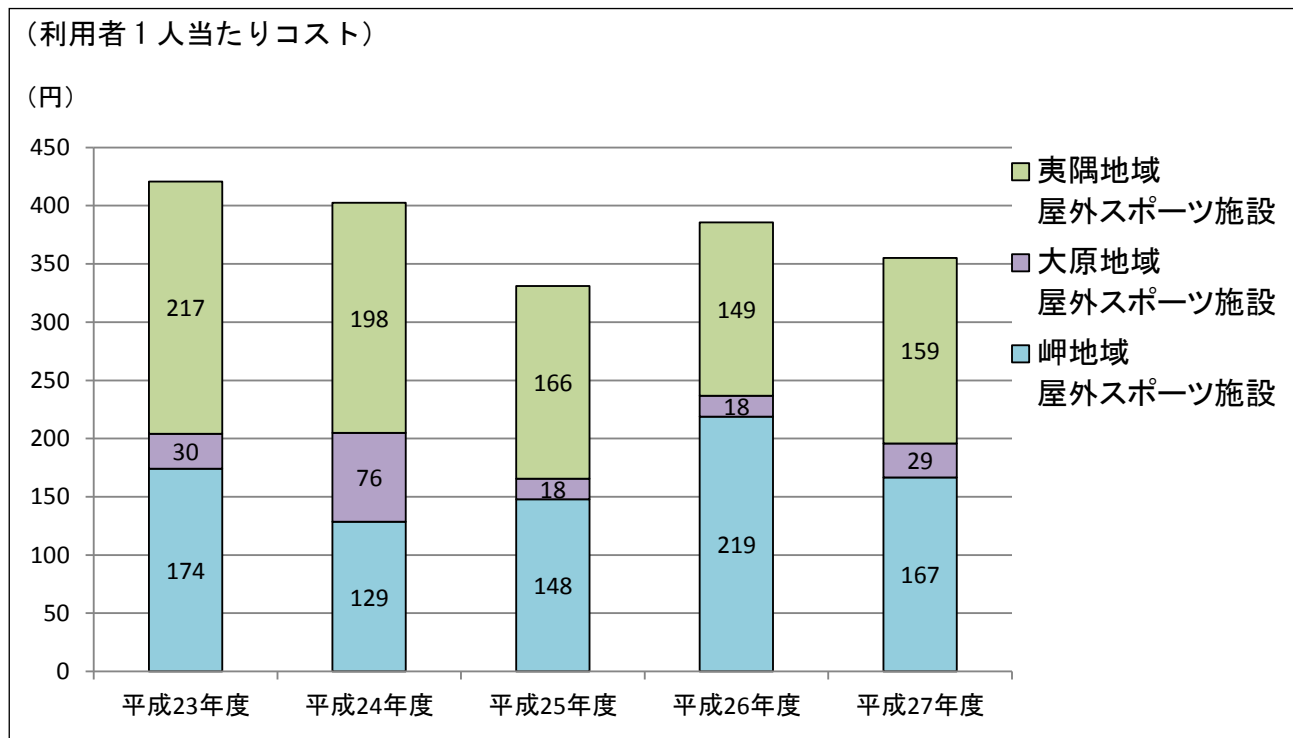


エ コストの状況（平成23～27年度）

屋外スポーツ施設の地域ごとの年間コストは600万円前後で推移しています。利用者が多いため、利用者1人当たりのコストは100円台で、大原地域の施設は数十円となっています。



※屋外スポーツ施設のコストは地域ごとの計上



利用状況等からの実態と課題

- 野球場が3施設あり機能の重複が見られるほか、利用者が減少傾向にあります。
- 屋外スポーツ施設の利用者1人当たりコストは概ね200円以下で推移しています。

(11) 郷土資料館

いすみ市では、郷土に関する資料の収集、保管、展示などを通じて、市民の教養の向上及び、教育・学術研究に資することを目的に郷土資料館を設置しています。

ア 施設一覧（平成28年4月1日現在）

地域	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築 年 数	防災情報			バリアフリー対応			耐 震 診 断	耐 震 補 強
						避 難 所 指 定	防 災 備 蓄 用 品	自 家 発 電 設 備	エ レ ベ ー タ ー	段 差 な し	障 が い 者 用 ト イ レ		
夷隅	郷土資料館	弥正93番地1	384	平成元	27	—	—	—	—	○	○	—	—
総計			384										

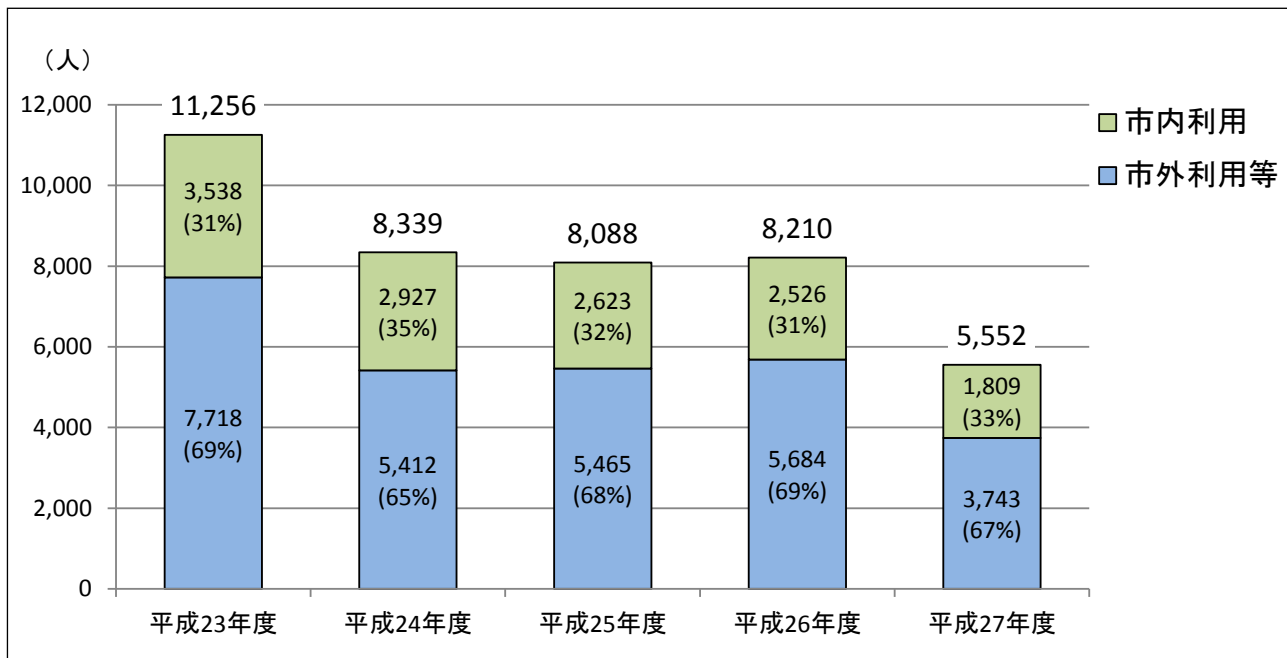
出典：公共施設現況調査票

※1 建築年度は代表棟について記載

※2 延床面積は付属棟含む

イ 年間利用者数の推移（平成23～27年度）

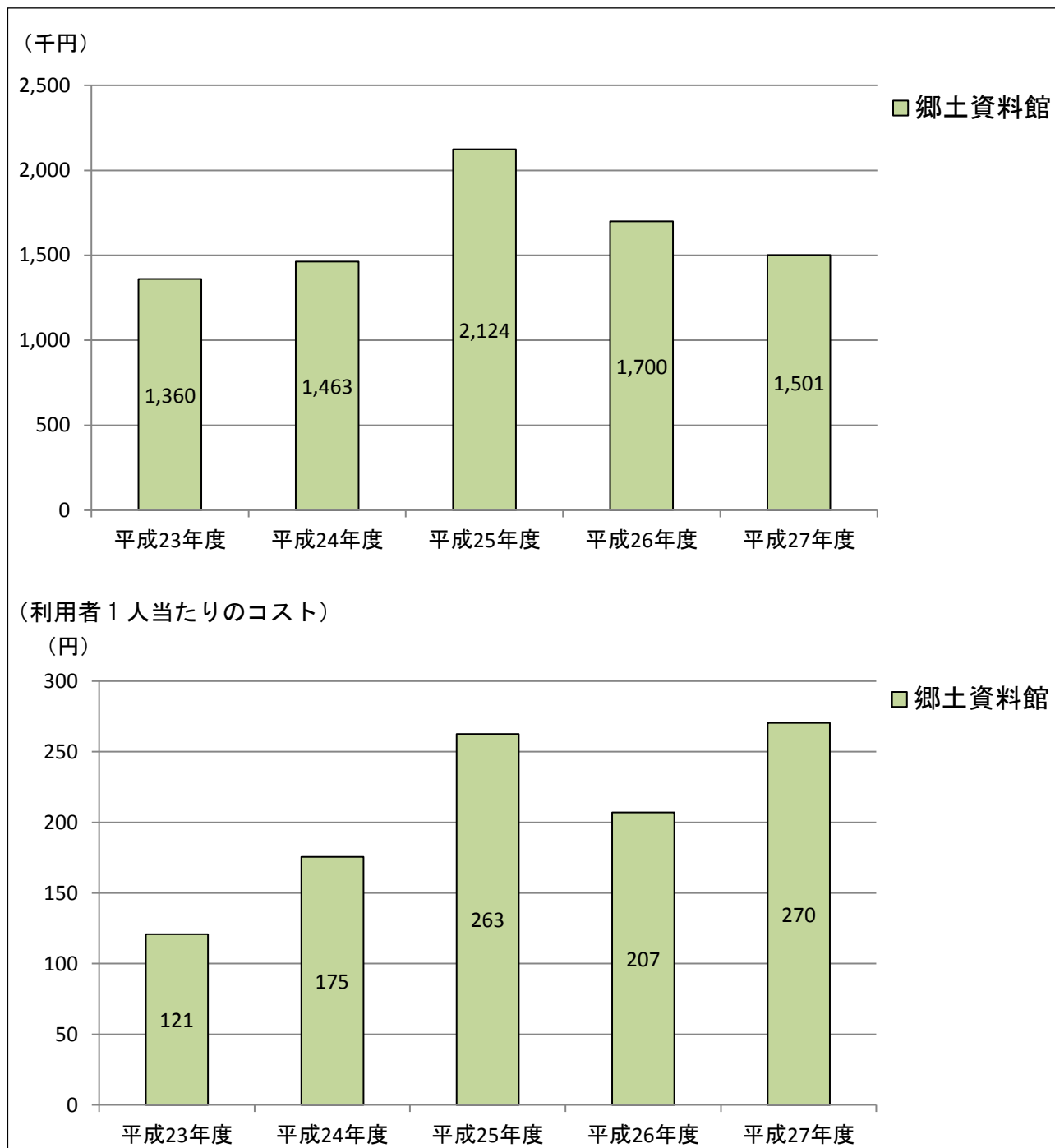
郷土資料館の年間利用者数は、平成23年度は1万人を超えていましたが、平成27年度は5千人台となっており、企画展の内容により利用者数が変動しています。また、利用者のうち市民の利用は3割台で推移しています。

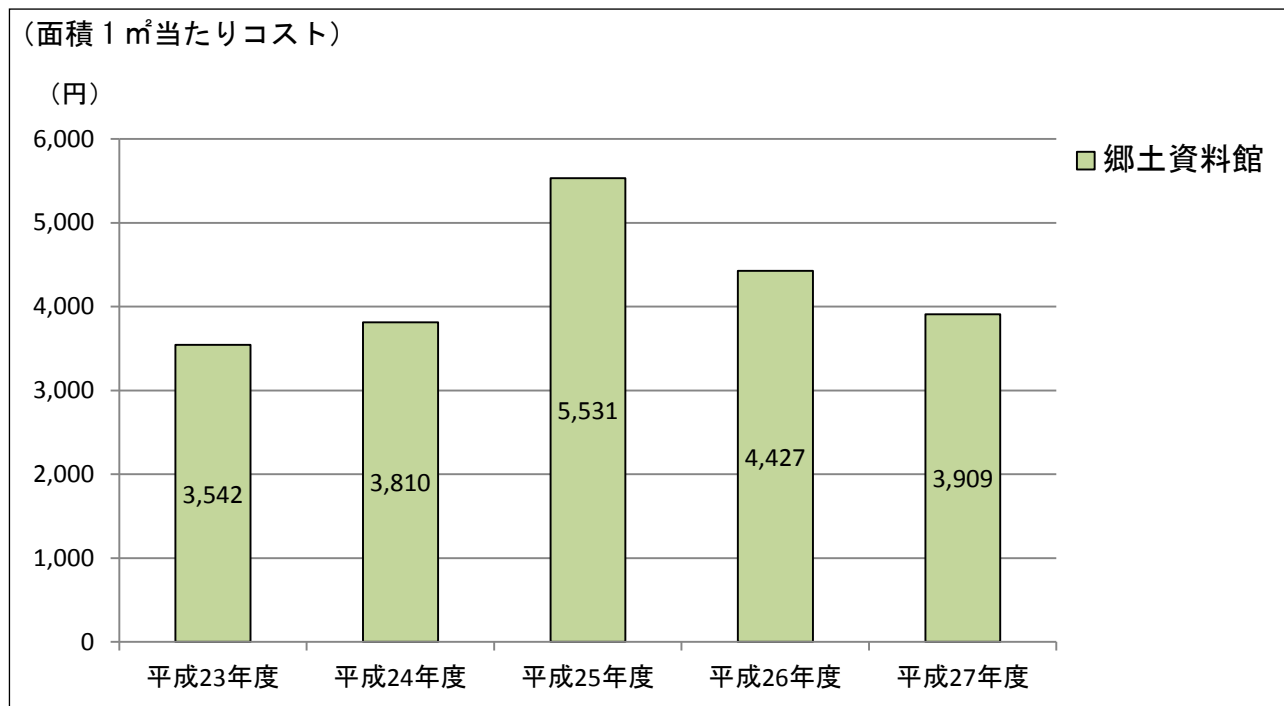


出典：生涯学習課資料

ウ コスト状況（平成23～27年度）

年間費用はおおよそ100万円台ですが、利用者数の減少に伴い、利用者1人当たりのコストが上昇傾向にあります。平成27年度の利用者1人当たりコストは270円です。また、面積1㎡当たりのコストは3千円台後半以上で推移しています。





利用状況等からの実態と課題

- 市民ギャラリーを閉鎖して機能の一部を移転したこともあり、収蔵品のスペースが不足しています。
- 利用者が減少傾向にあり、利用者 1 人当たりコストが増加傾向にあります。

(12) 市営住宅

住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、市民の生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的として、いすみ市では市営住宅を設置しています。

ア 施設一覧（平成28年4月1日現在）

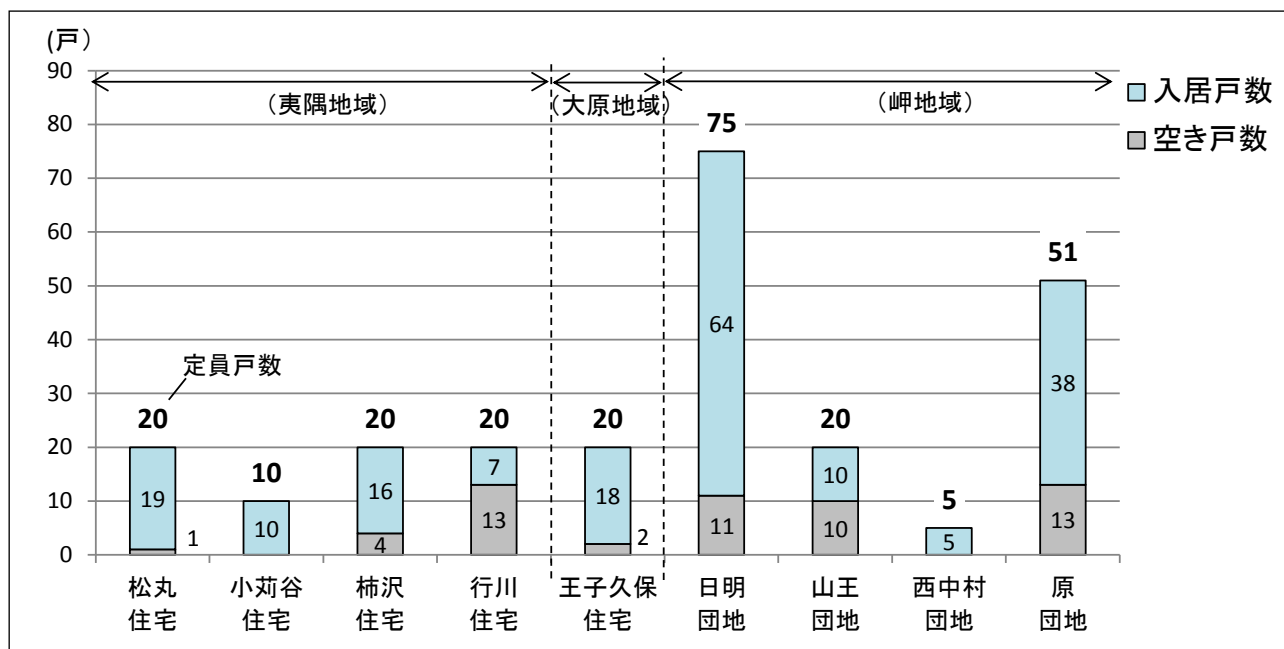
地域	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築 年 数	入居/定員戸数 (平成27年度)	バリアフリー対応			耐震診断	耐震補強
							エレベーター	段差なし	障がい者用トイレ		
夷隅	松丸住宅	松丸141番地1	1,428	平成6	22	19/20	—	—	—	—	—
夷隅	小苺谷住宅	弥正804番地	659	昭和59	32	10/10	—	—	—	—	—
夷隅	柿沢住宅	楽町48番地1	1,108	昭和50	41	16/20	—	—	—	×	×
夷隅	行川住宅	行川538番地1	680	昭和46	45	7/20	—	—	—	×	×
大原	王子久保住宅	大原5934番地	654	昭和44	47	18/20	—	—	—	×	×
岬	日明団地	岬町榎沢814番地	2,477	昭和42	49	64/75	—	—	—	×	×
岬	山王団地	岬町押日2208番地	680	昭和47	44	10/20	—	—	—	×	×
岬	西中村団地	岬町井沢873番地	158	昭和44	47	5/5	—	—	—	×	×
岬	原団地	岬町押日2227番地	2,432	昭和50	41	38/51	—	—	—	×	×
総計			10,276			187/241					

出典：公共施設現況調査票

- ※1 建築年度は代表棟について記載
- ※2 建築年度の赤文字は築30年以上
- ※3 延床面積は付属棟含む

イ 現在の入居状況（平成27年度）

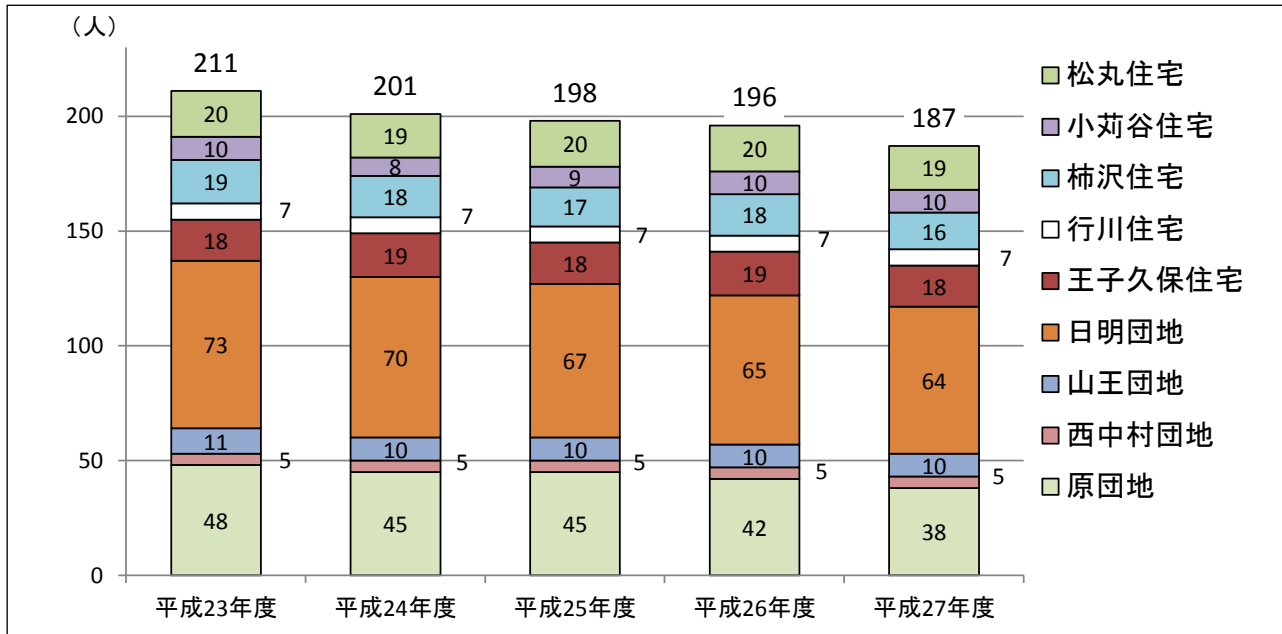
9施設の定員戸数241戸のうち187戸(78%)が入居しており、うち日明団地が64戸(34%)、原団地が38戸(20%)を占めています。行川住宅や山王団地では政策空き家を設けていることもあり、空き戸数が半数以上となっています。



出典：都市整備課資料

ウ 入居者数の推移（平成23～27年度）

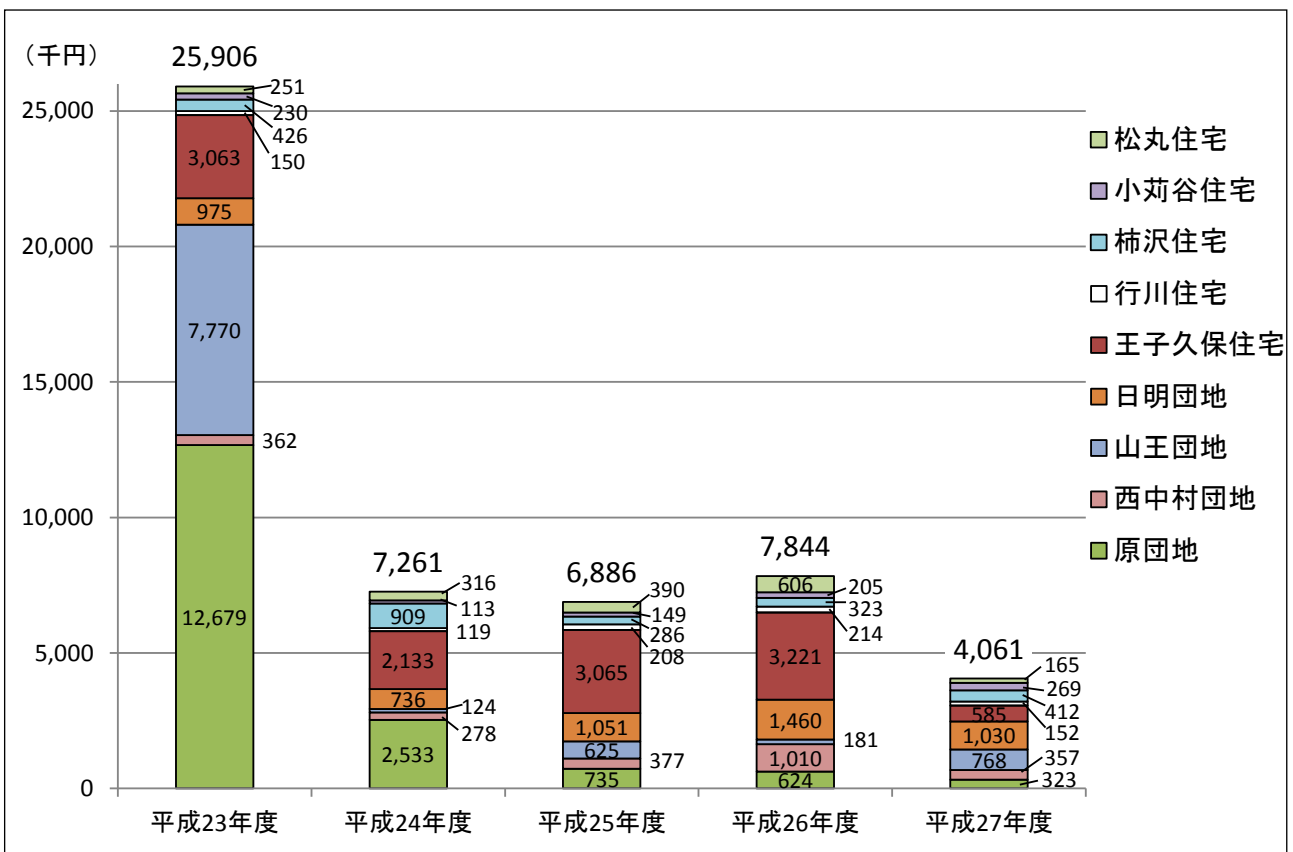
9施設の入居者数は平成27年度時点で187人であり、近年は減少傾向にあります。日明団地の入居者数は60人を超えており、他の施設と比較して規模が大きくなっています。

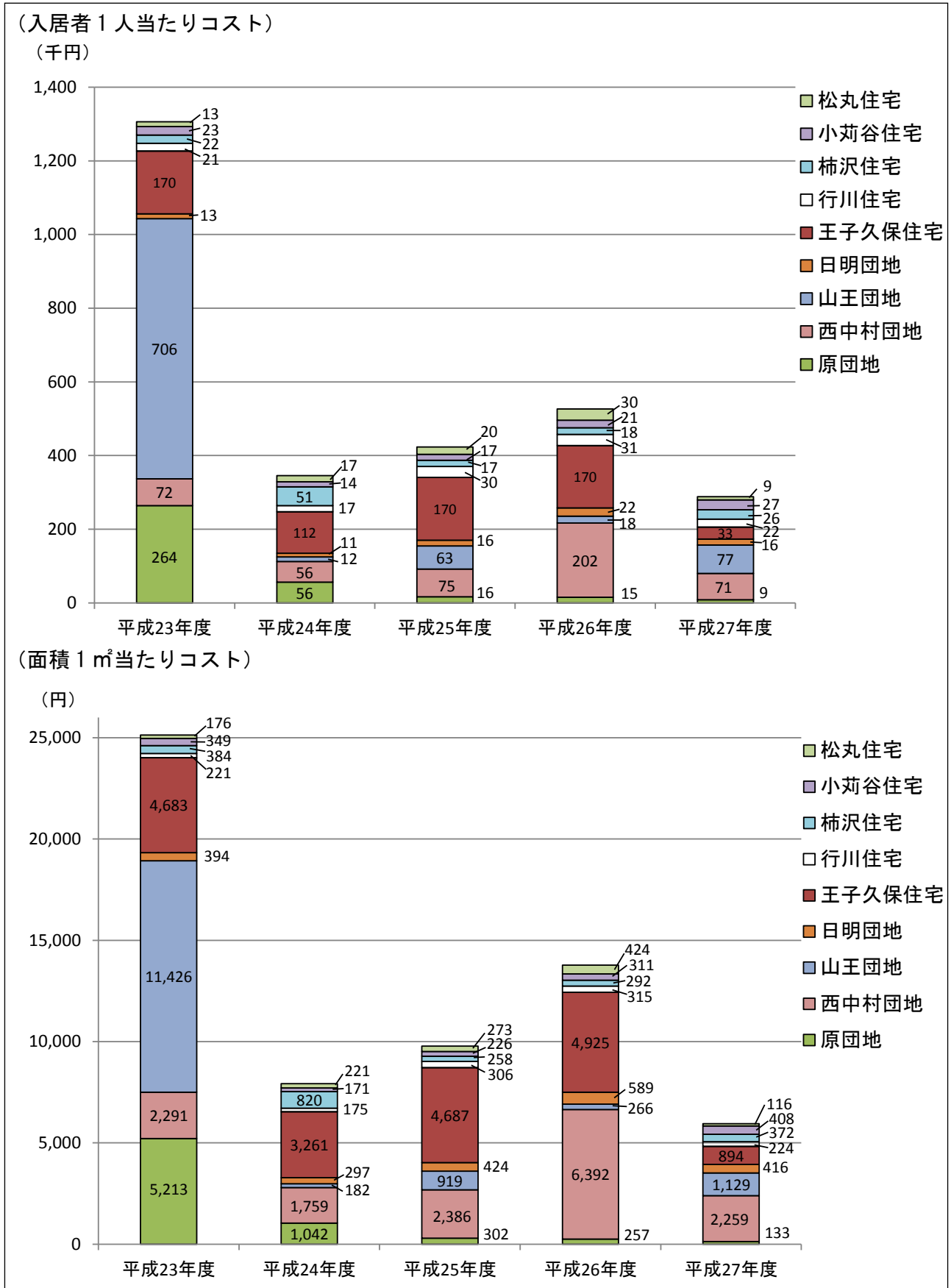


出典：都市整備課資料

エ コストの状況（平成23～27年度）

9施設にかかる年間費用は、山王団地や原団地で改修を行った平成23年度を除き、平成24年度以降1千万円以下で推移しています。





利用状況等からの実態と課題

- 9施設中7施設が築40年を経過しており、改修が必要となっています。
- 施設により、入居者1人当たりや面積1㎡当たりのコストがやや高くなっています。

(13) 廃棄物処理施設

いすみ市では、廃棄物処理施設を2施設保有しています。
 いすみクリーンセンターでは可燃ごみ、粗大ごみ、不燃ごみの処理等を行っています。可燃ごみ焼却炉は一日48tの処理能力です。
 大原クリーンセンターでは不燃ごみ等の処理を行っており、搬入される可燃ごみは御宿清掃センターに処理委託しています。

ア 施設一覧（平成28年4月1日現在）

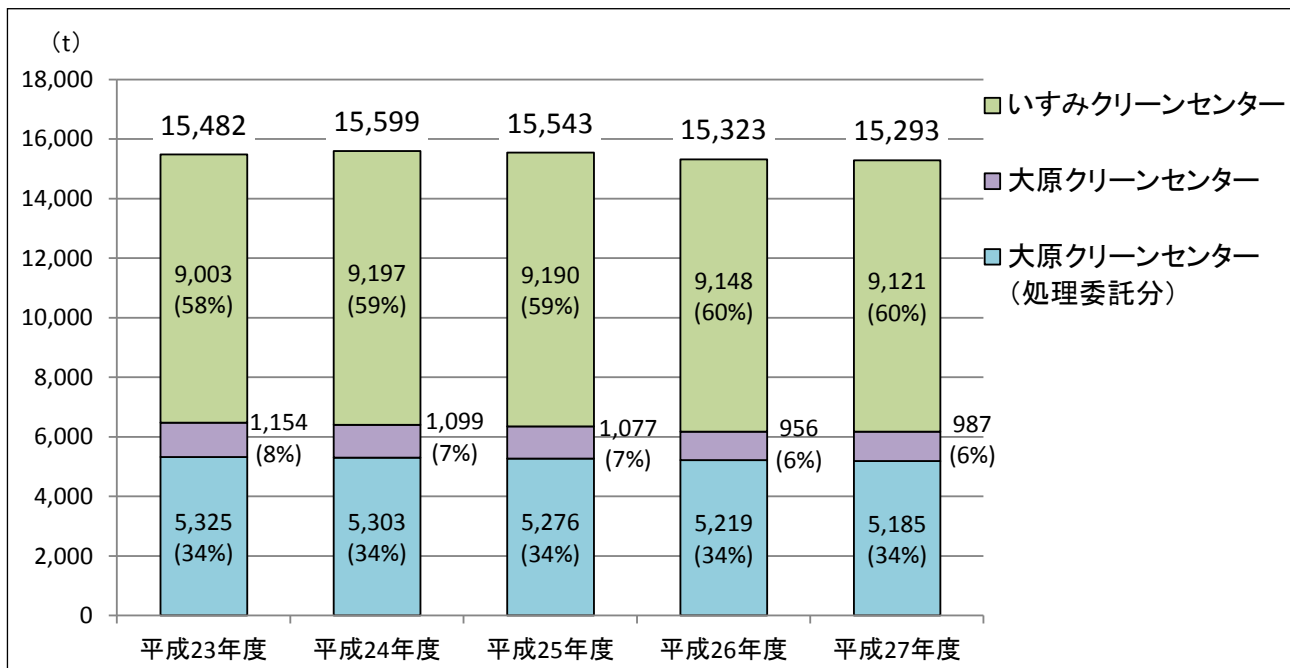
地域	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	築年数	防災情報			バリアフリー対応			耐震診断	耐震補強
						避難所指定	防災備蓄用品	自家発電設備	エレベーター	段差なし	障がい者用トイレ		
夷隅	いすみクリーンセンター	小又井170	2,217	昭和52	39	—	—	—	—	—	—	—	—
大原	大原クリーンセンター	新田24-5	838	昭和55	36	—	—	—	—	—	×	×	×
総計			3,055										

出典：公共施設現況調査票

- ※1 建築年度は代表棟について記載
- ※2 建築年度の赤字は築30年以上
- ※3 延床面積は付属棟含む

イ 年間搬入量の推移（平成23～27年度）

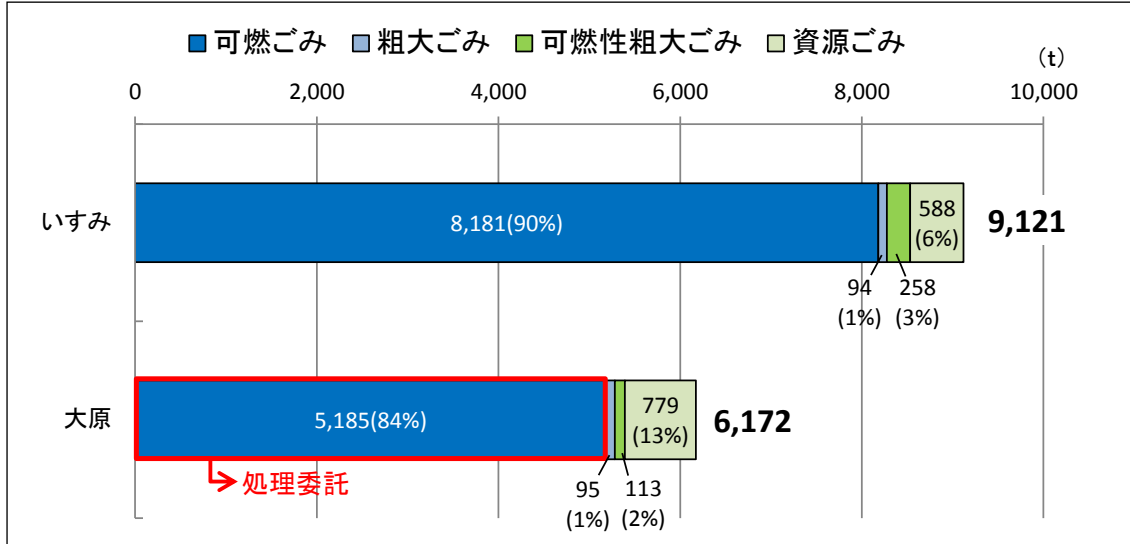
直近5年間は年間1万5千トン台の搬入量で推移しています。また、いすみクリーンセンターの搬入量が微増し、大原クリーンセンターへの搬入量が微減しています。



出典：環境保全課資料

ウ 年間搬入量の内訳（平成27年度）

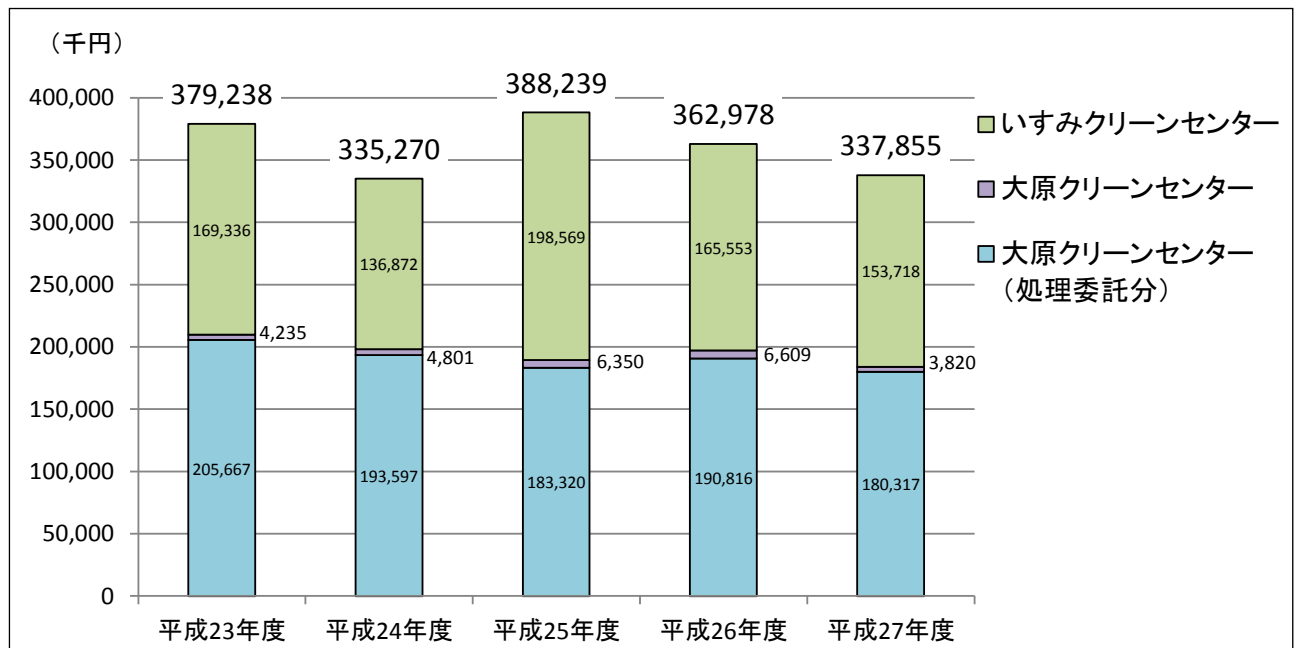
2施設に搬入される可燃ごみの合計は15,293tで、そのうち大原クリーンセンターに搬入される5,185t（84%）は処理委託しています。粗大ごみや資源ごみの処理は2施設で行っています。

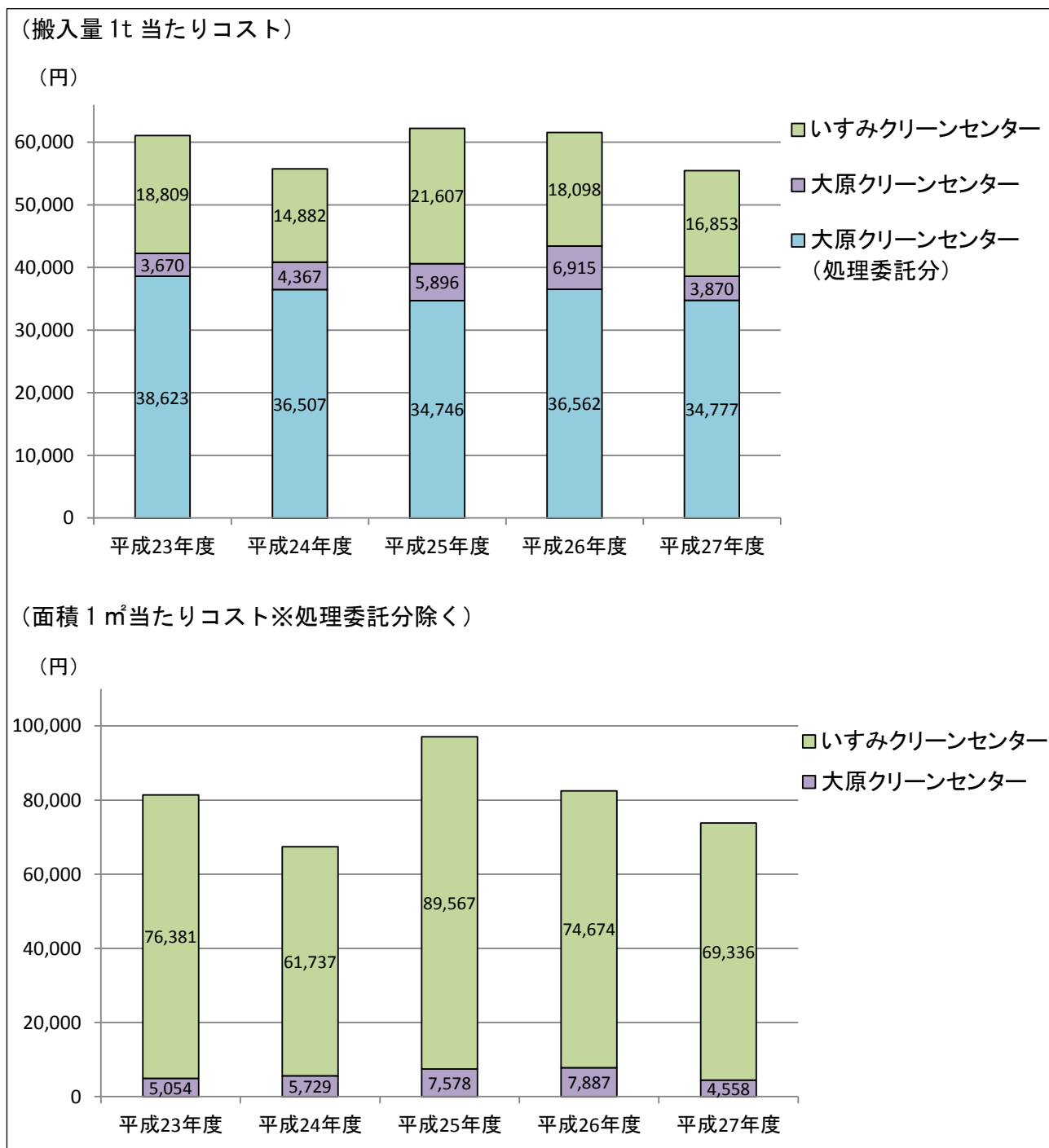


出典：環境保全課資料

エ コストの状況（平成23～27年度）

2施設には年間3億円台のコストがかかっています。そのうち、大原クリーンセンターの処理委託分費用が2億円弱で推移しています。平成27年度の搬入量1t当たりのコストはいすみクリーンセンターが1万7千円に対し、大原クリーンセンターの処理委託分は3万5千円となっています。





利用状況等からの実態と課題

- いすみクリーンセンターは時期により施設の処理能力を超える搬入量となっています。
- 大原クリーンセンターは老朽化が著しいため、可燃ごみの処理を隣接する自治体の御宿清掃センターに委託しています。

(14) 火葬場

いすみ市では、火葬場を1施設保有しています。施設では火葬炉を2基保有しています。
 そのほか、長生郡一宮町の一宮聖苑組合と夷隅郡大多喜町に業務委託しており、市民の利用が可能です。また、市が保有している大原聖苑も一部市外からの利用を受託しています。

ア 施設一覧（平成28年4月1日現在）

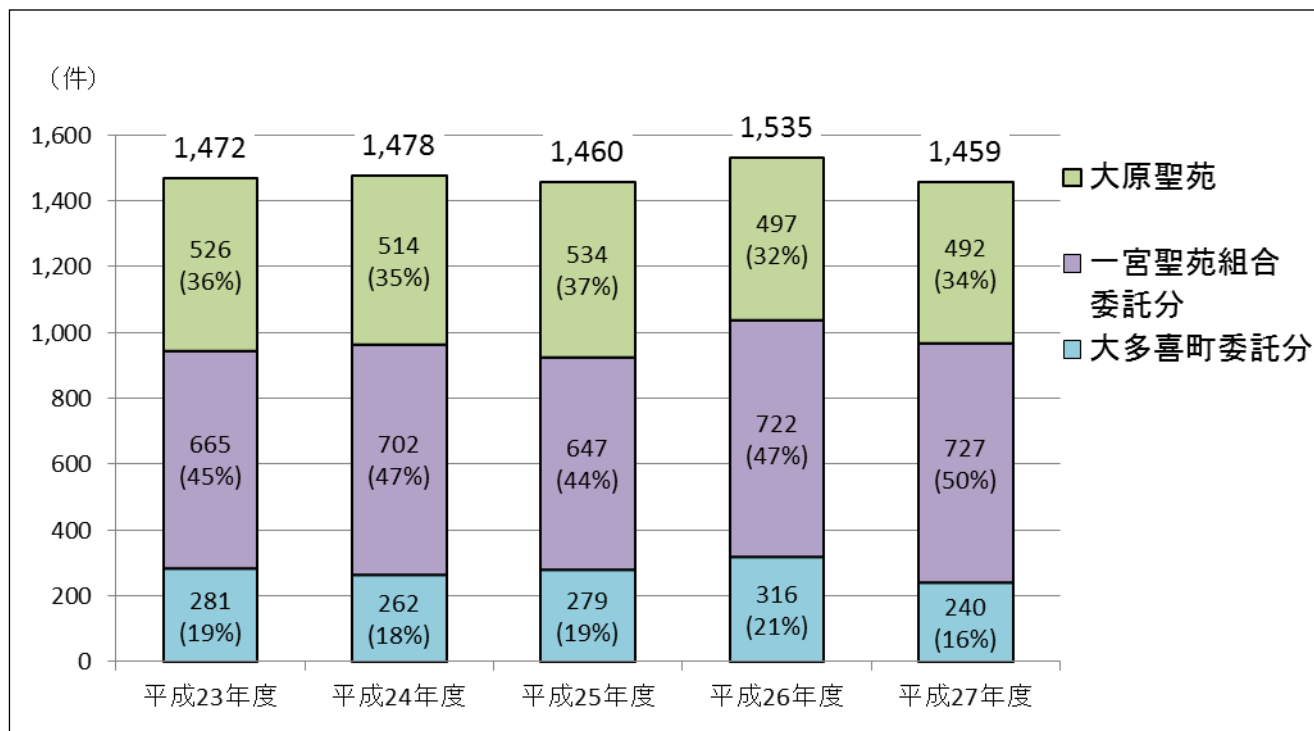
地域	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築 年 数	防災情報			バリアフリー対応			耐 震 診 断	耐 震 補 強
						避 難 所 指 定	防 災 備 蓄 用 品	自 家 発 電 設 備	エ レ ベ ー タ ー	段 差 な し	障 が い 者 用 ト イ レ		
大原	大原聖苑	大原4891-1	642	平成元	27	—	—	△	—	○	○	—	—
総計			642										

出典：公共施設現況調査票

- ※1 建築年度は代表棟について記載
- ※2 自家発電設備は、作業室（火葬炉2基含む）のみ運転が可能
- ※3 延床面積は付属棟含む

イ 年間利用件数の推移（平成23～27年度）

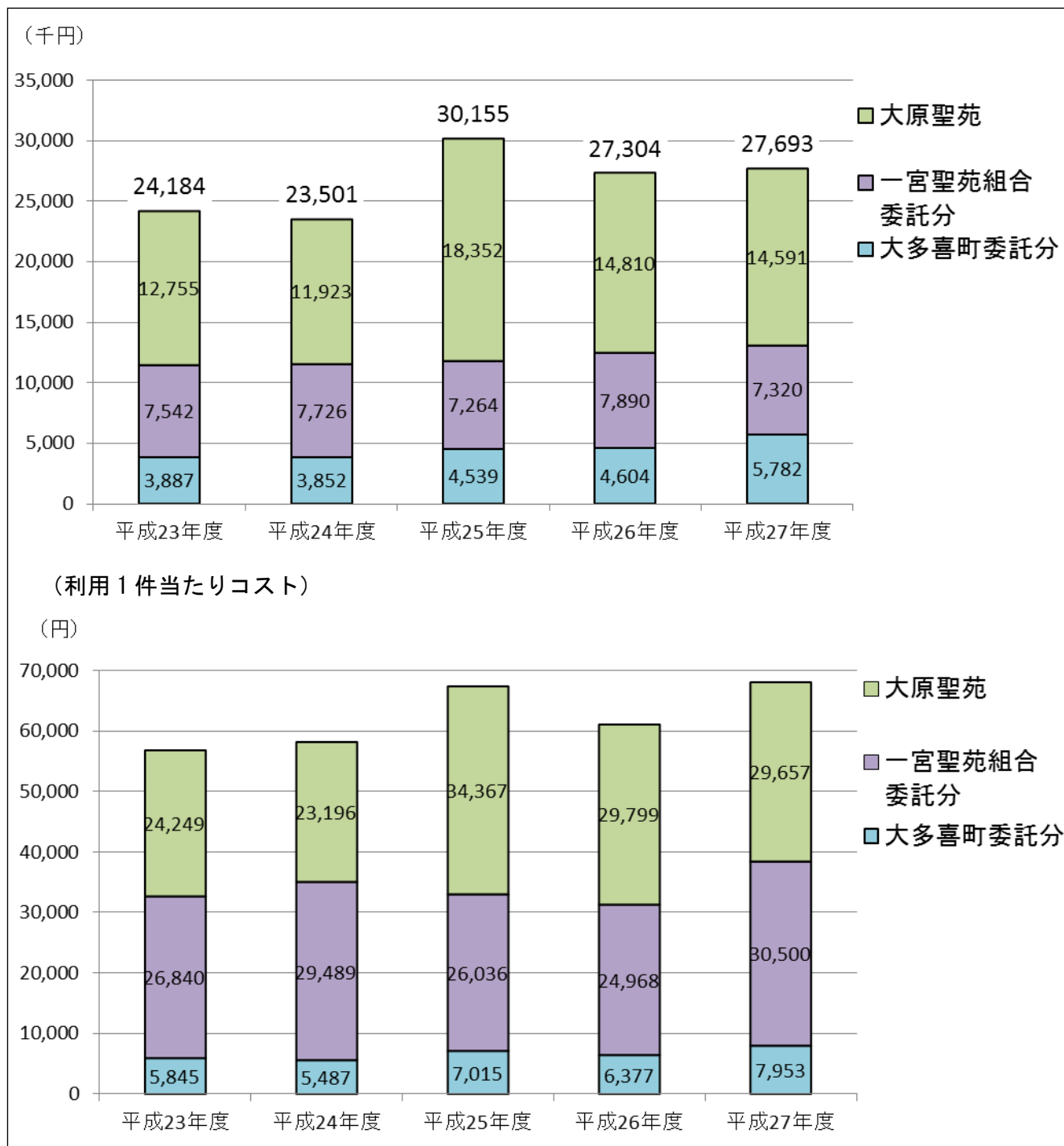
大原聖苑の年間利用件数は500件前後で推移しています。また、一宮聖苑組合や大多喜町への委託分は千件前後で推移しています。

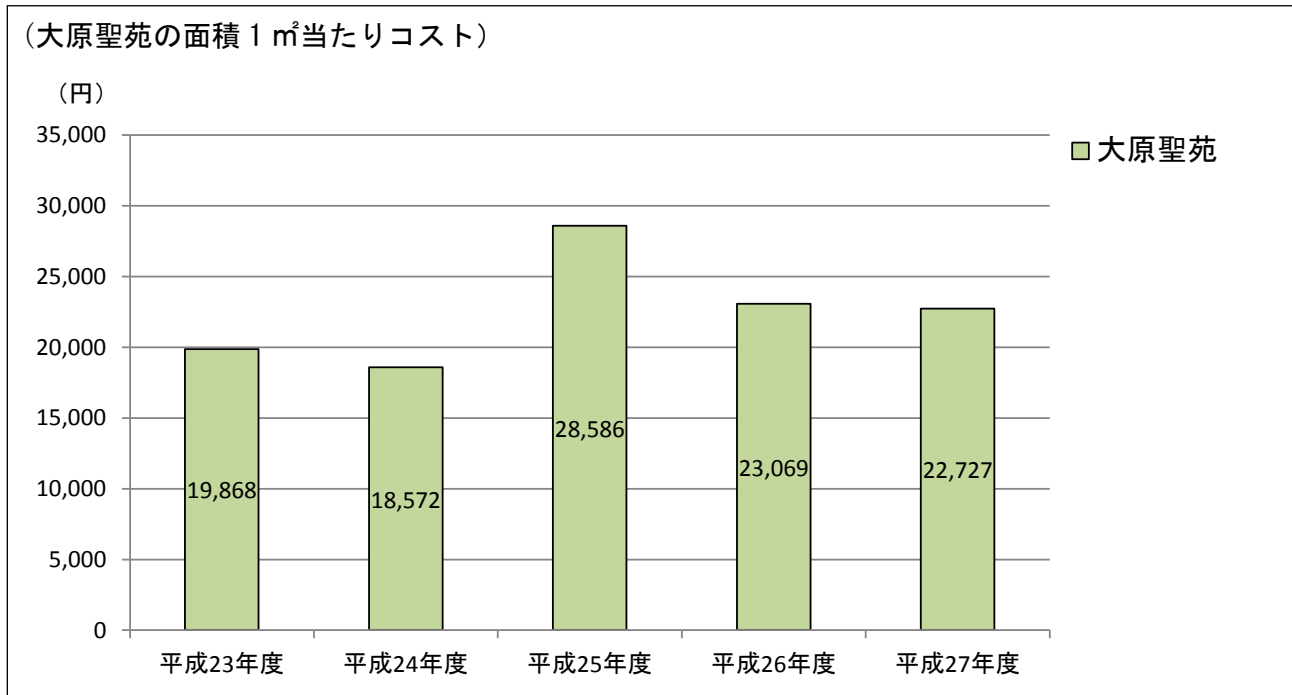


出典：環境保全課資料

ウ コストの状況（平成23～27年度）

大原聖苑の年間費用は1,000万円台で推移しています。また、利用1件当たりのコストは3万円前後です。その他、一宮聖苑組合への委託負担金として年間700万円台、大多喜町への委託負担金として400万円から600万円かかっています。





利用状況等からの実態と課題

- 施設の性質上、管理費用が高い施設であり、また築30年を迎えようとしています。
- 市が保有する施設は1施設ですが、近隣自治体の施設との相互利用を行っています。

4. 用途別の実態把握と課題（インフラ施設）

（1）道路等

■ 概要

<道路>

種 類	実延長	面積
市 道	1,053,609m	4,950,608 m ²

<踏切道>

種 類			本数	総延長
踏 切 道			48 本	380m
鉄道線名	単複線区分	種別	本数	延長
いすみ鉄道	単線	第一種	22 本	159m
いすみ鉄道	単線	第四種	4 本	28m
JR 外房線	単線	第一種	6 本	70m
JR 外房線	単線以外	第一種	16 本	123m

<トンネル>

種 類		本数		総延長
ト ン ネル		17 本		1,073m
番号	施 設 名	壁面区分	建設年	延長
1	小山トンネル	内装なし 吹付	昭和 47	60m
2	桐木トンネル	内装なし 覆工	昭和 31	42m
3	小池トンネル	内装なし 覆工	昭和 49	36m
4	沢崎トンネル	内装なし 覆工	昭和 49	52m
5	釣師トンネル	内装なし 覆工	昭和 56	61m
6	岩船トンネル	内装なし 覆工	昭和 47	100m
7	小沢谷トンネル	内装なし 吹付	昭和 59	45m
8	大寺トンネル	内装なし 吹付	昭和 51	42m
9	八坂隧道	内装なし 吹付	昭和 44	105m
10	津々ヶ浦トンネル	内装なし 覆工	昭和 46	42m
11	長志隧道	内装なし 覆工	昭和 53	149m
12	大舟谷トンネル	内装なし 覆工	昭和 39	50m
13	矢指戸トンネル	内装なし 覆工	昭和 48	43m
14	大井浜トンネル	内装なし 吹付	昭和 52	81m
15	舟谷トンネル	内装なし 素掘	昭和 34	52m
16	小滝トンネル	内装なし 吹付	大正 13	36m
17	長谷隧道	内装なし 吹付	昭和 59	77m

■ 現状と課題

1. 概要
 - ・ 市道の総延長は105万3,609m、道路面積は495万608㎡です。
 - ・ トンネルが17本あり、総延長は1,073mです。
2. 整備状況
 - ・ 法定点検や職員による道路パトロールを行い、必要に応じて修繕を行っています。
 - ・ 過去5年間の実績額は年平均約6億2千万円、うち既存更新分は約2億1千万円です。
3. 今後の課題
 - ・ 今後の維持更新等にかかるコストは、40年間で総額564億円が必要と試算され、約14億円/年の試算額となるため、財源内で適切な保全を行っていくことが求められます。

(2) 橋梁

■ 概要

種類	15m以上	15m未満	合計
橋梁	60橋	302橋	362橋

■ 現状と課題

1. 概要
 - ・ 橋梁は362橋、橋梁面積は21,327㎡となっています。
 - ・ 平成25年3月に「いすみ市 橋梁長寿命化修繕計画」(176橋対象)を策定しました。
2. 整備状況
 - ・ 全ての管理橋梁に対して、「平成26年6月国土交通省道路局の橋梁定期点検要領」に基づいた点検を実施しています。
 - ・ 「いすみ市 橋梁長寿命化修繕計画」において管理手法を分類し、対象橋梁ごとに概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期を設定しています。
 - ・ 過去5年間の実績額は年平均約2千5百万円で、既存更新分は約1千6百万円です。
3. 今後の課題
 - ・ 長寿命化計画対象橋梁について、今後50年間の事業費を比較した結果、従来の128億円から計画による48億円へおよそ80億円の縮減が見込まれています。
 - ・ 平成23年度時点で、長寿命化計画対象橋梁176橋のうち20橋が供用後50年を経過しており、長寿命化計画にもとづいた適切な維持管理が求められます。

(3) 上水道施設

■ 施設概要

種類	施設数量
管路延長	625,768 m
ダム	3 箇所
浄水施設	4 箇所
配水施設	10 箇所

<管路内訳>

導水管	場内連絡管	送水管	配水管	総延長
4,014m	3,292m	12,541m	605,921m	計 625,768m

<ダム>

番号	施設名	水系	有効貯水量
1	東ダム	夷隅川水系上山田川	406,000 m ³
2	東第2ダム	夷隅川水系奥山田川	185,000 m ³
3	岬ダム	夷隅川水系海老川	516,000 m ³
			計 1,107,000 m ³

<浄水施設>

番号	施設名	水源種別	竣工年度	浄水能力
1	大野浄水場	表流水	昭和 53	3,274 m ³ /日
2	山田浄水場	表流水	昭和 51	5,500 m ³ /日
3	音羽浄水場	表流水	平成元	4,300 m ³ /日
4	布施浄水場(休止中)	深層地下水	平成 2	260 m ³ /日
				計 13,334 m ³ /日

<配水施設>

番号	施設名	構造種別	配水方法	竣工年度	有効容量
1	大野配水池	PC造	自然流下	昭和 53	1,500 m ³
2	大野配水池(増設分)	PC造	自然流下	平成 5	500 m ³
3	須賀谷配水池	RC造	自然流下 (一部ポンプ圧送)	平成 8	710 m ³
4	山田第1配水池	RC造	自然流下	昭和 54	284 m ³
5	山田第1配水池(増設分)	RC造	自然流下	昭和 59	1,000 m ³
6	大原配水場	PC造	自然流下	平成 8	4,200 m ³
7	小沢配水池	RC造	自然流下	昭和 51	1,792 m ³
8	小池配水池	PC造	自然流下 (一部ポンプ圧送)	昭和 59	1,000 m ³
9	音羽第1配水池	PC造	自然流下	昭和 63	1,500 m ³
10	音羽第2配水池	PC造	自然流下	平成 8	2,180 m ³
計					14,666 m ³

■ 現状と課題

1. 概要
<ul style="list-style-type: none"> 水源は、すべて表流水を利用しており、浄水処理を行ったのち配水池を經由して各家庭に配水しています。管路延長は62万5,768m、ダム施設が3施設、浄水場が4施設、配水施設は10施設。浄水施設のうち布施浄水場は休止中です。
2. 整備状況
<ul style="list-style-type: none"> 過去5年間の実績額は年平均約2億6千万円、うち既存更新分が約1億6千万円です。
3. 今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> 現在、各家庭に配水されている水道水のうち、自前の大野・山田・音羽の3浄水場で浄水したものが64%、南房総広域水道企業団からの受水が36%となっていますが、今後、給水人口の減少が見込まれるため、水道施設更新時にはダウンサイジングや施設の統廃合等も含め、施設更新を計画的に進める必要があります。 法定耐用年数40年を経過時にすべての水道管を更新すると仮定した場合、今後40年間で総額610億円、年平均15億円が必要と試算されます。管路の更新時期を超えているものや近づいているものが多く、財源内で適切な更新を進めることが求められます。

(4) 公園

■ 施設概要

種類		設置数	面積
都市公園	街区公園	19 箇所	36,014.84 m ²
	広場公園	2 箇所	772.44 m ²
	近隣公園	1 箇所	15,360.73 m ²
	風致公園	1 箇所	27,549.97 m ²
	運動公園	1 箇所	166,971.00 m ²
児童遊園		8 箇所	9,797.08 m ²
合計		32 箇所	256,466.06 m ²

■ 現状と課題

1. 概要
<ul style="list-style-type: none"> 市内には32箇所、約25.6haの公園が設置されており、市民一人あたりの公園の面積は約6.6m²/人となっています。
2. 整備状況
<ul style="list-style-type: none"> 遊具等の自主点検を実施しており、修繕や撤去等を行っています。
3. 今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> 財源内で適切な修繕を行うため、長寿命化計画等による更新費用の平準化が必要です。 人口構成の変化やスポーツ等流行の変化への対応が今後求められると予想されます。